

分布調査報告書 (50)

2024年3月

山形県

序

本県では、これまで約 5,000 か所の遺跡が確認されており、舟形町西ノ前遺跡から出土した国宝土偶「縄文の女神」をはじめとする貴重な埋蔵文化財が発見されています。これらの埋蔵文化財は、地域を形づくってきた豊かな歴史や文化を生き生きと物語る県民共有の財産であり、地域に対する誇りや愛着の醸成に欠くことのできないものです。また、地域づくりや観光振興の資源としての活用も期待されています。

道路や河川、農地の整備など、豊かで快適な県民生活を築くための開発事業が行われる場合には、開発と埋蔵文化財保護との調整を図ることが重要です。このため、開発事業に先立ち、踏査や試掘調査などの遺跡詳細分布調査を実施しています。

本報告書は、令和 4 年度に関係事業所からの事業計画聴取を経て、周知の遺跡や遺跡可能性地における 73 件の踏査・試掘調査・工事の立会調査を行った成果をまとめたものです。調査成果が埋蔵文化財保護行政の基礎資料となり、今後の遺跡の保護や開発計画の策定に役立つとともに、県民の皆様に広く活用されることを願います。

結びになりますが、調査に御協力いただいた関係各位に、厚くお礼申し上げます。

令和 6 年 3 月

山形県知事 吉村 美栄子

例 言

- 1 本書は、令和4年度に山形県が国庫補助を受けて実施した、令和5年度以降の県農林水産部・県土整備部事業ほか関係遺跡に係る「遺跡詳細分布調査」の報告書である。
- 2 調査と本書の作成は山形県観光文化スポーツ部博物館・文化財活用課の竹田純子、稲村圭一、岩崎恒平、山科樹生が担当した。
- 3 遺跡詳細分布調査では、第Ⅰ章に調査の目的と経緯を、第Ⅱ章に調査の概要一覧、試掘調査の結果、工事立会調査の結果を記した。第Ⅲ章には、令和4年度に通知・届出があった遺跡の範囲等の修正と新規発見遺跡の一覧を示した。
- 4 挿図の縮尺は任意であり、各図毎にスケールを示した。遺跡地図は国土地理院発行2万5千分の1の地図を使用し、使用地図の一覧は末尾に掲載した。
- 5 挿図及び文中の記号は以下のとおりである。

Tは試掘坑もしくはトレンチを表す。図中の赤色部分は遺構・遺物が検出されたことを示し、黒色部分は遺構・遺物が未検出であることを示す。

遺跡位置図の黒枠に赤色部分は遺跡の範囲を示すものである。

なお、以下に調査で使用した検出遺構の略記号を掲載する。

S T：竪穴建物跡 S D：溝状遺構 S K：土坑 S P：柱穴跡・ピット
- 6 遺物写真の縮尺は任意である。
- 7 調査にあたっては、事業関係機関、山形市・長井市・酒田市及びその他の市町村教育委員会、地権者各位、地元関係者の御協力をいただきました。ここに記して感謝申し上げます。

(9) 中洗遺跡、中洗2遺跡	89
(10) 荷渡遺跡隣接地	96
(11) 最上川上流大規模災害関連事業(仮設ヤード・水防拠点整備)遺跡可能性地	98
(12) 一般国道13号金山道路遺跡可能性地2	101
(13) 一般国道113号小国道路遺跡可能性地1・2	104
(14) 大黒坂遺跡	109
(15) 水ノ上遺跡	112
(16) 水林下遺跡、隣接地	114
(17) 駒籠楯跡隣接地	118

3 工事立会の概要

(1) 露藤遺跡	122
----------	-----

第三章 遺跡の登録と修正

1 範囲修正	129
2 新規登録	129
令和4年度範囲修正・新規登録遺跡一覧	129

掲載遺跡位置図使用図幅一覧	132
---------------	-----

報告書抄録

第 I 章 調査の目的と経緯

1 調査の目的

令和 4（2022）年度の遺跡詳細分布調査は、令和 5 年度以降に予定される県内の開発事業計画に先行して、埋蔵文化財包蔵地及び遺跡可能性地他について踏査及び試掘調査を行い、遺跡の有無、範囲、時代、種別などの内容を明らかにすることを目的として実施した。この調査によって得られた結果は、各開発計画との調整に資され、遺跡の保護と保存のために活用されるものである。

なお、山形県で行う遺跡詳細分布調査は、以下の四つに区分している。

（1）踏査・現地確認調査（A 調査）

開発事業計画の予定地内などにおいて踏査を行い、遺跡の所在や範囲の確認をする。事業計画区域と遺跡との平面的な関係を確認する調査である。

（2）試掘調査・遺跡確認調査（B 調査）

坪掘りやトレンチ掘りによる調査を行い、遺構や遺物の平面的な分布範囲や遺構確認面までの深さ等を把握して、遺跡内容の情報を収集する調査である。

（3）記録保存のための発掘調査（C 調査）

踏査や試掘調査の結果、遺跡の遺存状況が良好でない場合や、遺跡の開発事業にかかる面積が狭小な場合、あるいは事業区に接する程度等の場合に、必要に応じて実施する記録保存のための発掘調査である。

（4）工事立会調査

開発事業による遺跡への影響が軽微な場合や開発面積が狭小な場合に、工事に立ち会って実施する調査である。この調査によって遺構や遺物が発見された場合には、記録保存を行う。

2 調査の経緯

山形県では、例年 5 月に開発関係機関に今後の事業計画についての照会を行う。回答を受けて、7 月～8 月に事業内容の聴取を実施して、事業計画と埋蔵文化財包蔵地との関係について打合せを行っている。この結果に基づき必要に応じた分布調査を行い、事業との調整を図っている。その他、開発関係機関から提出された事業計画に基づく分布調査も随時行っている。

令和 4 年度の調査は、「令和 4 年度県内遺跡詳細分布調査一覧」（4 頁）に示した各遺跡の調査を、令和 4 年 4 月から令和 5 年 3 月まで「令和 4 年度県内遺跡詳細分布調査工程表」（3 頁）の工程で行うとともに、事業予定区内外における埋蔵文化財包蔵地の有無を確認するための踏査と試掘調査も併せて実施した。

なお、令和 4 年度に山形県及び市町村が新たに発見した遺跡（令和 4 年度登録遺跡）、範囲等を修正した遺跡は、第 III 章に示した。

調査の内容と結果については、第 II 章に表形式で概要をとりまとめ報告し、遺跡位置図と調査写真をその後に掲載した。試掘調査結果については、さらに次節で詳細を報告した。

3 調査の結果

踏査、試掘調査、工事立会調査を実施した周知の遺跡と遺跡可能性地及び事業対象地区は73件である。事業ごとの内訳は、県農林水産部事業が18件、県県土整備部事業が19件、県教育庁事業が2件、県企業局事業が1件、県警察本部事業が1件、山形河川国道事務所事業が10件、酒田河川国道事務所事業が3件、新庄河川事務所事業が6件、飯豊山系砂防事務所事業が4件、最上川下流左岸農業水利事務所事業が2件、東北森林管理局事業が2件、日本放送協会山形放送局事業が1件である。

調査の内訳は、踏査が49件、試掘調査が17件、工事立会が7件である。なお、踏査と試掘調査の両方を行った事業は3件、試掘調査と工事立会の両方を行った事業は1件ある。

このうち、開発事業にあたって記録保存のための発掘調査が避けられない遺跡は、農地整備事業（経営体育成型）に係る鶴子中原遺跡（尾花沢市）、都市計画道路事業旅籠町八日町線に係る山形城三の丸跡（山形市）、交通安全道路事業（補助）（一）東山七浦線道路改良工事に係る北向遺跡（山形市）、道路改良事業（補助）（国）287号道路改良工事に係る中洗2遺跡（川西町）の4件である。

令和4年度県内遺跡詳細分布調査工程表

事業区分		令和4(2022)年									令和5(2023)年			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
踏 査 ・ 試 掘 調 査 ・ 工 事 立 会	県農林水産部	■		■	■		■	■					■	
	県県土整備部		■	■	■	■		■	■	■		■	■	■
	県教育庁		■	■										
	県企業局								■					
	県警察本部						■							
	山形河川国道事務所	■	■			■	■	■		■	■			
	酒田河川国道事務所			■			■			■				
	新庄河川事務所					■			■	■	■		■	
	飯豊山系砂防事務所								■					
	最上川下流左岸 農業水利事務所													■
	東北森林管理局			■	■									
	日本放送協会 山形放送局								■					
令和5年度以降の 埋蔵文化財包蔵地に係る 開発事業計画の照会・聴取			■		■									
整 理 作 業	出土品・記録の 整理											■		
	報告書原稿作成						■							

令和4年度県内遺跡詳細分布調査一覧

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分				備考
					踏査	試掘	記録保存	工事立会	
県 農 林 水 産 部	1	農地整備事業(経営体 育成型)	沼田寄込地区	長瀬本楯跡(211-025)隣 接地 沼袋遺跡(211-070)隣接 地	○				
	2	農地整備事業(経営体 育成型)	鶴子六沢地区	原の内A遺跡(212-029)		○			
	3	農地整備事業(経営体 育成型)	真室川北部1期 地区	遺跡可能性地		○			
	4	農地整備事業(経営体 育成型)	鶴の子地区	遺跡可能性地	○				
	5	農地整備事業(中山間 地域型)	中大塚地区	大塚遺跡(382-055) 皆川館跡(382-074) 大塚城跡(382-175) 寒河江館跡(382-185) 元宿北遺跡(382-193)	○				
	6	農地整備事業(経営体 育成型)	漆山地区	大根在家遺跡(213-088) 西原遺跡(213-221) 砂田遺跡(213-233) 西田中遺跡(213-255) 猫子前遺跡(213-256) 遺跡可能性地5・6	○	○			
	7	農地整備事業(経営体 育成型)	亀岡西地区(露 藤団地、入生田 団地)	露藤遺跡(381-314) 遺跡可能性地2(西田1遺 跡・西田2遺跡)		○		○	
	8	農地整備事業(機構関 連)	浅川地区	小山塚跡(202-027)隣接 地 遺跡可能性地1 遺跡可能性地2		○			
	9	農地整備事業(経営体 育成型)	草岡地区	大屋敷跡(209-131)	○				
	10	農地整備事業(中山間 地域型)	井岡地区		○				
	11	農地整備事業(経営体 育成型)	岡山地区	井岡遺跡(203-010)	○				
	12	農地整備事業(中山間 地域型)	狩川東部地区		○				
	13	水利施設等保全高度化 事業(集積促進型)	野沢地区	清四新田遺跡(461-059)	○				
	14	農地整備事業(経営体 育成型)	袖浦北部地区		○				
	15	農地整備事業(経営体 育成型)	杉沢前田地区	杉沢A遺跡(461-137)隣 接地 遺跡可能性地		○			

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分				備考
					踏査	試掘	記録保存	工事立会	
県農林水産部	16	農地整備事業(経営体育成型)	西興野地区	遺跡可能性地	○				
	17	農地整備事業(中山間地域型)	日向中部地区	深沢楯跡(462-057)	○				
	18	水利施設等保全高度化事業(特別型)	北平田地区	新青渡遺跡(204-102)				○	
県土整備部	19	都市計画道路事業旅籠町八日町線(二期)	山形市七日町～本町	山形城三の丸跡(201-003)		○			
	20	都市計画道路事業道形黄金線	鶴岡市馬場町	鶴ヶ岡城跡(203-044)				○	
	21	交通安全道路事業(交付金)(主)天童寒河江線	荒谷工区	荒谷下遺跡(210-200)	○				
	22	交通安全道路事業(補助)(一)東山七浦線道路改良工事	楯山工区	北向遺跡(201-323)		○			
	23	交通安全道路事業(交付金)(主)長井大江線道路整備工事	大谷工区(杭No.1～No.55)		○				
	24	交通安全道路事業(地債)(一)糠野目亀岡線交差点改良工事	糠野目工区	鶴巻遺跡(381-154)				○	
	25	道路改築事業(補助)(国)287号道路改良工事	米沢川西パイパス工区	中洗遺跡(382-181) 遺跡可能性地(中洗2遺跡)		○			
	26	交通安全道路事業(交付金)(主)山形朝日線歩道設置工事	山辺工区		○				
	27	道路長寿命化対策事業(補助・橋梁更新)(主)新庄次子村山線老朽橋架替工事	堀内橋工区	荷渡遺跡(363-013)隣接地		○			
	28	道路改築事業(地債)(主)上山蔵王公園線	小倉②工区	一ノ堰2遺跡(207-065)	○				
	29	交通安全道路事業(交付金)(主)山形南陽線	板宮工区	御嶽山物見遺跡(213-129)	○				
	30	道路改良事業(補助)一般国道345号(平沢)道路改良工事	平沢工区		○				

I 調査の目的と経緯

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分				備考
					踏査	試掘	記録保存	工事立会	
県土整備部	31	道路改良事業(補助) 一般国道112号(金沢陸橋)橋梁撤去・道路改良工事	金沢陸橋		○				
	32	道路改良事業(補助) 主要地方道余目温海線(黒川)	黒川工区		○				
	33	荒町川河川整備補助事業 護岸工	上市市鶴脛町	月岡城跡(207-041)隣接地	○				
	34	古佐川河川整備補助事業 (防災安全)築堤工	河北町谷地		○				
	35	若木土砂災害対策事業 (防災安全・急傾斜)法枠、擁壁工	山形市若木	若木館跡(201-232)	○				
	36	たてあと沢地域防災力強化型土砂災害対策事業 (防災安全・通常砂防)砂防えん堤工	鮭川村大字京塚	京塚館跡(366-039)	○				
	37	牛房野土砂災害対策事業	尾花沢市牛房野	牛房野橋跡(212-087)	○				
県教育庁	38	米沢養護学校高等部就労コース設置事業	米沢市太田町		○				
	39	庄内中高一貫校(仮称)校舎整備	鶴岡市若葉町	鶴ヶ岡城跡(203-044)				○	
県企業局	40	明沢川発電所	小国町綱木箱口	遺跡可能性地	○				
県警本部	41	警察署解体工事事業元 新庄警察署	新庄市新町	宮内遺跡(205-105)				○	
山形河川国道事務所	42	最上川上流大規模災害関連事業(溝延築堤)	河北町溝延地先		○				
	43	最上川上流大規模災害関連事業(押切築堤)	河北町吉田地先		○				
	44	最上川上流大規模災害関連事業(大久保遊水池改良)	村山市大久保地先～河北町吉田地先		○				
	45	最上川上流大規模災害関連事業地(仮設ヤード・水防拠点整備)	村山市河島地先	遺跡可能性地1・2・3	○	○			
	46	一般国道13号金山道路	金山町飛森	遺跡可能性地2		○			
	47	一般国道113号小国道路	小国町増岡、松岡	遺跡可能性地1・2・10	○	○			
	48	一般国道47号高屋防災道路	戸沢村古口(杭No.1～124)	遺跡可能性地1・2	○				
49	一般国道13号舟形歩道整備事業	舟形町舟形	沼沢館跡(363-001)	○					

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分				備考
					踏査	試掘	記録 保存	工事 立会	
国道事務所 山形河川	50	一般国道47号志茂歩道整備事業	最上町志茂		○				
	51	一般国道113号飯豊歩道整備事業地	飯豊町手ノ子		○				
酒田河川国道事務所	52	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町吹浦～女鹿	大黒坂遺跡(461-037)		○			
	53	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町吹浦～女鹿	水ノ上遺跡(461-068)		○			
	54	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	水林下遺跡(461-078)、隣接地		○			
新庄河川事務所	55	最上川直轄河川改修事業(最上川中流)	大石町駒籠	駒籠橋跡(341-122) 隣接地		○			
	56	最上川直轄河川大規模災害関連事業地(最上川中流)	大石町横山	横山学校前遺跡(341-023) 隣接地	○				
	57	水上沢第2砂防堰堤(寒河江川砂防)	西川町大井沢	中村館跡(322-021)	○				
	58	トチノミ沢砂防堰堤	鶴岡市大綱	関谷館跡(427-010) 近接	○				
	59	モエン沢砂防堰堤	鶴岡市砂川	砂川B遺跡(427-024) 近接	○				
	60	入水ノ沢砂防堰堤(鮭川砂防)	金山町中田		○				
飯豊山系砂防事務所	61	樋ノ沢第1砂防堰堤	小国町樋ノ沢		○				
	62	小川沢砂防堰堤	小国町足水中里		○				
	63	穴淵砂防堰堤	小国町五味沢		○				
	64	金目川第1砂防堰堤	小国町金目		○				
農業水利事業所 最上川下流左岸	65	国営かんがい排水事業	二段割排水機場(庄内町余目)		○				
	66	国営かんがい排水事業	生田排水機場(庄内町南野)		○				
東北森林管理局	67	松ノ沢治山工事(溪間工)	71林班い・は小班(小国町)	城の平遺跡(401-068)	○				
	68	立木販売	山辺町268林班れ小班、つ小班、ね小班	三森山見張所遺跡(301-019)	○				
山形放送局 日本放送協会	69	テレビ共同受信施設改修工事	金山町杉沢	金山城跡(361-025)				○	

第II章 調査の概要

1 令和4年度県内遺跡詳細分布調査概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	1	農地整備事業(経営体 育成型)	沼田寄込地区	長瀨本楯跡(211-025) 隣接地 沼袋遺跡(211-070)隣 接地	東根市長瀨		
	2	農地整備事業(経営体 育成型)	鶴子六沢地区	原の内A遺跡(212- 029)	尾花沢市鶴子	集落跡	縄文時代、 平安時代
	3	農地整備事業(経営体 育成型)	真室川北部1 期地区	遺跡可能性地	真室川町及位		
	4	農地整備事業(経営体 育成型)	鶴の子地区	遺跡可能性地	新庄市本合海		
	5	農地整備事業(中山間 地域型)	中大塚地区	大塚遺跡(382-055) 皆川館跡(382-074) 大塚城跡(382-175) 寒河江館跡(382-185) 元宿北遺跡(382-193)	川西町大塚	城館跡 城館跡 城館跡 城館跡 遺物包蔵 地	中世 中世 中世 中世 奈良・平安 時代
	6	農地整備事業(経営体 育成型)	漆山地区	大根在家遺跡(213- 088) 西原遺跡(213-221) 砂田遺跡(213-233) 西田中遺跡(213-255) 猫子前遺跡(213-256) 遺跡可能性地5・6	南陽市羽付、 漆山、池黒	散布地 散布地 散布地 散布地 散布地	平安時代 平安時代 奈良・平安 時代 縄文時代 縄文時代、 奈良・平安 時代

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
氾濫平野	田・畑・果樹畑	事業地は、最上川右岸の低地上に位置する。踏査の結果、遺物の散布は確認されなかったが、隣接する長湍本橋跡、沼袋遺跡が位置する微高地の一部が事業地に含まれるため、当該範囲を遺跡可能性地として、今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
河岸段丘	田・畑	事業地は、丹生川左岸の河岸段丘上。令和3年度に続き、事業地内にトレンチ4箇所を設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
河岸段丘	田・畑	事業地は、真室川右岸の河岸段丘上。令和3年度に続き、遺跡可能性地内に5箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
段丘	田・畑	平成30年度の踏査で確認した遺跡可能性地において掘削工事が行われるため、現地確認を行った。表土除去後の現地について遺物散布の有無及び旧地形の確認を行った結果、遺物は確認されなかった。現水田を整備する際に旧地形が削平された様子が確認され、当地は遺跡とは考えられず、着工にあたり文化財保護法に係る事務手続きは不要と判断した。	無し	無し	踏査
自然堤防、氾濫平野	田・畑	事業地は、最上川と元宿川の合流点の南側、両河川に挟まれた自然堤防及び氾濫平野上に位置する。踏査の結果、事業地内に大塚遺跡、皆川館跡、大塚城跡、寒河江館跡、元宿北遺跡の範囲が含まれることを確認した。また、事業地北東端で古代の土師器片が確認された範囲を「遺跡可能性地1」、元宿川右岸の微高地上の範囲を「遺跡可能性地2」とした。今後、遺跡範囲と併せて試掘調査を実施予定。	無し	土師器	踏査
自然堤防、扇状地	宅地・田・畑等	漆山地区の編入検討区域に係る踏査を実施した結果、事業地内に大根在家遺跡、西田中遺跡、西原遺跡、砂田遺跡、猫子前遺跡の範囲の一部が含まれることを確認した。また、事業地北側の微高地上で遺物の散布が確認されたため、当該範囲を「遺跡可能性地7」とし、遺跡範囲と併せて今後、試掘調査を実施予定。 令和3年12月及び令和4年4月に実施した踏査で確認した遺跡可能性地5・6の試掘調査を実施した。遺跡可能性地5では、5箇所のトレンチにおいて遺構を確認した。遺跡可能性地6では、遺構・遺物は確認されなかった。	柱穴 土坑 溝状遺構	土師器 須恵器	踏査 試掘

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	7	農地整備事業(経営体 育成型)	亀岡西地区 (露藤団地、 入生田団地)	露藤遺跡(381-314) 遺跡可能性地2(西田1 遺跡・西田2遺跡)	高島町露藤、 船橋	集落跡 集落跡	奈良・平安 時代 古墳時代、 奈良・平安 時代
	8	農地整備事業(機構関 連)	浅川地区	小山塚跡(202-027)隣 接地 遺跡可能性地1 遺跡可能性地2	米沢市浅川		
	9	農地整備事業(経営体 育成型)	草岡地区	大屋敷跡(209-131)	長井市草岡	城館跡	中世
	10	農地整備事業(中山間 地域型)	井岡地区		鶴岡市井岡		
	11	農地整備事業(経営体 育成型)	岡山地区	井岡遺跡(203-010)	鶴岡市岡山	遺物包蔵 地	平安時代、 鎌倉時代
	12	農地整備事業(中山間 地域型)	狩川東部地区		庄内町狩川		
	13	水利施設等保全高度化 事業(集積促進型)	野沢地区	清四新田遺跡(461- 059)	遊佐町当山	集落跡	縄文時代
	14	農地整備事業(経営体 育成型)	袖浦北部地区		酒田市宮之浦		
	15	農地整備事業(経営体 育成型)	杉沢前田地区	杉沢A遺跡(461-137) 隣接地 遺跡可能性地	遊佐町杉沢		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
氾濫平野	田・畑	露藤遺跡の範囲において排水路設置に伴う工事立会を実施した結果、溝状遺構及びピット数基が確認された。工事による掘削は遺構確認面以下に及ぶため、検出した遺構の記録保存を実施した後、着工を許可した。 令和2年度の踏査で確認した遺跡可能性地2の試掘調査を実施した結果、複数のトレンチで遺構・遺物が確認されたため、トレンチ1・2・11が位置する範囲を「西田1遺跡」、トレンチ4～11が位置する範囲を「西田2遺跡」として遺跡登録を行った。	溝状遺構 土坑 柱穴	土師器	試掘 工事立会
自然堤防、 氾濫平野	田、畑	令和2年度の踏査において確認した遺跡可能性地1・2の試掘調査を実施した。遺跡可能性地1の範囲に3箇所、遺跡可能性地2の範囲に12箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されず、試掘対象地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	試掘
扇状地	田	現地確認の結果、大屋敷跡について、当初は試掘調査を予定していたが、詳細設計を確認したところ面工事に伴う影響はほとんどないことから、水路設置工事の際に立会を行うこととした。	無し	無し	踏査
氾濫平野	田	事業地は青龍寺川左岸の氾濫平野上に位置する。事業地の広い範囲で古代の遺物を採取しており、遺跡可能性地の範囲については検討を要する。	無し	須恵器 土師器	踏査
氾濫平野	田	令和2年度の踏査において、井岡遺跡については事業実施前に試掘調査が必要と判断したが、面工事の詳細設計が示され、現地を確認したところ、遺跡への影響は軽微であることから、「慎重工事」の勧告と判断した。	無し	須恵器 土師器	踏査
旧河道、氾 濫平野上	田	事業地は、最上川左岸の氾濫平野及び旧河道上に位置する。踏査の結果、遺物の散布は確認されなかった。事業地の大部分が旧河道にあたる考えられた。事業実施にあたり文化財保護法に係る事務手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
丘陵	田	事業地は野沢川右岸の河岸段丘及び地抜川兩岸の段丘から北側丘陵に至る傾斜地一帯。踏査の結果、遺物の散布は確認されなかったが、事業地内に清四新田遺跡が位置するため、事業実施に際しては事前の調整が必要となる。	無し	無し	踏査
氾濫平野、 旧河道	田	事業地は最上川及び京田川左岸の低地で、大部分が旧河道・氾濫原に位置する。踏査の結果、遺物の散布は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
谷底平野	田	遺跡可能性地に11箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、大樽川を挟んで杉沢A遺跡の対岸にあたるトレンチ2箇所で遺物包含層が確認された(包含層の上部は削平されている)。当トレンチは旧地形が大樽川に向かって傾斜する場所で、周辺の傾斜地にも遺物包含層が遺存している可能性がある。また、トレンチ9でピット2基を検出した。 試掘調査の結果を受けて、切土から盛土への設計変更が行われ、遺物包含層と遺構は保護された。	ピット	縄文土器	試掘

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	16	農地整備事業(経営体育成型)	西興野地区	遺跡可能性地	庄内町西興野		
	17	農地整備事業(中山間地域型)	日向中部地区	深沢楯跡(462-057)	酒田市新田	城館跡	
	18	水利施設等保全高度化事業(特別型)	北平田地区	新青渡遺跡(204-102)	酒田市漆曾根	集落跡	平安時代
県土整備部	19	都市計画道路事業旅籠町八日町線(二期)	山形市七日町～本町	山形城三の丸跡(201-003)	山形市本町・木の実町	城館跡	中世、近世
	20	都市計画道路事業道形黄金線	鶴岡市馬場町	鶴ヶ岡城跡(203-044)	鶴岡市馬場町	城館跡	
	21	交通安全道路事業(交付金)(主)天童寒河江線	荒谷工区	荒谷下遺跡(210-200)	天童市荒谷	集落跡	縄文時代
	22	交通安全道路事業(補助)(一)東山七浦線道路改良工事	楯山工区	北向遺跡(201-323)	山形市青柳	集落跡	奈良・平安時代
	23	交通安全道路事業(交付金)(主)長井大江線道路整備工事	大谷工区(杭No.1～No.55)		朝日町大谷		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
河間低地	田	平成30年度に実施した踏査の結果、古代の遺物の散布が確認されたため、事業地の一部を遺跡可能性地としていたもの。詳細設計が完了したため再度現地を確認したところ、遺跡可能性地の範囲は盛土と浅い切土であるため、令和5年度工事に伴う試掘調査は不要と判断した。	無し	無し	踏査
谷底平野・氾濫原、山地	田、畑	令和3年度に続き、日向川左岸の事業範囲について踏査を実施した。調査の結果、遺物の散布は確認されず、隣接する深沢橋跡は、事業地の範囲まで及ばないことを確認した。	無し	無し	踏査
氾濫平野	田	管排水路工の2箇所について立会を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。令和2年度の踏査で地区全体で表採された遺物は、過去のは場整備によって地区全体に広がったものと考えられたため、管排水路工に係る工事立会はこれ以上不要と判断した。また、当地区の面工事は表土のみの移動であり、暗渠排水もトレンチャーを使用し、掘削は最小限であることから、当事業に係る来年度以降の勧告を「慎重工事」とすることとした。	無し	無し	工事立会
扇状地	道路用地、宅地	事業地内に9箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、4箇所のトレンチで遺構・遺物を確認した。遺構・遺物が確認された範囲については、記録保存調査が必要となる。	土坑	土師器	試掘
扇状地	道路用地	電線共同溝工の立会を行った。立会地点は4箇所で、いずれも幅は約2m、深さは1.2m～2mである。当該箇所は、鶴ヶ岡城跡二の丸の堀跡の範囲に位置し、立会の結果、堀跡の覆土と考えられる土層や、過去の開発に伴う攪乱層が確認され、掘削範囲は全て堀跡の範囲に含まれるものと判断された。今回の工事に伴う掘削では、堀底は確認されなかった。堀跡覆土には部分的に、石垣の石材が割れたような石と、裏込石と考えられる丸礫が混じる状況が確認された。	堀跡	無し	工事立会
扇状地	道路用地	荒谷下遺跡については、協議終了としていたが、その東側の拡幅(延伸)工区部分について現地確認を行った。遺跡東側の工区付近一帯は、遺物の散布もなく、遺跡が所在する可能性は低いと判断した。	無し	無し	踏査
扇状地	宅地	事業地内に5箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、2箇所のトレンチで遺構・遺物を確認した。遺構・遺物が確認された範囲については、記録保存調査が必要となる。	土坑 柱穴	土師器	試掘
段丘	田、果樹園	杭No.1～55の区間について踏査を行った結果、事業予定地内において下記の遺跡可能性地を確認した。 ・遺跡可能性地1：杭No.0～7(丘陵の南緩斜面) ・遺跡可能性地2：杭No.5～8(丘陵尾根の緩斜面) ・遺跡可能性地3：杭No.10～23(大谷川右岸の段丘面) ・遺跡可能性地4：杭No.28～43(大谷川右岸の段丘面) ・遺跡可能性地5：杭No.43～55(大谷川右岸の段丘面)	無し	無し	踏査

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県土整備部	24	交通安全道路事業(地債)(一)糠野目亀岡線交差点改良工事線	糠野目工区	鶴巻遺跡(381-154)	高畠町福沢	散布地	奈良・平安時代
	25	道路改築事業(補助)(国)287号道路改良工事	米沢川西バイパス工区	中洗遺跡(382-181) 遺跡可能性地(中洗2遺跡)	川西町時田	集落跡	縄文時代 古墳時代、 奈良・平安時代
	26	交通安全道路事業(交付金)(主)山形朝日線歩道設置工事	山辺工区		山辺町山辺～大寺		
	27	道路長寿命化対策事業(補助・橋梁更新)(主)新庄次年子村山線老朽橋架替工事	堀内橋工区	荷渡遺跡(363-013)隣接地	舟形町堀内		
	28	道路改築事業(地債)(主)上山蔵王公園線	小倉②工区	一ノ堰2遺跡(207-065)	上山市小倉	散布地	縄文
	29	交通安全道路事業(交付金)(主)山形南陽線	板宮工区	御嶽山物見遺跡(213-129)	南陽市金山	城館跡	
	30	道路改良事業(補助)一般国道345号(平沢)道路改良工事	平沢工区		鶴岡市小名部		
	31	道路改良事業(補助)一般国道112号(金沢陸橋)橋梁撤去・道路改良工事	金沢陸橋		鶴岡市金沢		
	32	道路改良事業(補助)主要地方道余目温海線(黒川)	黒川工区		鶴岡市黒川		
	33	荒町川河川整備補助事業護岸工	上山市鶴脛町	月岡城跡(207-041)隣接地	上山市鶴脛町		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
氾濫平野、自然堤防	道路用地	事業地は砂川と最上川の合流地点付近の自然堤防上である。L字擁壁工設置に伴い工事立会を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	工事立会
扇状地	田	事業地は誕生川左岸の扇状地上。中洗遺跡及び遺跡可能性地の範囲に16箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺跡可能性地に設定したトレンチ1・2で遺構・遺物が確認された。同範囲を「中洗2遺跡」として新規登録し、令和5年度に発掘調査を実施予定。中洗遺跡の範囲では、遺構・遺物は確認されなかった。	竪穴建物跡、土坑、柱穴	土師器	試掘
台地・段丘	宅地、畑、果樹園	事業地のうち、始点側の杭No.10～55の区間について踏査を行った。遺物の散布は確認されなかったが、比較的標高の高い段丘面となっている杭No.13～25の区間のうち5箇所の範囲を遺跡可能性地とし、今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
河岸段丘	宅地	令和3年度に続き、事業地内に2箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。舟形町農村環境改善センター敷地内の試掘予定地については、今後別途、試掘調査を実施予定。	無し	無し	試掘
火山麓地形	道路用地、田	現地確認の結果、令和4年度以降の事業地は一ノ堰2遺跡の範囲外であり、既に過去のほ場整備で地形が改変されていることを確認した。文化財保護法に係る事務手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
段丘	田、道路用地	拡幅工事の大部分は、吉野川の河岸段丘縁または段丘下に盛土するか、沢状地形に盛土した緩斜面において実施するものであり、遺物の散布も確認されなかった。事業実施に際し、文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
低地	宅地、道路用地	事業内容は、鼠ヶ関川沿いの現道を拡幅するもの。大部分が現道建設時に切土されている。遺跡は所在しないと考えられ、事業実施にあたり文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
山地	山林、道路用地	事業予定地は海岸沿いの集落で、地形的には海に向かって傾斜する。住居・漁業用施設として大部分がコンクリート舗装されている。橋脚部分に遺跡が所在する可能性は低く、事業実施にあたり文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
段丘	田、宅地	現地は東から西に緩やかに傾斜しており、南北に走る県道西側は一段低くなる。事業地に登録済の遺跡は所在しないが、旧道であり付近には春日神社が位置する。試掘調査の実施については、設計後に検討することとした。	無し	無し	踏査
低地	河川	事業地は、上山城跡及び武家屋敷に隣接する。河川の護岸工は江戸時代以降繰り返し行われており、近世まで遡る古い石積みはほぼ残っていないと考えられた。事業実施にあたり文化財保護法に係る事務手続きは不要と判断された。	無し	無し	踏査

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県土整備部	34	古佐川河川整備補助事業(防災安全)築堤工	河北町谷地		河北町吉田		
	35	若木土砂災害対策事業(防災安全・急傾斜)法枠、擁壁工	山形市若木	若木館跡(201-232)	山形市若木	城館跡	
	36	たてあと沢地域防災力強化型土砂災害対策事業(防災安全・通常砂防)砂防えん堤工	鮭川村京塚	京塚館跡(366-039)	鮭川村京塚	城館跡	
	37	牛房野土砂災害対策事業	尾花沢市牛房野	牛房野楯跡(212-087)	尾花沢市牛房野	城館跡	中世
県教育庁	38	米沢養護学校高等部就労コース設置事業	米沢市太田町		米沢市太田町		
	39	庄内中高一貫校(仮称)校舎整備	鶴岡市若葉町	鶴ヶ岡城跡(203-044)	鶴岡市若葉町	城館跡	
県企業局	40	明沢川発電所	小国町綱木箱口	遺跡可能性地	小国町綱木箱口		
県警本部	41	警察署解体工事事業元新庄警察署	新庄市新町	宮内遺跡(205-105)	新庄市新町	集落跡	縄文時代、平安時代
山形河川国道事務所	42	最上川上流大規模関連災害事業(溝延築堤)	河北町溝延地先		河北町溝延		
	43	最上川上流大規模関連災害事業(押切築堤)	河北町吉田地先		河北町吉田		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
氾濫平野	田	事業地は最上川と古佐川の合流点付近。踏査の結果、遺物の散布は確認されなかった。事業実施にあたり文化財保護法に係る事務手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
山地	山林	擁壁工・工事用道路に係り、曲輪が切土されることを確認した。事業実施にあたり、記録保存調査が必要と判断されたことから、曲輪等を詳細に確認するために、令和5年度春に再度現地確認を行うこととした。	曲輪	無し	踏査
山地	山林	現地確認の結果、現在の設計では館跡の竖堀等が切土される恐れがあるため、令和5年春に再度関係者で現地打合せを行い、遺構の範囲に印を付けることとした。遺構を避けて線形を見直すなどの作業が可能との事。	竖堀	無し	踏査
山地	山林	事業地は牛房野楯跡の裾部であり、踏査の結果、城跡に係る遺構は存在しないことを確認した。事業実施にあたり遺跡への影響は軽微と判断された。「慎重工事」の勧告とする。	無し	無し	踏査
自然堤防	学校用地	事業地は学校敷地の南東隅である。校舍建設予定地を確認した結果、すぐ北側は水田で低地となっており、安定した土地ではないと考えられることから、試掘調査は不要と判断した。	無し	無し	踏査
扇状地	学校用地	仮設校舍建設及び校舎増築に係る配管埋設工(ガス管及び下水道管)に際し、工事立会を実施した。立会の結果、新設する配管は造成土中に収まる部分が多く、一部で近世の整地層に達する部分もあったが、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	工事立会
河岸段丘	山林	事業地は、明沢川兩岸の河岸段丘上。令和元年度に踏査を実施しており、明沢川左岸の河岸段丘上の一部を遺跡可能性地としている。遺跡可能性地の範囲について再度確認を行い、令和5年度に試掘調査を実施することとした。	無し	無し	踏査
氾濫平野	宅地	元新庄警察署西側車庫等の解体に伴う工事立会を行った。当該地は、警察署敷地のうち西側半分が宮内遺跡の範囲内に位置する。倉庫2・焼却炉・倉庫3について基礎撤去作業を行い、基礎撤去後の土層断面を確認したところ、全て造成土であり、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	工事立会
氾濫平野、 自然堤防	田、畑	事業地は最上川と寒河江川の合流点左岸の氾濫平野、自然堤防上に位置する。令和3年度の冬に踏査を実施したが、再度現地確認を行い遺跡可能性地の範囲を決定した。	無し	無し	踏査
氾濫平野	田	築堤事業用地を確認した。遺物の散布は確認されなかった。事業地は最上川の氾濫原と考えられ、遺跡が存在する可能性は低いことから、事業実施にあたり文化財保護法に係る手続きは不要と判断した。	無し	無し	踏査

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
山形河川国道事務所	44	最上川上流大規模関連災害事業(大久保遊水池改良)	村山市大久保地先～河北町吉田地先		村山市大久保地先～河北町吉田		
	45	最上川上流大規模関連事業地(仮設ヤード・水防拠点整備)	村山市河島地先	遺跡可能性地1・2・3	村山市河島		
	46	一般国道13号金山道路	金山町飛森	遺跡可能性地2	金山町飛森		
	47	一般国道113号小国道路	小国町増岡、松岡	遺跡可能性地1・2・10	小国町増岡、松岡		
	48	一般国道47号高屋防災道路	戸沢村古口(杭No.1～124)	遺跡可能性地1・2	戸沢村古口		
	49	一般国道13号舟形歩道整備事業	舟形町舟形	沼沢館跡(363-001)	舟形町舟形	城館跡	中世
	50	一般国道47号志茂歩道整備事業	最上町志茂		最上町志茂		
	51	一般国道113号飯豊歩道整備事業地	飯豊町手ノ子		飯豊町手ノ子		
酒田河川国道事務所	52	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町吹浦～女鹿	大黒坂遺跡(461-037)	遊佐町吹浦	散布地	縄文時代
	53	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町吹浦～女鹿	水ノ上遺跡(461-068)	遊佐町吹浦	散布地	縄文時代、平安時代

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
氾濫平野	田、畑	事業内容は最上川沿いの既存堤防の嵩上げ・拡幅である。事業地は最上川の氾濫原であり遺跡が所在する可能性は低いため、事業実施にあたり文化財保護法に係る事務手続きは不要と判断した。	無し	無し	踏査
河岸段丘	田(休耕田、駐車場)	事業地は最上川の河岸段丘上に位置し、背後には遺跡が多く所在する河島山があることから、遺跡可能性地として試掘調査を実施した。遺跡可能性地内にトレンチを4箇所設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査 試掘
丘陵	山林	遺跡可能性地2に7箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、各トレンチとも遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	試掘
谷底平野・氾濫原、自然堤防	田	令和3年度に続き実施した踏査において、横川右岸の低位段丘上において頁岩破片を採取したため、当該範囲を遺跡可能性地10(杭No.609～619付近)とした。また、遺跡可能性地1・2の試掘調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。遺跡可能性地1の未買収地については、今後別途、試掘調査を実施予定。	無し	剥片	踏査 試掘
氾濫平野、台地・段丘	田、山林	事業地のうち、始点である国道47号線と新庄古口道路の接続部分(杭No.1)から角川流域の低地西端付近(杭No.124付近)の区間について踏査を行った。その結果、丘陵尾根上の平坦面(杭No.8～11)を「遺跡可能性地1」、石器の剥片1点及び塚状の高まりが確認された河岸段丘上(杭No.14～20)の範囲を「遺跡可能性地2」とし、今後、試掘調査を実施予定。	無し	剥片	踏査
氾濫平野	宅地、道路用地	事業地は平沢川兩岸の氾濫平野上に位置する。現地確認の結果、遺構・遺物は確認されず、沼沢館跡は事業地外であることを確認した。	無し	無し	踏査
低地、段丘	宅地、道路用地	事業地は白川右岸の低地及び段丘上。現地確認の結果、遺構・遺物は確認されなかった。事業実施にあたり、文化財保護法に係る事務手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
氾濫平野	宅地、道路用地	事業地は白川右岸の氾濫平野上。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。当事業実施にあたり文化財保護法に係る事務手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
山地	山林	試掘対象地に5箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。事業実施にあたり文化財保護法94条通知が必要となる。「慎重工事」の勧告とする。	無し	無し	試掘
段丘	畑	事業地内にトレンチを2箇所設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。事業実施にあたり文化財保護法94条通知が必要となる。「慎重工事」の勧告とする。	無し	無し	試掘

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
酒田河川国道事務所	54	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～ 県境	水林下遺跡(461-078)、 隣接地	遊佐町女鹿	集落跡	旧石器時代、 縄文時代、 奈良・平安 時代
新庄河川事務所	55	最上川直轄河川改修事業(最上川中流)	大石田町駒籠	駒籠楯跡(341-122)隣 接地	大石田町駒籠		
	56	最上川直轄河川大規模 災害関連事業地(最上 川中流)	大石田町横山	横山学校前遺跡(341- 023)隣接地	大石田町横山		
	57	水上沢第2砂防堰堤(寒 河江川砂防)	西川町大井沢	中村館跡(322-021)	西川町大井沢	城館跡	中世
	58	トチノミ沢砂防堰堤	鶴岡市大網	関谷館跡(427-010)近 接	鶴岡市大網		
	59	モエン沢砂防堰堤	鶴岡市砂川	砂川B遺跡(427-024) 近接	鶴岡市砂川		
	60	入水ノ沢砂防堰堤(鮭 川砂防)	金山町中田		金山町中田		
飯豊山系砂防事務所	61	樋ノ沢第1砂防堰堤	小国町樋ノ沢		小国町樋ノ沢		
	62	小川沢砂防堰堤	小国町足水中 里		小国町足水中 里		
	63	穴淵砂防堰堤	小国町五味沢		小国町五味沢		
	64	金目川第1砂防堰堤	小国町金目		小国町金目		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
山地・丘陵地	山林	当事業に係る試掘調査は令和2年度に終了しているが、令和3年度の発掘調査で確認された旧石器の広がりを確認するため、再度試掘調査を実施した。調査区を5箇所設定して調査を行った結果、旧石器は確認されなかった。また、水林下遺跡の北側に位置する丘陵裾付近についても試掘調査を実施し、遺跡の広がりを確認した。事業地内に2本のトレンチを設定して調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
段丘	河川	事業地は最上川右岸の段丘上。事業地内に12箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、全てのトレンチで遺構・遺物は確認されなかった。事業実施にあたり、文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	試掘
段丘	宅地	事業地は、最上川左岸の河岸段丘で横山小学校前遺跡に隣接し、最上川舟運に係る遺跡が位置する可能性がある。取付道路に関しては、最上川右岸も含まれる。事業地全域で分布調査が必要になる可能性が高いため、継続して事業者との協議を行う。	無し	無し	踏査
山地	山林	中村館跡とその隣接地に建設される水上沢第2砂防堰堤について、現地で設計を確認し取扱いについて協議した。その結果、工事中道路部分については、遺跡内は「慎重工事」、遺跡外は「工事立会」の協力を依頼することとした。	無し	無し	踏査
山地	山林	踏査の結果、事業地は館跡南側の沢にあたり、遺跡範囲外であることを確認した。事業実施にあたり、文化財保護法に係る事務手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
段丘	山林	砂川B遺跡は宝勝庵境内に位置するが、踏査の結果、事業地は遺跡の範囲外であることを確認した。事業実施にあたり、文化財保護法に係る事務手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
山地	山林	事業地は、中田春木川右岸の山地上。現地確認の結果、遺跡が存在する可能性は低く、事業実施にあたり文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
河床	河川	踏査の結果、地形的に堰堤設置箇所には遺跡は存在しないことを確認した。また、工事中道路がどこに設置されても問題ないことを確認した。	無し	無し	踏査
山地	山林	事業地は足水沢左岸の山地上。工事中道路設置予定地は沢筋であり、遺跡が存在する可能性は低く、事業実施にあたり文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
河床	河川	工事中道路予定地は河川の中であり、遺跡が存在する可能性は低く、事業実施にあたり文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
河床	河川	現地確認の結果、工事中道路予定地は沢筋近くで、地形もすでに改変されている可能性が高いものと判断された。遺跡が存在する可能性は低く、事業実施にあたり文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	踏査

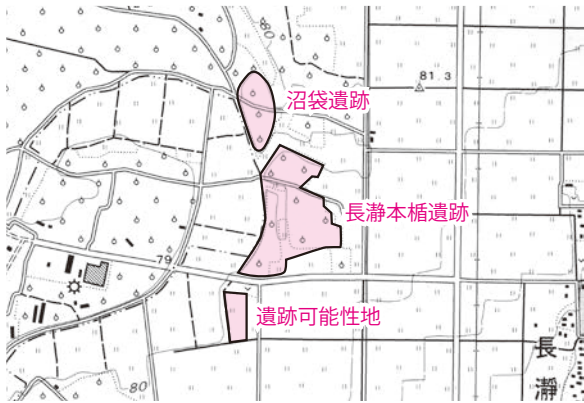
II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
農業水利事業所 最上川下流左岸	65	国営かんがい排水事業	二段割排水機場		庄内町余目		
	66	国営かんがい排水事業	生田排水機場		庄内町南野		
東北森林管理局	67	松ノ沢治山工事(溪間工)	71 林班い・は小班(小国町)	城の平遺跡(401-068)	小国町大石沢	城館跡	
	68	立木販売	山辺町 268 林班れ小班、つ小班、ね小班	三森山見張所遺跡(301-019)	山辺町畑谷	城館跡	中世
日本放送協会山形放送局	69	テレビ共同受信施設改修工事	金山町金山	金山城跡(361-025)	金山町金山	城館跡	中世

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
旧河道	田	事業地は最上川の旧河道であり、遺跡が所在する可能性は低く、事業実施にあたり文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
旧河道、氾濫平野	田	事業地は京田川の旧河道と隣接する。旧河道脇にあたる水田について踏査を実施したが、遺物の散布は確認されなかった。文化財保護法に係る事務手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
山地	山林	事業内容は、城の平遺跡（城跡）北麓の沢に流木対策用のえん堤を設置するものである。令和2年度から事業を実施しており、えん堤ひとつが完成している。今回はその下流に、二つ目のえん堤を設置するもの。現地確認の結果、沢の両側と底を掘削するが、城跡への影響は軽微であり「慎重工事」の勧告が適当であると判断された（前回工事勧告も慎重工事）。	無し	無し	踏査
山地	山林	立木伐採は民間事業者が実施するため、事業実施前に山辺町教育委員会へ93条届出が必要となる。「慎重工事」の勧告とする。	無し	無し	踏査
山地	山林	パンザマスト撤去工事への立会いを行った。建設時掘削範囲内での工事となり、遺跡への影響はない。鋼管柱と支線2本については、急傾斜（城の麓）での工事であり遺跡への影響がないことを確認したことから、立会不要とした。 なお、別事業であるが、金山城跡と同様の撤去工事を予定している成沢城跡については、今回の立会結果を踏まえて、全て慎重工事対応と判断した。	無し	無し	工事立会

II 調査の概要

※ 位置図・図版の番号は分布調査概要の番号と一致する



1 沼田寄込地区



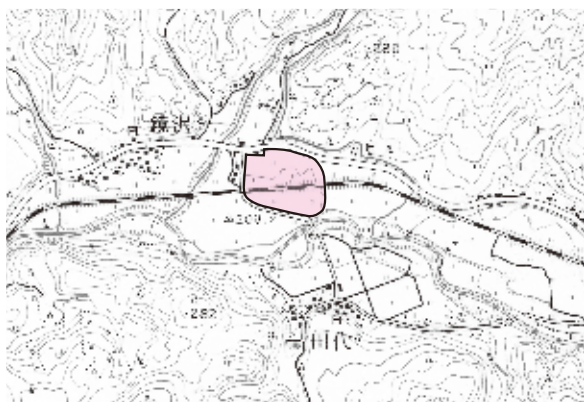
1 沼田寄込地区遺跡可能性地 (北東から)



2 原の内 A 遺跡



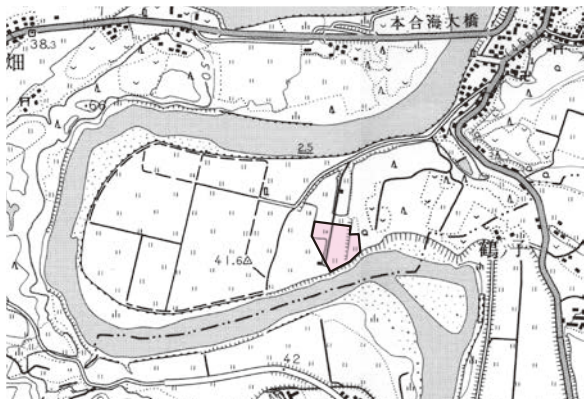
2 原の内 A 遺跡 (北から)



3 真室川北部 1 期地区遺跡可能性地



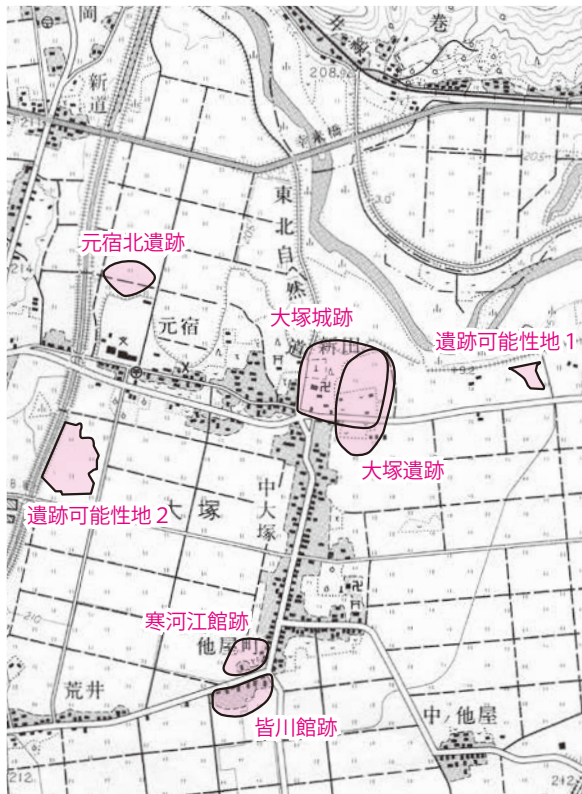
3 真室川北部 1 期地区遺跡可能性地 (西から)



4 鶴の子地区遺跡可能性地



4 鶴の子地区遺跡可能性地 現地確認状況 (東から)



5 大塚遺跡、皆川館跡、大塚城跡、寒河江館跡、元宿北遺跡



5 大塚遺跡、大塚城跡 (北東から)



5 皆川館跡 (南東から)



5 寒河江館跡 (西から)



5 元宿北遺跡 (北西から)



5 中大塚地区遺跡可能性地 1 (南東から)

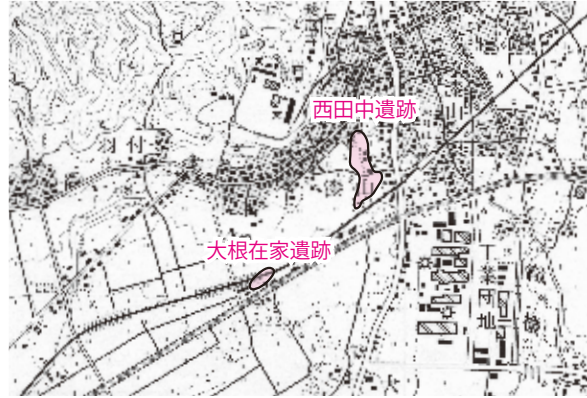


5 中大塚地区遺跡可能性地 1 表採遺物

II 調査の概要



5 中大塚地区遺跡可能性地2(南西から)



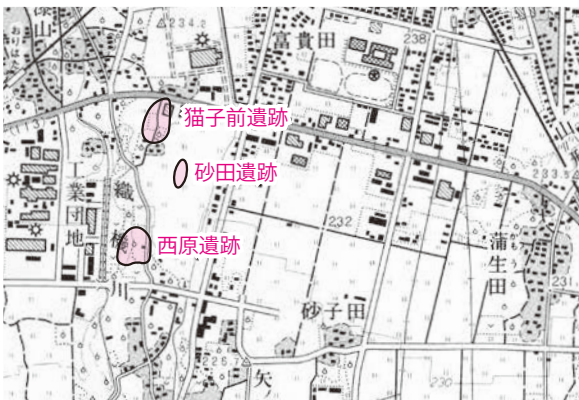
6 西田中遺跡、大根在家遺跡



6 西田中遺跡近景(北から)



6 大根在家遺跡近景(北西から)



6 西原遺跡、砂田遺跡、猫子前遺跡



6 西原遺跡近景(南西から)



6 砂田遺跡近景(南西から)



6 猫子前遺跡近景(北西から)



7 露藤遺跡



7 露藤遺跡 工事立会箇所 (南西から)



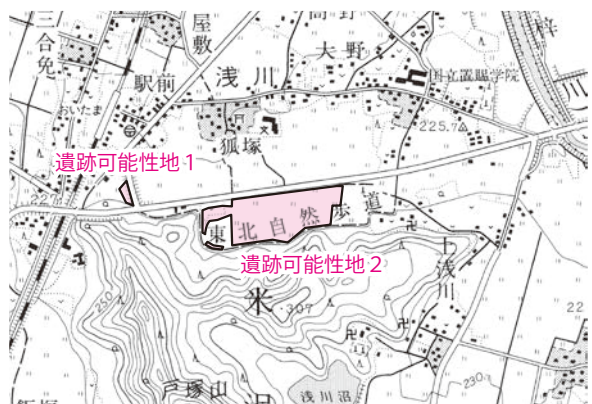
7 西田1・2遺跡



7 西田1遺跡 (北東から)



7 西田2遺跡 (北東から)



8 浅川地区遺跡可能性地1・2

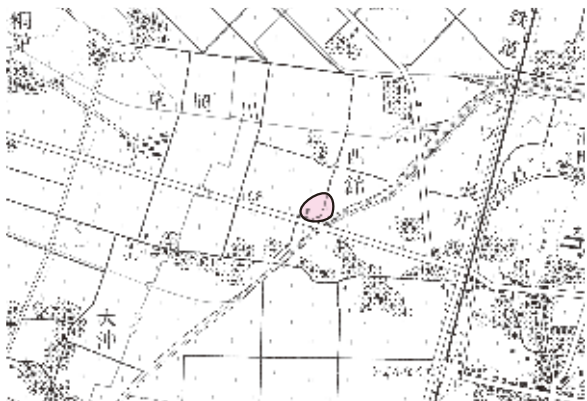


8 浅川地区遺跡可能性地1 (北から)



8 浅川地区遺跡可能性地2 (北東から)

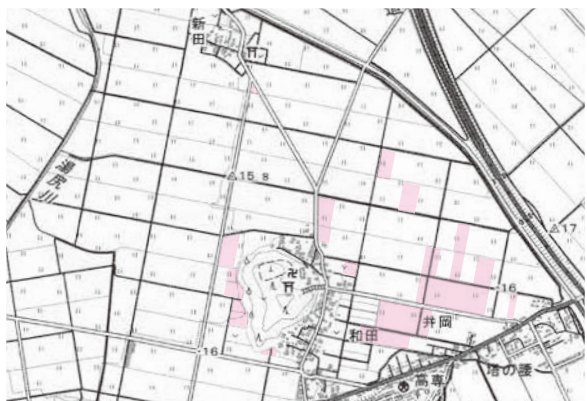
II 調査の概要



9 大屋敷跡



9 大屋敷跡 (北東から)



10 井岡地区 (遺物散布確認範囲)



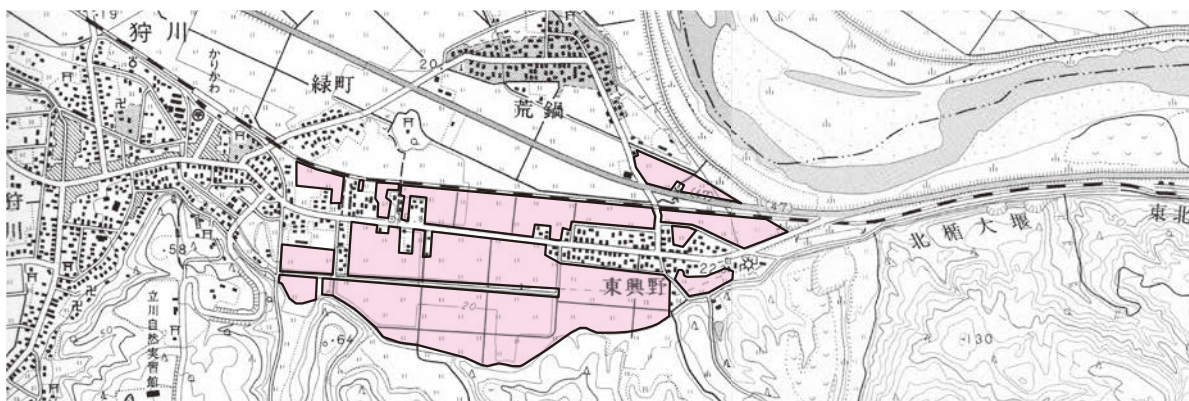
10 井岡地区 (東から)



11 井岡遺跡



11 井岡遺跡 (北西から)



12 狩川東部地区



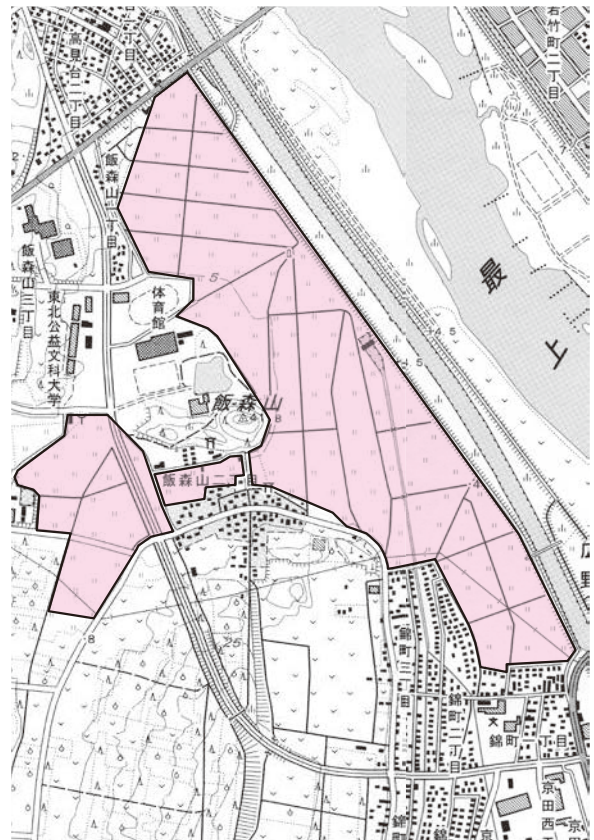
12 狩川東部地区 (南東から)



13 清四新田遺跡



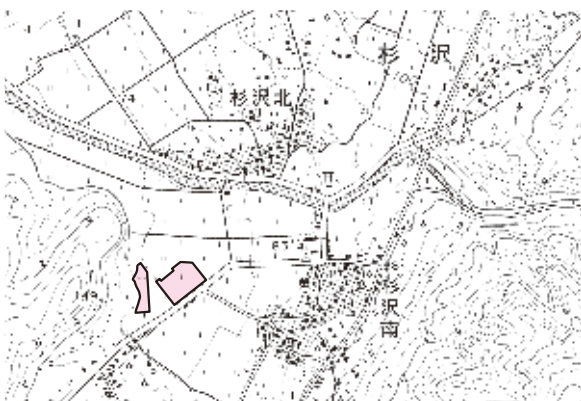
13 清四新田遺跡 (北西から)



14 袖浦北部地区



14 袖浦北部地区 (北から)

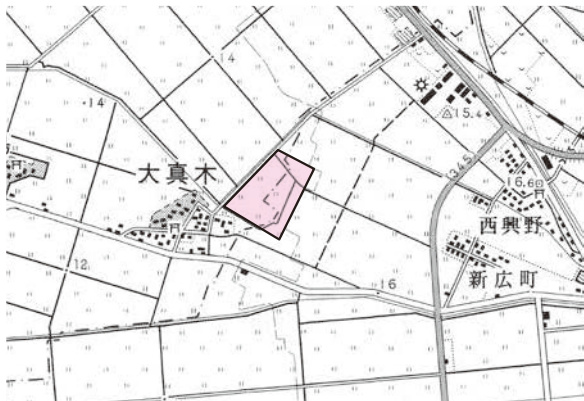


15 杉沢前田地区遺跡可能性地



15 杉沢前田地区遺跡可能性地 (南から)

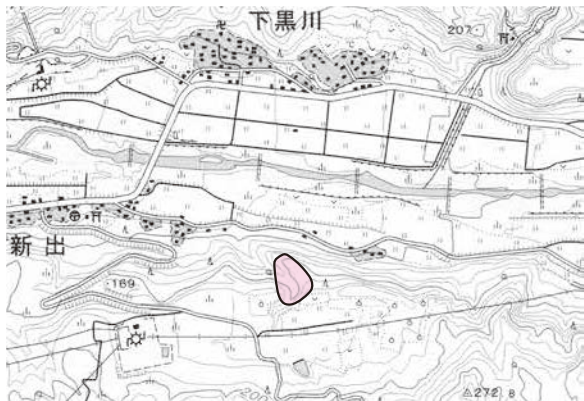
II 調査の概要



16 西興野地区遺跡可能性地



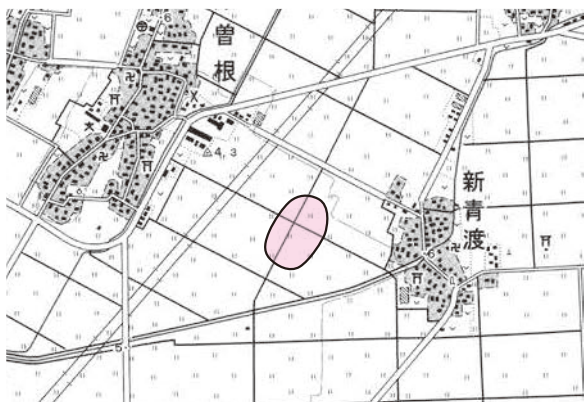
16 西興野地区遺跡可能性地 (北から)



17 深沢橋跡



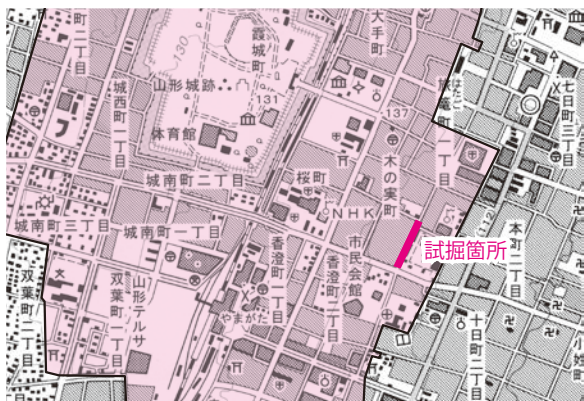
17 深沢橋跡遠景 (南から)



18 新青渡遺跡



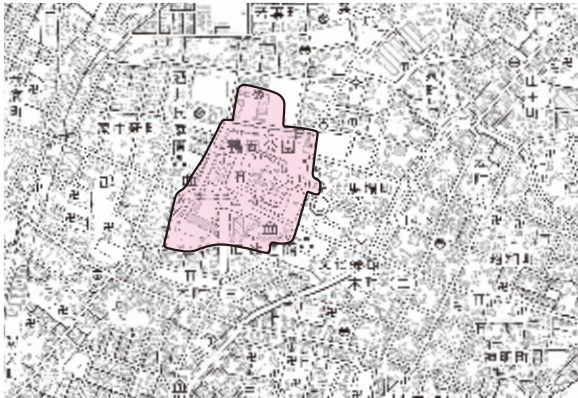
18 新青渡遺跡 工事立会 (北西から)



19 山形城三の丸跡



19 山形城三の丸跡 (北から)



20 鶴ヶ岡城跡



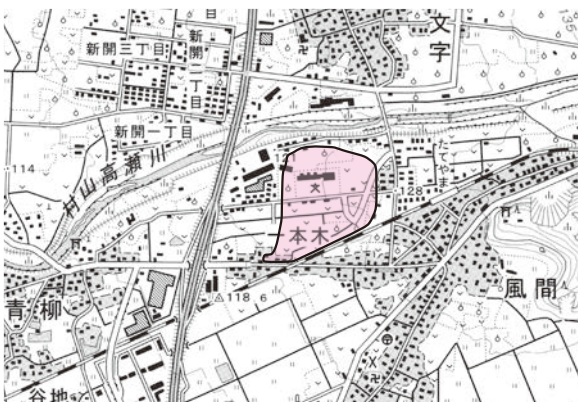
20 鶴ヶ岡城跡 工事立会(南から)



21 荒谷下遺跡



21 荒谷工区(東から)



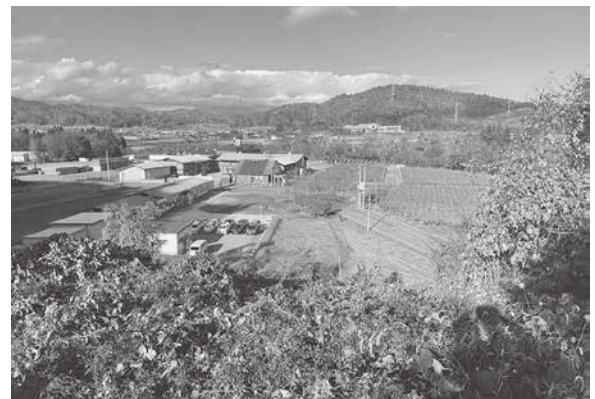
22 北向遺跡



22 北向遺跡(南東から)

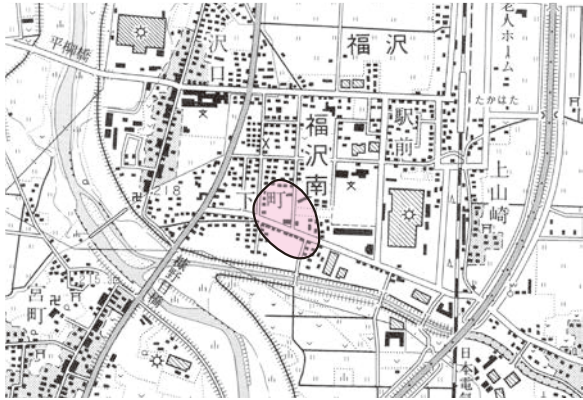


23 長井大江線道路整備工事大谷工区



23 長井大江線道路整備工事大谷工区(南西から)

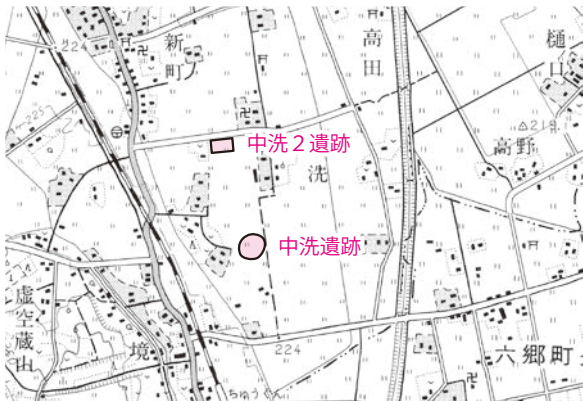
II 調査の概要



24 鶴巻遺跡



24 鶴巻遺跡 工事立会 (西から)



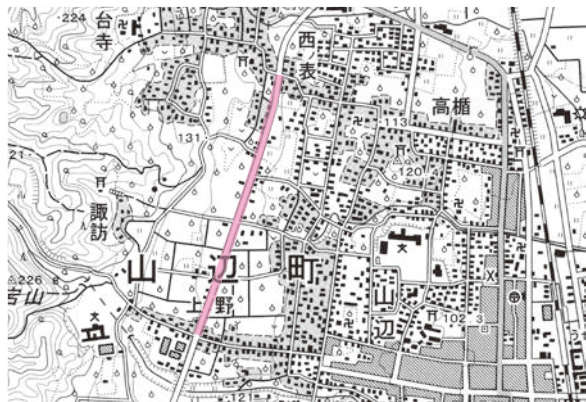
25 中洗遺跡、中洗2遺跡



25 中洗遺跡 (南から)



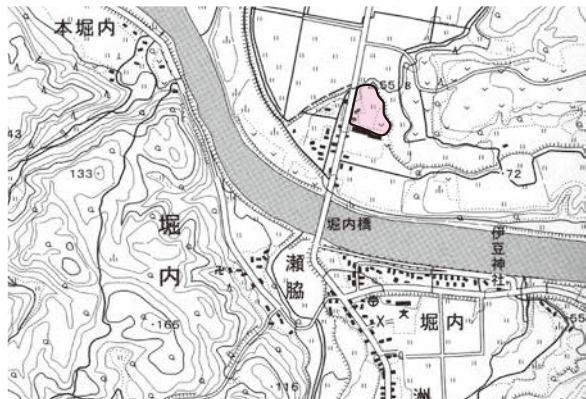
25 中洗2遺跡 (北東から)



26 山形朝日線歩道設置工事山辺工区



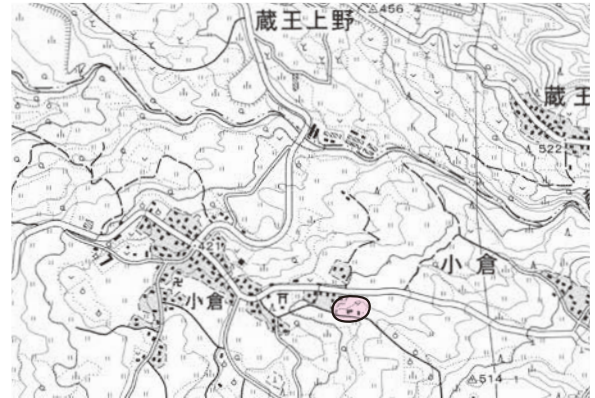
26 山形朝日線歩道設置工事山辺工区 (南から)



27 荷渡遺跡



27 荷渡遺跡隣接地 (北から)



28 一ノ堰2遺跡



28 一ノ堰2遺跡 (西から)



29 御嶽山物見遺跡



29 山形南陽線板宮工区 (南から)



30 一般国道345号(平沢)道路改良工事



30 一般国道345号(平沢)道路改良工事 (西から)

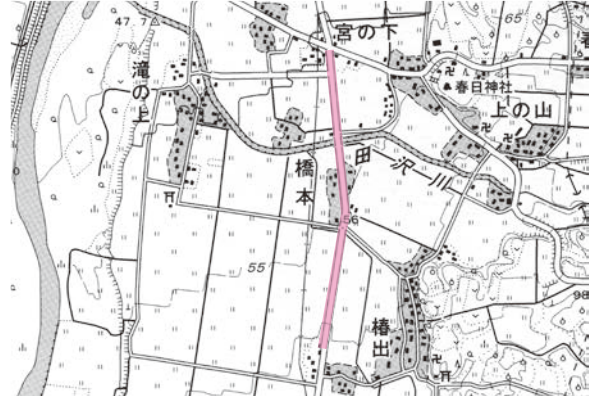


31 一般国道112号(金沢陸橋)橋梁撤去・道路改良工事

II 調査の概要



31 一般国道 112 号 (金沢陸橋)
橋梁撤去・道路改良工事 (南西から)



32 主要地方道余目温海線 (黒川)



32 主要地方道余目温海線 (黒川)(北から)



33 月岡城跡



33 荒町川河川整備補助事業 (南東から)



34 古佐川河川整備補助事業 (防災安全) 築堤工



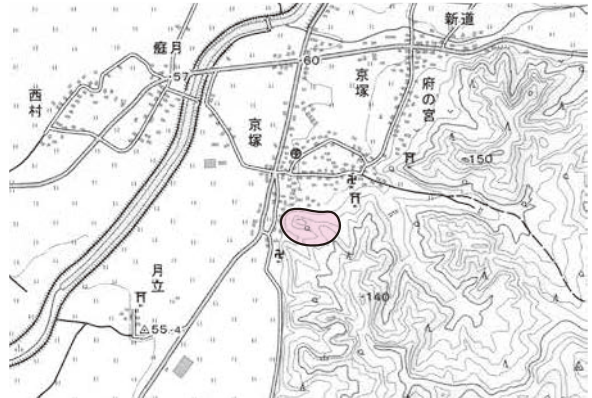
34 古佐川河川整備補助事業 (防災安全) 築堤工 (西から)



35 若木館跡



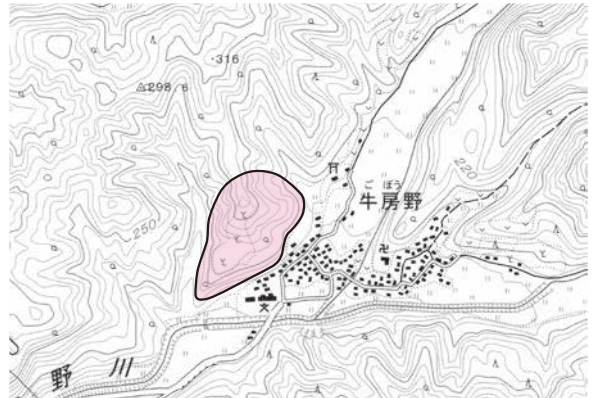
35 若木館跡 (南西から)



36 京塚館跡



36 京塚館跡 (南東から)



37 牛房野橋跡



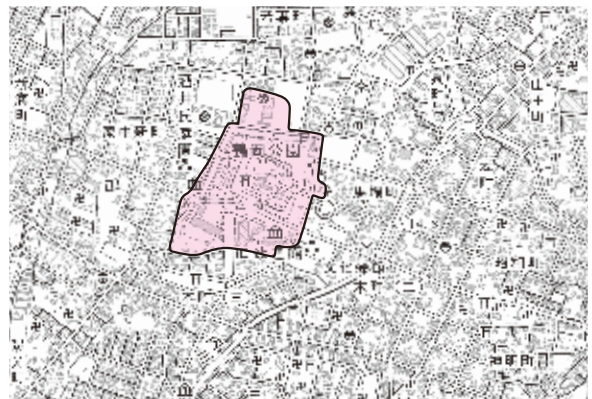
37 牛房野橋跡 (南から)



38 米沢養護学校高等部就労コース設置事業



38 米沢養護学校高等部就労コース設置事業 (北西から)



39 鶴ヶ岡城跡

II 調査の概要



39 庄内中高一貫校(仮称)校舎整備工事立会(南から)



40 明沢川発電所遺跡可能性地



40 明沢川発電所遺跡可能性地(西から)



41 宮内遺跡



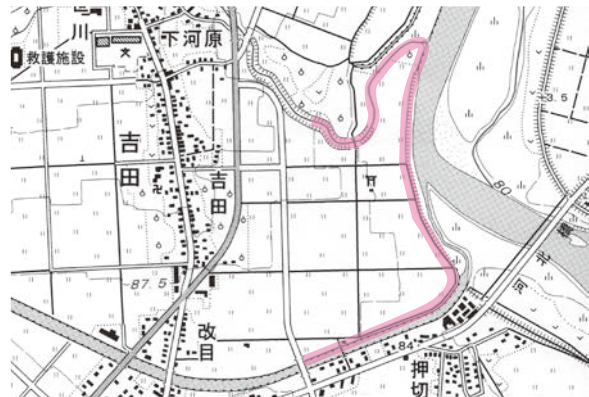
41 宮内遺跡 工事立会(南から)



42 最上川上流大規模関連災害事業(溝延築堤)



42 最上川上流大規模関連災害事業(溝延築堤)(西から)



43 最上川上流大規模関連災害事業(押切築堤)

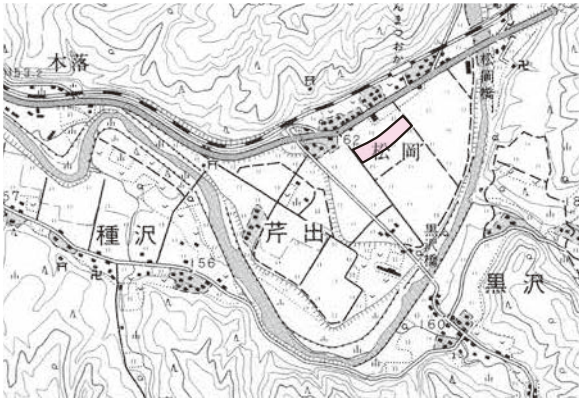
II 調査の概要



46 一般国道 13 号金山道路遺跡可能性地 2 (南西から)



47 一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 1・2



47 一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 10



47 一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 1 (東から)



47 一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 2 (東から)



47 一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 10 (南西から)



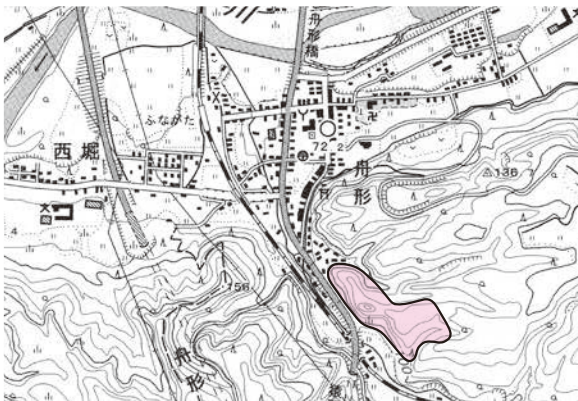
47 一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 10 採取遺物



48 一般国道 47 号高屋防災道路 (北東から)



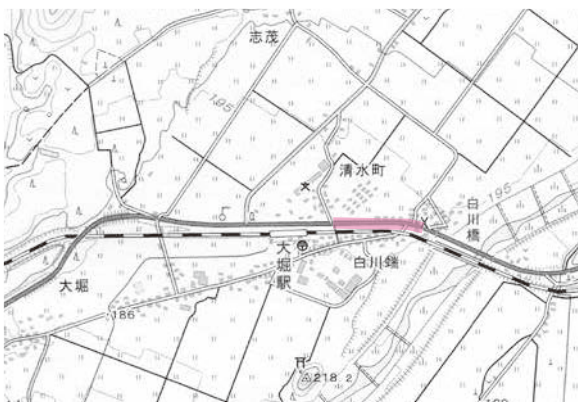
48 一般国道 47 号高屋防災道路



49 沼沢館跡



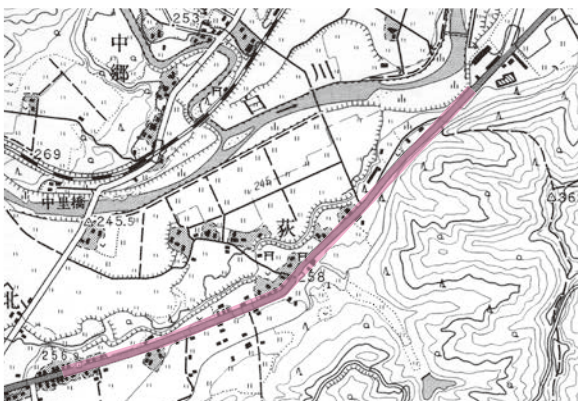
49 沼沢館跡 (北から)



50 一般国道 47 号志茂歩道整備事業



50 一般国道 47 号志茂歩道整備事業 (東から)



51 一般国道 113 号飯豊歩道整備事業



51 一般国道 113 号飯豊歩道整備事業 (北東から)

II 調査の概要



52 大黒坂遺跡



52 大黒坂遺跡(南東から)



53 水ノ上遺跡



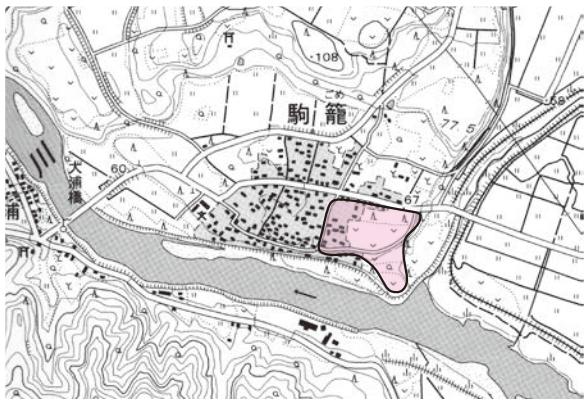
53 水ノ上遺跡(北西から)



54 水林下遺跡



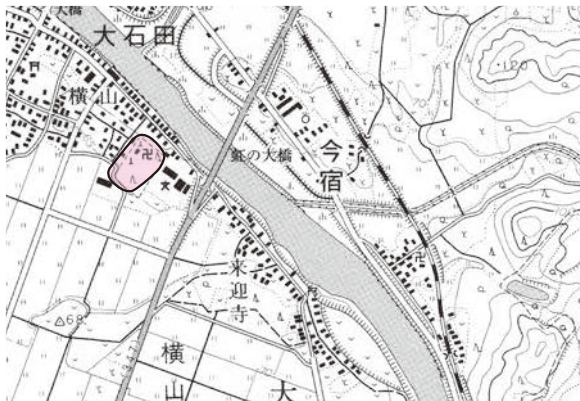
54 水林下遺跡(南西から)



55 駒籠館跡



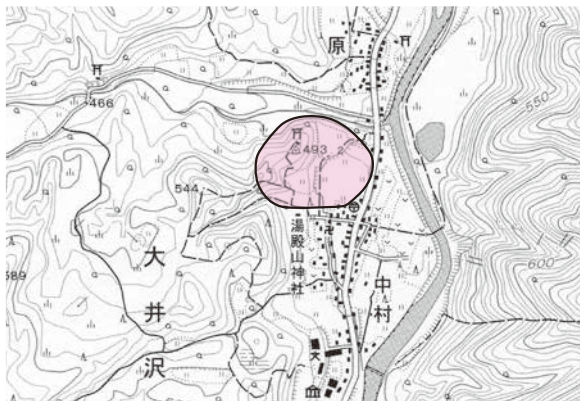
55 駒籠館跡隣接地(北西から)



56 横山学校前遺跡



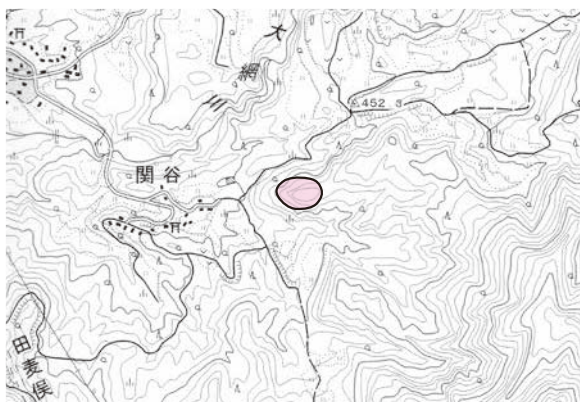
56 横山学校前遺跡 (南東から)



57 中村館跡



57 中村館跡 (南から)



58 関谷館跡



58 関谷館跡 (西から)

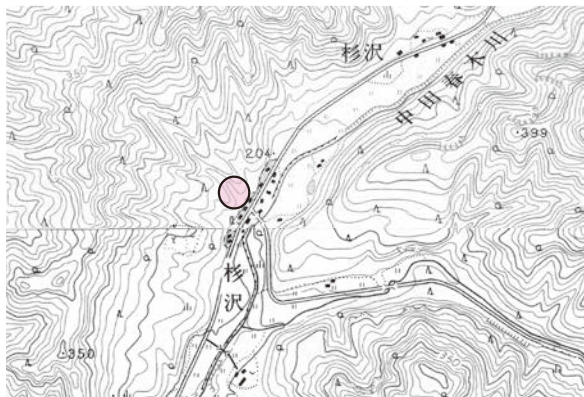


59 砂川B遺跡



59 砂川B遺跡 (南東から)

II 調査の概要



60 入水ノ沢砂防堰堤(鮭川砂防)



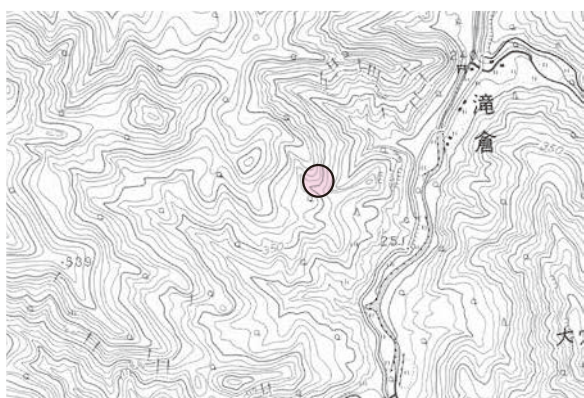
60 入水ノ沢砂防堰堤(鮭川砂防)(南東から)



61 樋ノ沢第1砂防堰堤



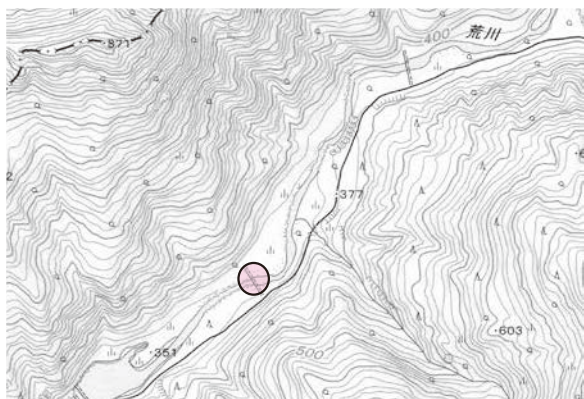
61 樋ノ沢第1砂防堰堤(北東から)



62 小川沢砂防堰堤



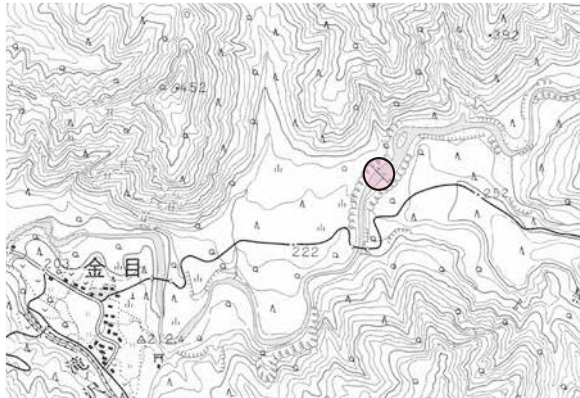
62 小川沢砂防堰堤(北から)



63 穴淵砂防堰堤



63 穴淵砂防堰堤(東から)



64 金目川第1砂防堰堤



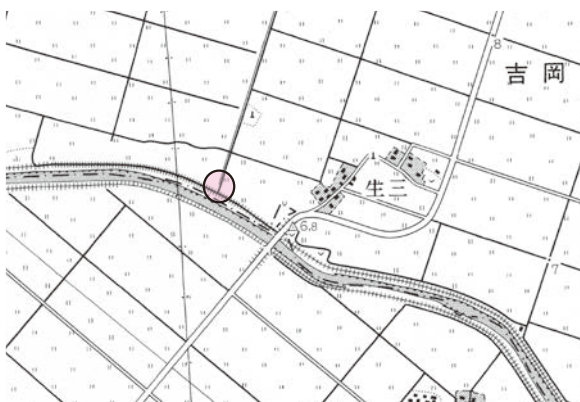
64 金目川第1砂防堰堤(西から)



65 国営かんがい排水事業二段割排水機場



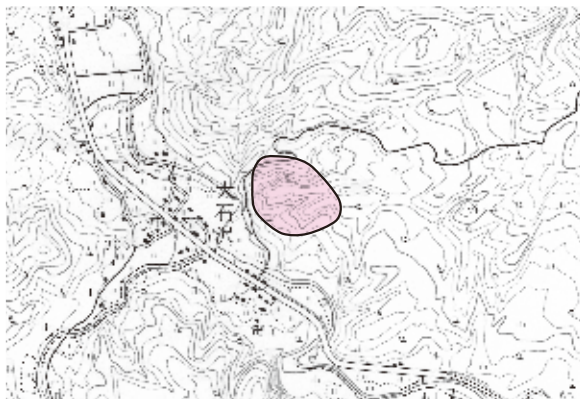
65 国営かんがい排水事業二段割排水機場(南から)



66 国営かんがい排水事業生田排水機場



66 国営かんがい排水事業生田排水機場(西から)

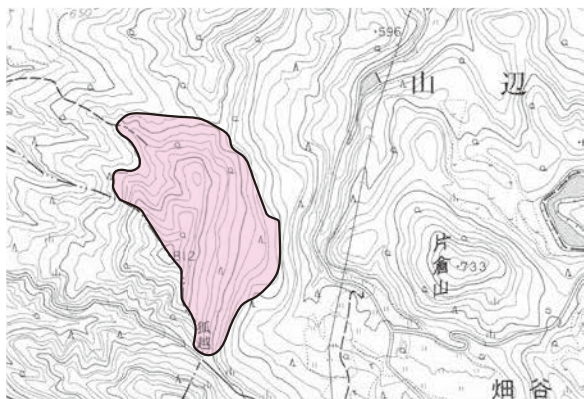


67 城の平遺跡



67 城の平遺跡(西から)

II 調査の概要



68 三森山見張所遺跡



68 三森山見張所遺跡(東から)



69 金山城跡



69 金山城跡 工事立会(北東から)

2 試掘調査の概要

(1) 原の内 A 遺跡

所在地 山形県尾花沢市大字鶴子

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和4年10月14日

起回事業 農地整備事業（経営体育成型）鶴子六沢地区

遺跡立地 標高：約223m 立地：河岸段丘 地目：畑

試掘区 事業予定地内にトレンチ4箇所を設定した。

試掘方法 人力で試掘調査を実施。

試掘面積 4.0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 縄文時代、平安時代

所見 事業地は、丹生川左岸の河岸段丘上である。令和元年11月に実施した踏査の結果、原の内A遺跡、鶴子中原遺跡、原の内F遺跡、玉野原A遺跡、玉野原B遺跡、六沢遺跡、遺跡可能性地において事業実施前に試掘調査が必要と判断されたことから、令和2年度から試掘調査を実施しているものである。

令和4年度は、昨年度に試掘調査未実施となっていた事業地南西の一部についてのみ調査を実施した。試掘対象地は原の内A遺跡の範囲内である。

事業地内にトレンチを4箇所を設定し、人力で掘り下げて遺構・遺物の有無を精査した。なお、トレンチ番号は昨年度に引き続きトレンチ101～104とした。

調査の結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。試掘対象地全体が過去の区画整備等の影響により削平されている状況が確認された。

T 101 (cm)

1	-20	1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-35	2. 褐灰色シルト、 ϕ ～5mmの礫、酸化鉄を含む
3		3. にぶい黄褐色微砂質土、軽石を含む

T 103 (cm)

1	-15	1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-20	2. 褐灰色シルト、 ϕ ～5mmの礫、酸化鉄を含む
3	-40	3. 黒褐色シルトと明黄褐色シルトの混合層(造成土)(盛土)
4		4. にぶい黄褐色微砂質土、軽石を含む

T 102 (cm)

1	-15	1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-20	2. 褐灰色シルト、 ϕ ～5mmの礫、酸化鉄を含む
3	-23	3. 黒色シルト、細礫を含む
4	-30	4. にぶい黄褐色微砂質土、軽石を含む

T 104 (cm)

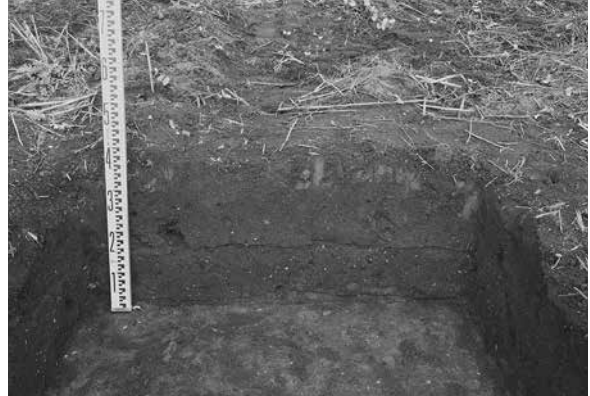
1	-15	1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-25	2. 褐灰色シルト、 ϕ ～5mmの礫、酸化鉄を含む
3	-40	3. 暗褐色微砂質土、礫・軽石を含む(落込みか)
4		4. 明黄褐色シルト、 ϕ ～10cmの礫を多量に含む

原の内A遺跡 土層図

II 調査の概要



T 101 全景 (南から)



T 101 土層断面 (南から)



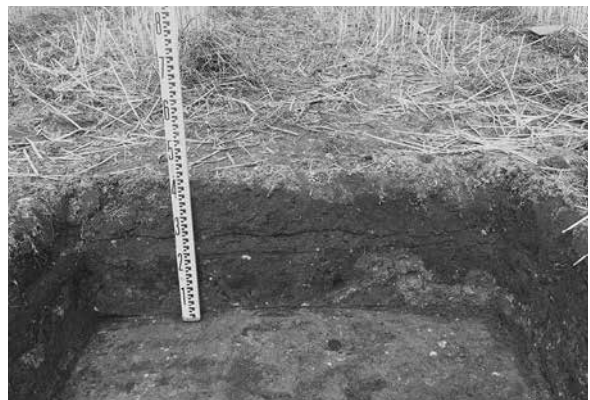
T 102 全景 (南から)



T 102 土層断面 (南から)



T 103 全景 (南から)



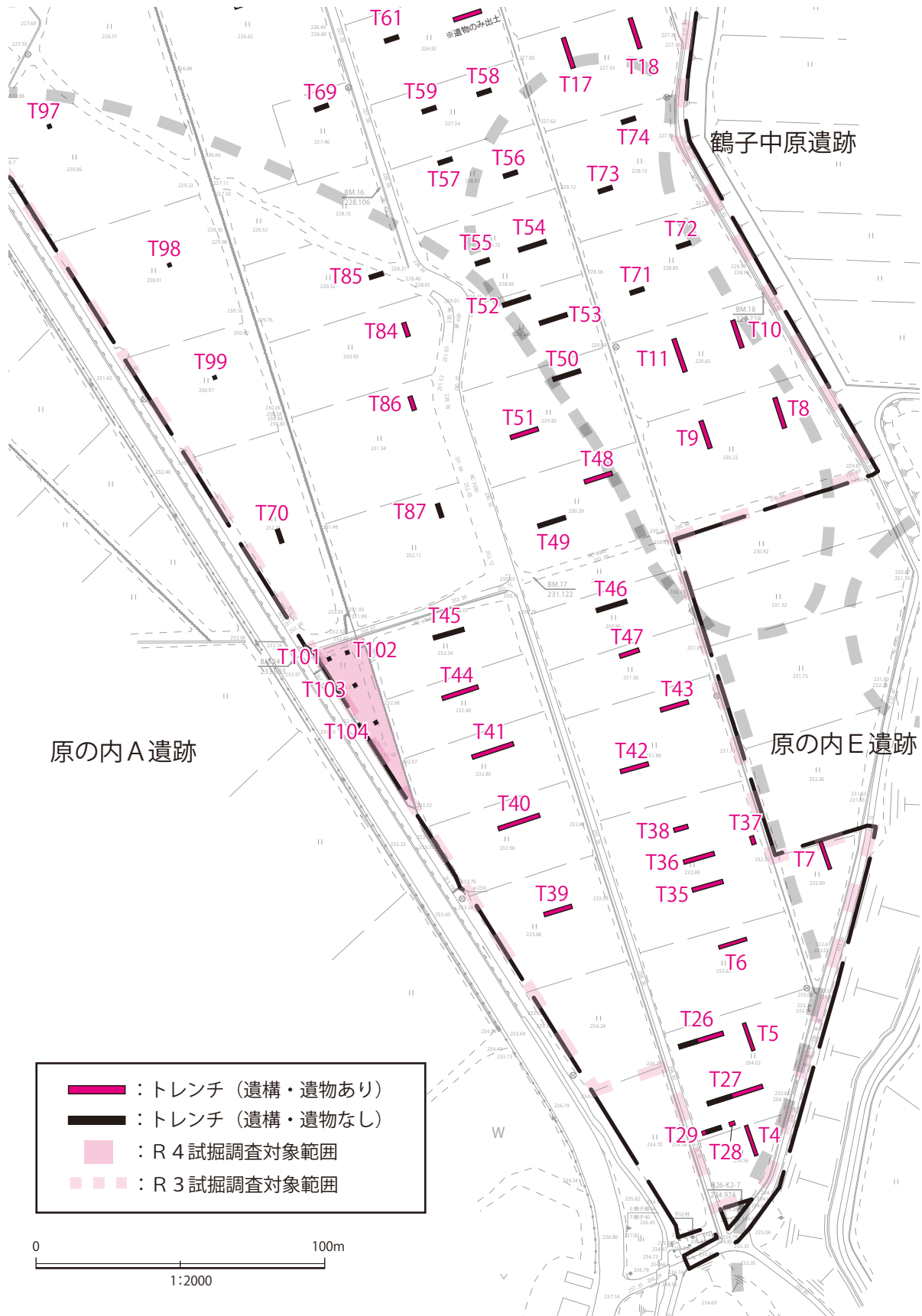
T 103 土層断面 (南から)



T 104 全景 (南から)



T 104 土層断面 (南から)



鶴子六沢地区 トレンチ配置図

(2) 真室川北部1期地区遺跡可能性地

所在地 山形県真室川町及位

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和4年11月18日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）真室川町北部1期地区

遺跡立地 標高：約206～208m 立地：段丘 地目：田、畑

試掘区 事業予定地内にトレンチ5箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 80.0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 —

所見 当該地は、平成30年度に実施した踏査の結果、真室川右岸の河岸段丘上の畑地に多量の石器片が散布していることが確認され、この地点に遺跡が所在する可能性があることから「遺跡可能性地」とし、遺跡の有無を確認するための調査を実施したものである。令和3年度から試掘調査を実施しており、令和4年度は線路を挟んだ南側の範囲について調査を実施した。

事業地内にトレンチを5箇所を設定し、重機で掘り下げた後、人力で遺構・遺物の有無を精査した。なお、トレンチ番号は令和3年度に続き、トレンチ12～16とした。

調査の結果、トレンチ15の客土中より遺物が出土したが、それ以外のトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。試掘対象地全体が過去の区画整備等の影響により削平または盛土されている状況が確認され、当地に遺跡は所在しないものと判断された。試掘調査及び踏査時に確認された遺物は、過去のほ場整備等の客土に含まれていた可能性がある。

T12 (cm)

1	-20	1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-25	2. 褐灰色シルト
3	-40	3. 黒色粘土、灰色白色粘土を含む
4	-50	4. 青灰色粘土

T13 (cm)

1	-15	1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-30	2. 黒色シルト、にぶい黄橙色シルト含む
3	-40	3. にぶい黄橙色粘質シルト、酸化鉄を含む

T14 (cm)

1	-25	1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-35	2. 黒色シルト、にぶい黄橙色砂質シルトブロック含む
3		3. にぶい黄橙色砂質シルト

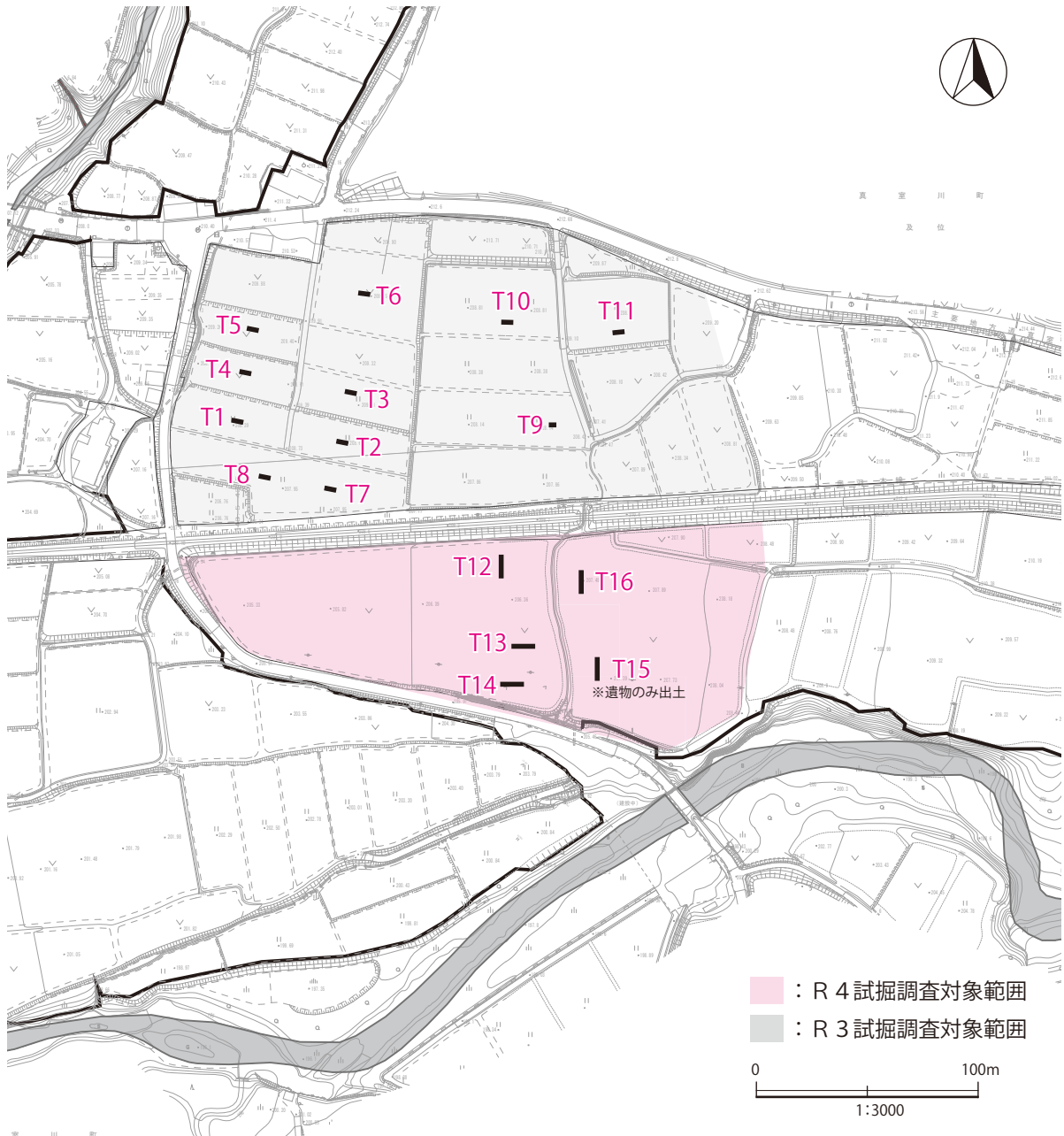
T15 (cm)

1	-15	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-45	2. 褐灰色シルト、φ～30cmの礫を含む
3	-105	3. 黒色粘土、φ～30cmの礫を含む
4		4. 灰白色粘土

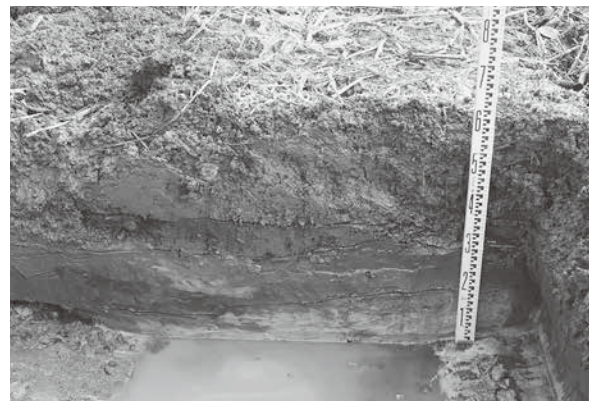
T16 (cm)

1	-20	1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-40	2. 黒色粘質シルト、φ～10cmの礫を含む
3	-50	3. にぶい黄橙色シルト、砂・φ～20cmの礫を含む

真室川北部1期地区遺跡可能性地 土層図



T 12 全景 (南から)

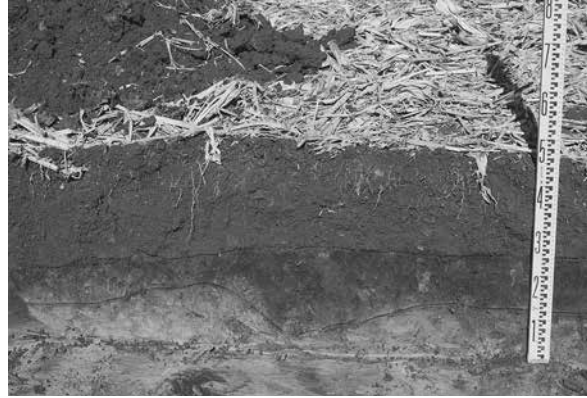


T 12 土層断面 (西から)

II 調査の概要



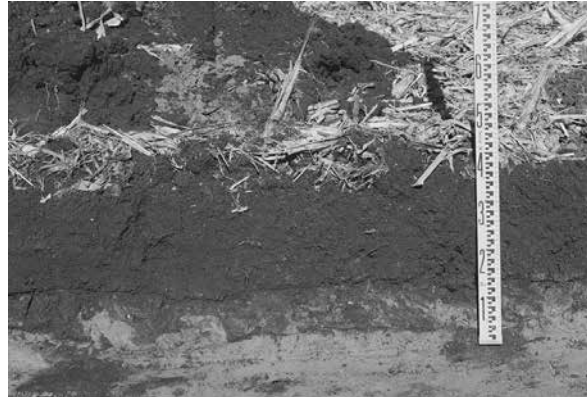
T 13 全景 (南東から)



T 13 土層断面 (南から)



T 14 全景 (東から)



T 14 土層断面 (南から)



T 15 全景 (南東から)



T 15 土層断面 (東から)



T 16 全景 (南から)



T 16 土層断面 (東から)

(3) ^{てんのう}天王遺跡、漆山地区遺跡可能性地 5・6

所在地 山形県南陽市漆山

調査員 稲村圭一 岩崎恒平 山科樹生

調査期日 令和4年10月24日、31日、11月7日、11月17日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）漆山地区

遺跡立地 遺跡可能性地5 標高：約220～223m 立地：自然堤防、沖積地（扇状地）
地目：田・畑・果樹

遺跡可能性地6 標高：約218m 立地：微高地、沖積地（扇状地）、地目：畑

試掘区 事業予定地内にトレンチ22箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 255.6㎡

検出遺構 溝跡・土坑・ピット（柱穴）

出土遺物 須恵器、土師器、陶磁器

時代 奈良・平安時代

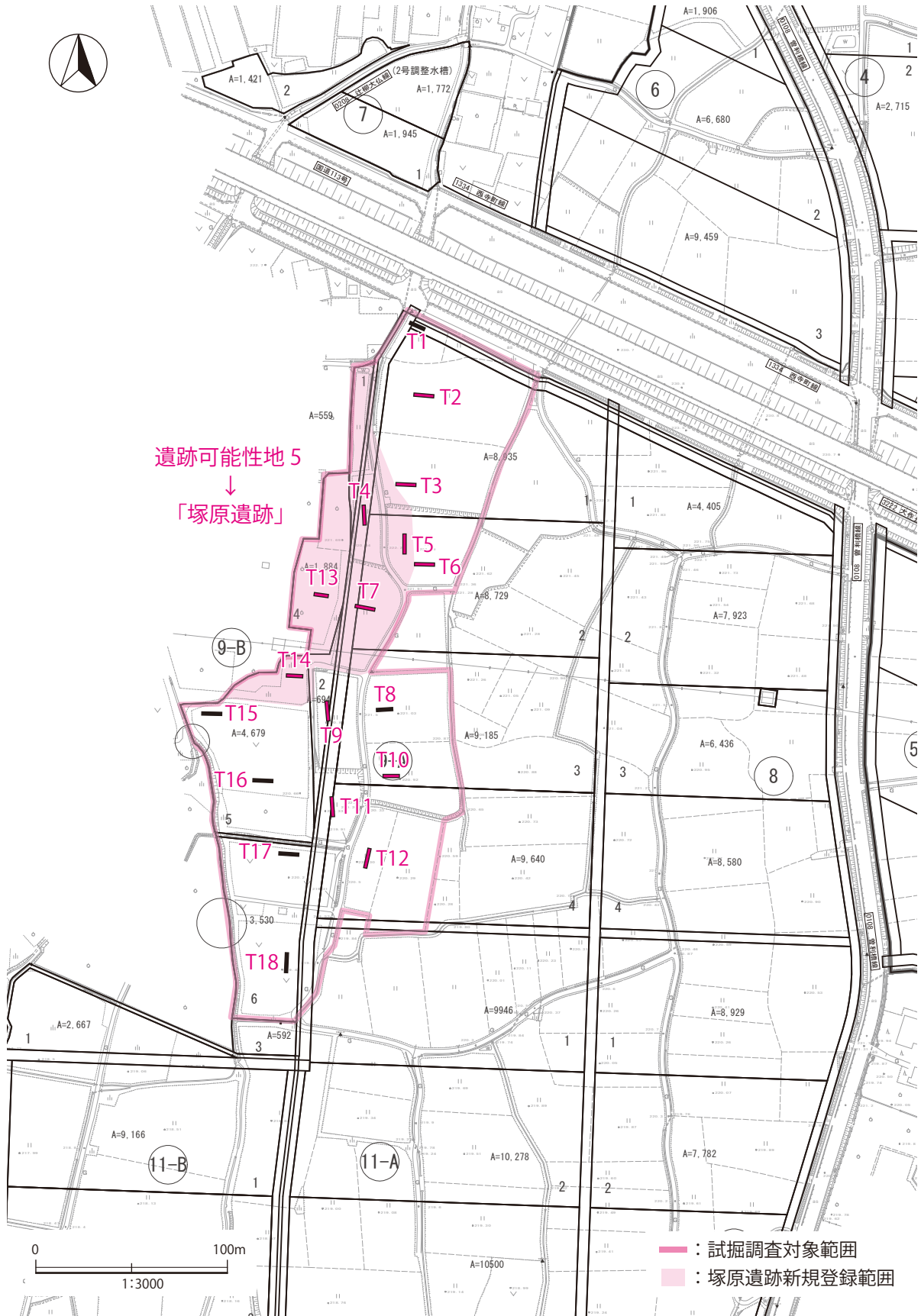
所見 当該地は令和2年3月、令和3年12月及び令和4年4月に実施した踏査において遺物を採取したことから「遺跡可能性地5、6」とし、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施したものである。

遺跡可能性地5においてトレンチ18箇所を設定して調査を行った結果、トレンチ4・5・7・13・14において遺構（柱穴、土坑、溝跡等）と遺物を確認した。遺構を確認したトレンチは、周知の埋蔵文化財包蔵地である天王遺跡と同じ自然堤防上に位置する。遺物は土師器や須恵器等で概ね古代（奈良・平安時代）を中心とするものであり、自然堤防上を中心に新規の遺跡が立地するものと思われる。東側の水田部分に設定したトレンチは概ね谷地状の土層堆積を呈し、遺跡の範囲が及ばないことを確認した。

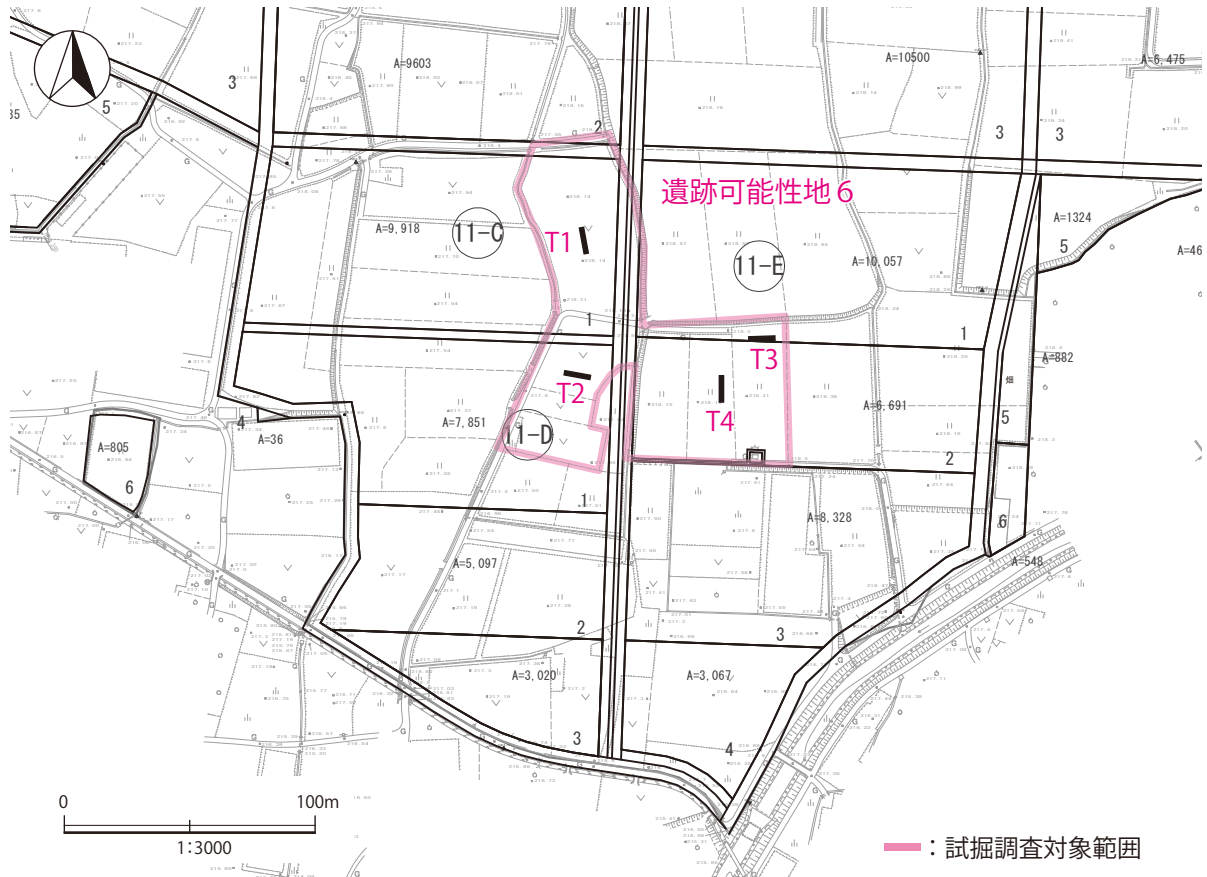
なお、トレンチ2・3・9・10～12の堆積土中で、遺物（土師器・須恵器）を数点確認しているが、全て遺跡が立地する自然堤防上からの流れ込みによるものであると判断された。遺構が確認されたトレンチ4・5・7・13・14の範囲を「塚原遺跡」として新規登録する。

遺跡可能性地6において、トレンチ4箇所を設定して調査を行った結果、遺構・遺物確認されなかった。全てのトレンチにおいて、過去の造成により旧地形が削平されている状況が確認され、当該地に遺跡は所在しないものと判断された。

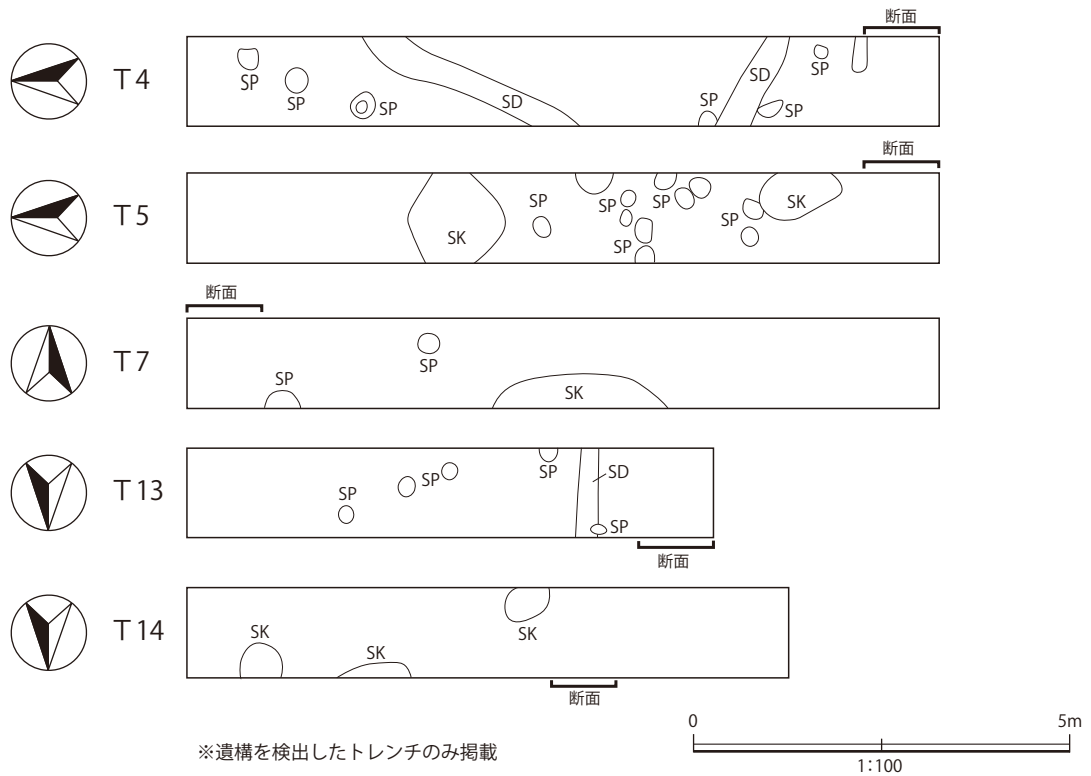
II 調査の概要



漆山地区遺跡可能性地5 トレンチ配置図



漆山地区遺跡可能性地 6 トレンチ配置図



※遺構を検出したトレンチのみ掲載

漆山地区遺跡可能性地 5 遺構検出平面図

II 調査の概要

T1 (cm)

1	-	1.表土
2	-22	2.黒褐色砂質土、小石混じる
3	-44	3.褐灰色砂（地山）

T2 (cm)

1	-	1.表土
2	-14	2.黒褐色シルト、小石混じる
3	-22	3.黒褐色粘質土、雲母を多く含む
4	-49	4.褐灰色土、φ2cm程度の粘土ブロック
.....	-58	が混ざる（地山）

T3 (cm)

1	-	1.表土
2	-9	2.黒褐色シルト、小石混じる
3	-23	3.黒褐色粘質土、雲母を多く含む
4	-38	4.褐灰色土、φ2cm程度の粘土ブロック
.....	-47	が混ざる（地山）

T4 (cm)

1	-	1.表土
2	-18	2.黒褐色粘質土、雲母を多く含む
3	-36	3.褐灰色砂質土（地山）
.....	-44	

T5 (cm)

1	-	1.表土
2	-17	2.褐灰色シルト
3	-51	3.明褐灰粘質土（地山）

T6 (cm)

1	-	1.表土
2	-16	2.褐灰色粘質土、φ2cm程度のシルト
3	-51	ブロック(明黄褐色)が混ざる
.....	-60	3.褐灰色砂質シルト、地山（地山）

T7 (cm)

1	-	1.耕作土
2	-15	2.黒褐色砂質土、砂利を含む
3	-30	3.黒色砂質シルト

T8 (cm)

1	-	1.耕作土
2	-15	2.黒褐色砂質土、砂利を含む
3	-20	3.褐灰色砂

T9 (cm)

1	-	1.耕作土
2	-20	2.黒褐色砂質土、砂利を含む
3	-40	3.褐灰色砂

T10 (cm)

1	-	1.耕作土
2	-30	2.黒褐色砂質土、砂利を含む
3	-45	3.褐灰色砂

T11 (cm)

1	-	1.耕作土
2	-15	2.黒褐色砂質土、砂利を含む
3	-35	3.褐灰色砂

T12 (cm)

1	-	1.耕作土
2	-30	2.黒褐色砂質土、砂利を含む
3	-50	3.褐灰色砂

T13 (cm)

1	-	1.表土
2	-11	2.黒褐色砂質土、φ2cm程度のシルト
3	-26	ブロックを含む
4	-32	3.黒褐色粘質土
.....	-44	4.褐灰色粘質土

T14 (cm)

1	-	1.耕作土
2	-46	2.暗褐色砂質土、遺物を多く含む
3	-50	3.褐灰色砂質土

T15 (cm)

1	-	1.耕作土
2	-26	2.褐灰色砂質土、黒色砂質土がまだら
.....		に混ざる

T16 (cm)

1	-	1.耕作土
2	-21	2.黒褐色土、砂利含む
3	-46	3.褐灰色砂礫土

T17 (cm)

1	-	1.耕作土
2	-26	2.黒褐色砂質土、砂利含む

T18 (cm)

1	-	1.耕作土
2	-14	2.褐灰色土
3	-33	3.黒褐色砂土、φ1mm程度の白色
4	-58	シルトブロック含む
.....		4.黒褐色砂質土

漆山地区遺跡可能性地 5 土層図

T1 (cm)	
1	1.表土
2	-10 2.褐灰色砂質土、小石混じる
3	-30 3.にぶい黄褐色砂質土(地山)

T2 (cm)	
1	1.表土
2	-10 2.褐灰色砂質土、小石混じる
3	-30 3.にぶい黄褐色砂質土(地山)

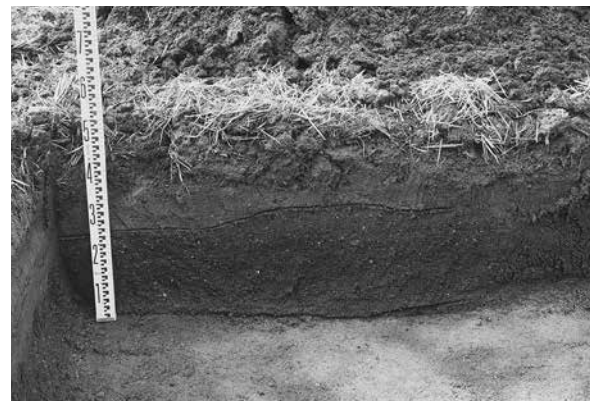
T3 (cm)	
1	1.表土
2	-10 2.褐灰色砂質土、小石混じる
3	-30 3.にぶい黄褐色砂質土(地山)
	-35

T4 (cm)	
1	1.表土
2	-10 2.褐灰色砂質土、小石混じる
3	-45 3.黒褐色砂質土(地山)

漆山地区遺跡可能性地6 土層図



遺跡可能性地5 T1全景(東から)



遺跡可能性地5 T1土層断面(北から)



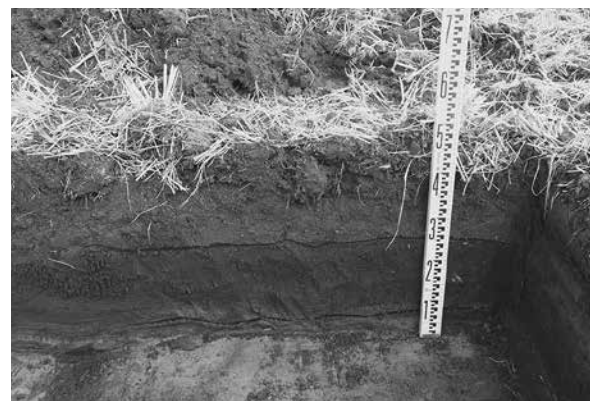
遺跡可能性地5 T3全景(西から)



遺跡可能性地5 T3土層断面(南から)



遺跡可能性地5 T4全景及び遺構検出状況(南東から)



遺跡可能性地5 T4土層断面(西から)

II 調査の概要



遺跡可能性地5 T5全景(南から)



遺跡可能性地5 T5土層断面(西から)



遺跡可能性地5 T5遺構検出状況(北東から)



遺跡可能性地5 T7土層断面(西から)



遺跡可能性地5 T7土層断面(南から)



遺跡可能性地5 T7遺構検出状況(北東から)



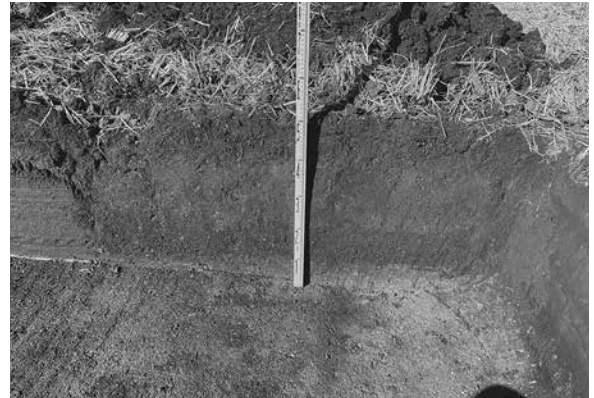
遺跡可能性地5 T9全景(南から)



遺跡可能性地5 T9土層断面(南から)



遺跡可能性地5 T 10 全景 (東から)



遺跡可能性地5 T 10 土層断面 (南から)



遺跡可能性地5 T 12 全景 (南から)



遺跡可能性地5 T 12 土層断面 (西から)



遺跡可能性地5 T 13 全景 (西から)



遺跡可能性地5 T 13 土層断面 (南から)



遺跡可能性地5 T 13 遺構検出状況 (南西から)



遺跡可能性地5 T 14 土層断面 (東から)

II 調査の概要



遺跡可能性地5 T 14 土層断面(南から)



遺跡可能性地5 T 14 遺構検出状況(南西から)



遺跡可能性地5 T 15 全景(東から)



遺跡可能性地5 T 15 土層断面(南から)



遺跡可能性地5 T 16 全景(東から)



遺跡可能性地5 T 16 土層断面(南から)



遺跡可能性地5 T 17 全景(東から)



遺跡可能性地5 T 17 土層断面(南から)



遺跡可能性地6 T1全景(南から)



遺跡可能性地6 T1土層断面(東から)



遺跡可能性地6 T4全景(東から)



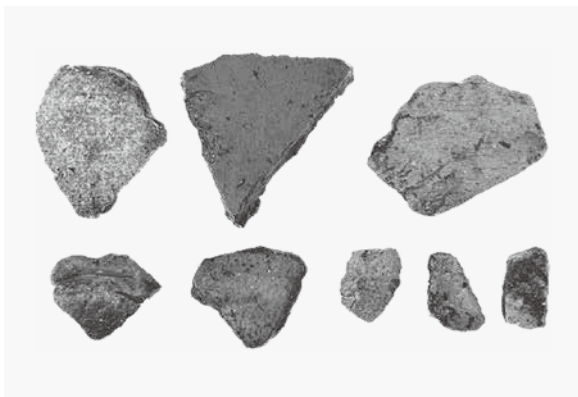
遺跡可能性地6 T4土層断面(南から)



遺跡可能性地5 T5土坑出土遺物



遺跡可能性地5 T5ピット出土遺物



遺跡可能性地5 T7出土遺物



遺跡可能性地5 T14出土遺物

(4) 亀岡西地区遺跡可能性地2 (西田1遺跡、西田2遺跡)

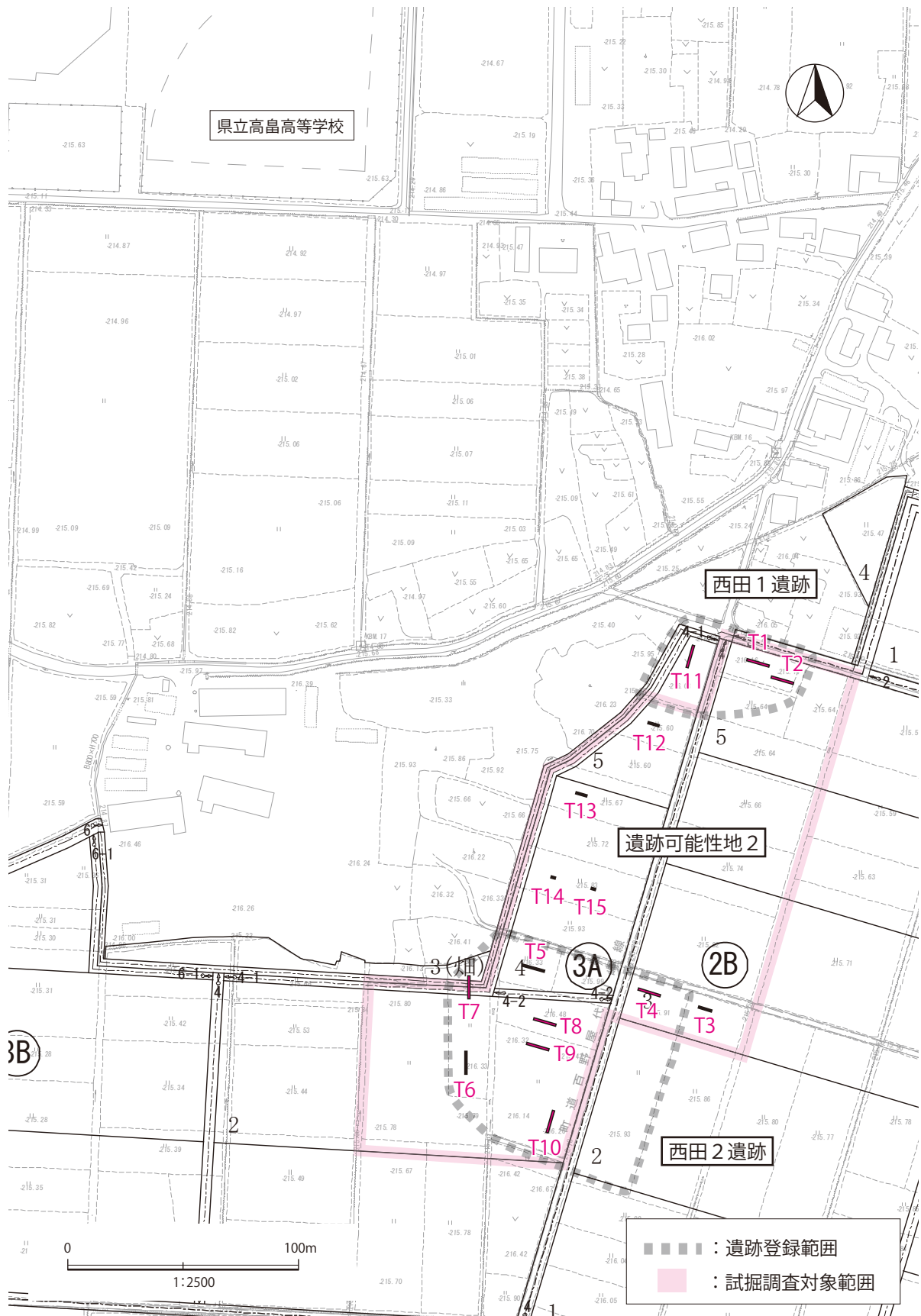
所在地 山形県高島町船橋字西田
調査員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平
調査期日 令和4年12月2日・6日・28日
起因事業 農地整備事業(経営体育成型) 亀岡西地区
遺跡立地 標高:約216m 立地:氾濫平野 地目:田、畑
試掘区 事業予定地内にトレンチ15箇所を設定した。
試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。
試掘面積 123.5㎡
検出遺構 溝状遺構、土坑、柱穴
出土遺物 土師器片
時代 古墳時代、奈良・平安時代
所見 遺跡可能性地2は、令和2年度に実施した踏査において、船橋集落の南側の畑で須恵器片を採取した地点及びその周辺の範囲であり、最上川右岸の砂川と和田川に挟まれた氾濫平野上に位置する。

事業地内にトレンチを15箇所設定し、遺構・遺物の有無を精査した結果、トレンチ1・2において、溝状遺構、柱穴等の遺構を検出した。トレンチ1の柱穴内からは古墳時代と考えられる土師器片が出土した。また、トレンチ4において溝状遺構を検出したが、過去の区画整備により遺構の上面は削平されている状況が確認された。

また、トレンチ7においては表土直下で土坑等の遺構を検出し、土坑から奈良・平安時代の土師器片が出土した。トレンチ8・9・10においても、溝状遺構・土坑・柱穴等の遺構を検出した。トレンチ10の南側から地形が緩やかに傾斜し、調査区南端では砂層を検出したことから、トレンチ10より南側には旧河川や氾濫原が広がるものと考えられる。

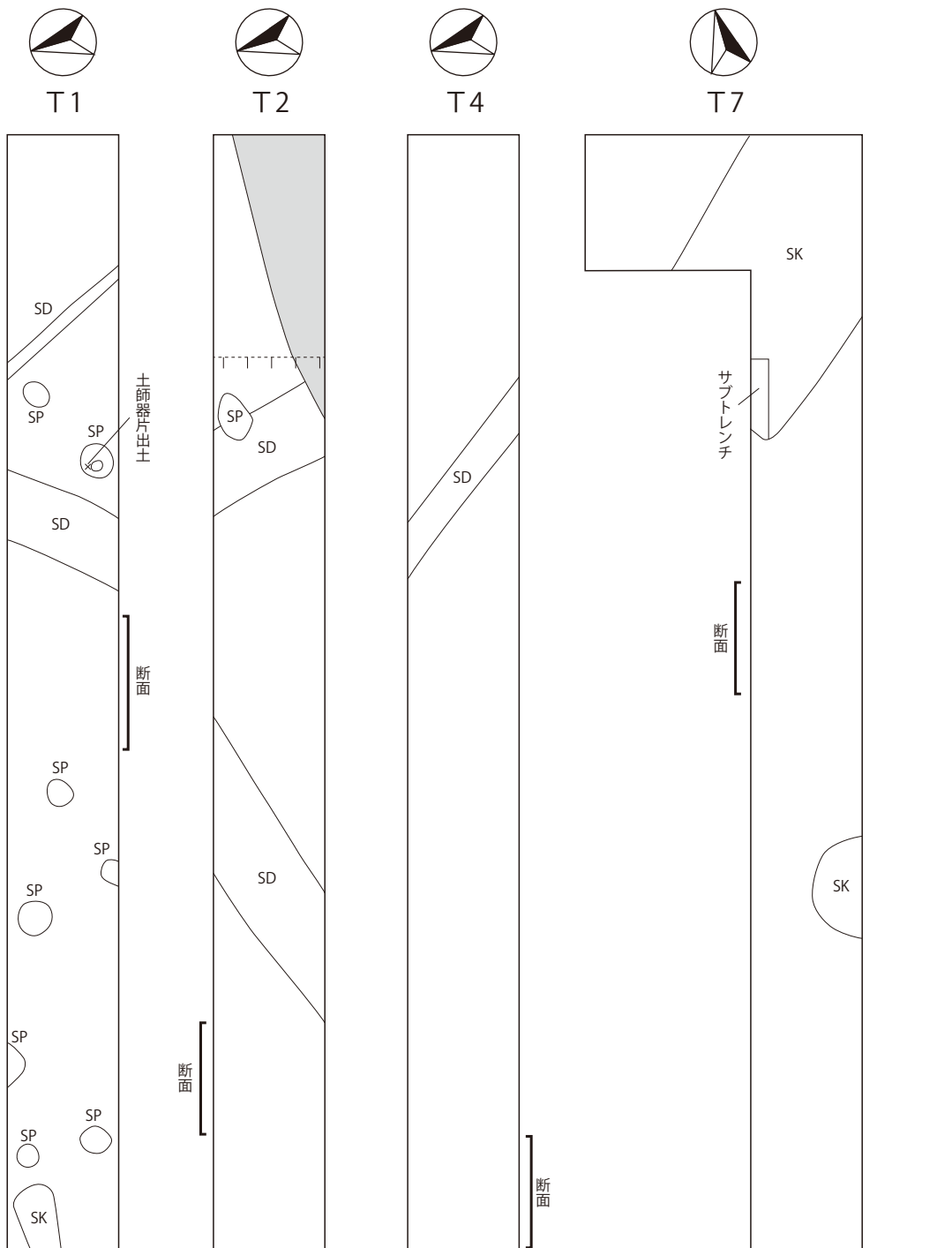
トレンチ11においては溝状遺構・土坑・柱穴等の遺構を検出した。トレンチ12～15では遺構・遺物は確認されず、粘土層など低地となる様相を確認した。

遺跡可能性地2のうち、トレンチ1・2・11が位置する範囲を遺跡登録する。遺跡の名称は「西田1遺跡」とする。また、トレンチ4～10が位置する範囲を遺跡登録する。遺跡の名称は「西田2遺跡」とする。



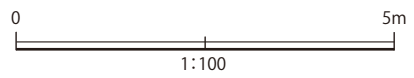
亀岡西地区遺跡可能性地2 トレンチ配置図

II 調査の概要

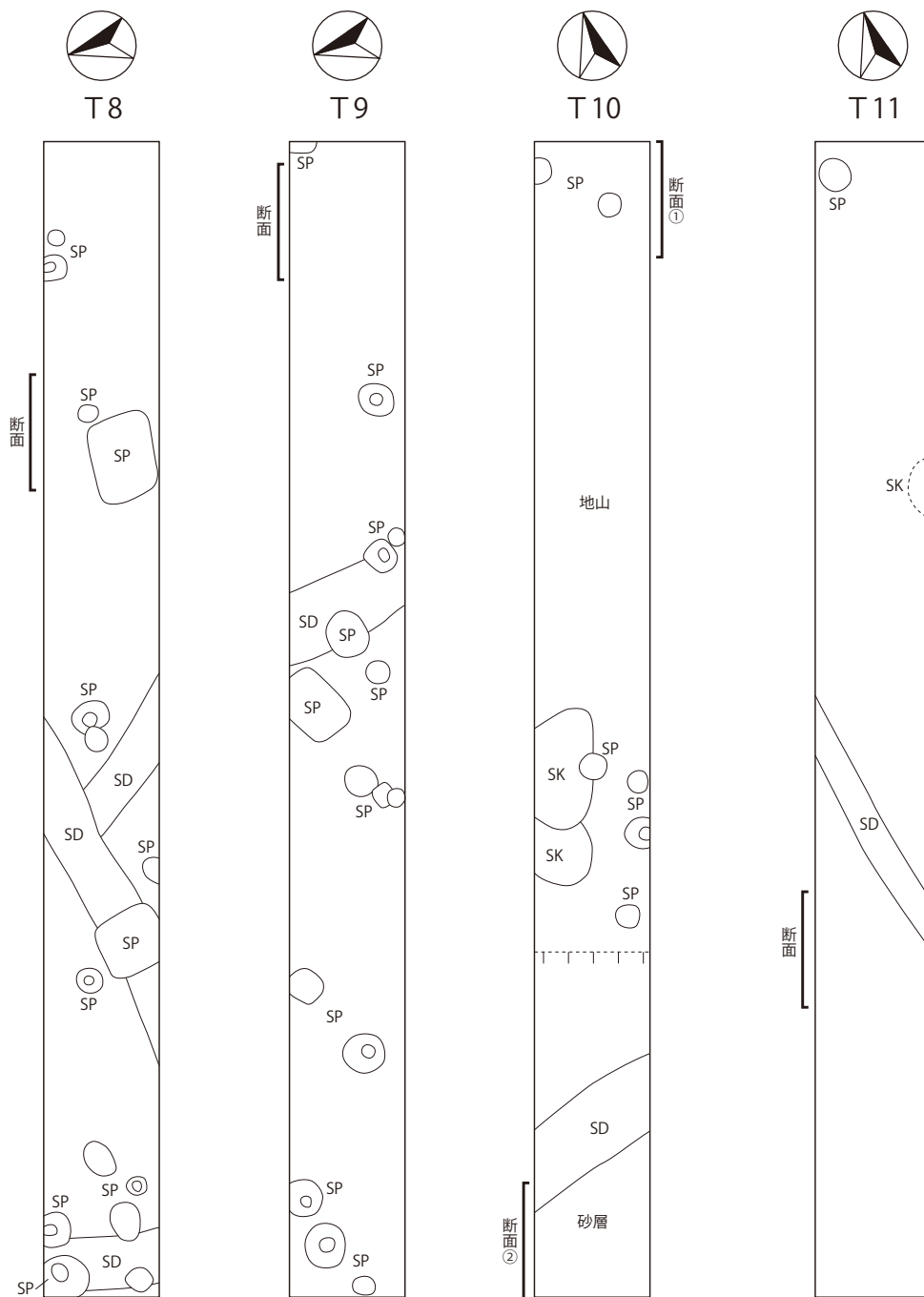


※遺構を検出したトレンチのみ掲載

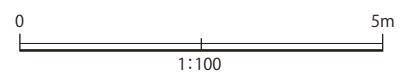
■ : 攪乱



亀岡西地区遺跡可能性地2 遺構検出平面図



※遺構を検出したトレンチのみ掲載



亀岡西地区遺跡可能性地 2 遺構検出平面図

II 調査の概要

T1 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-15	2. 暗褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
3	-30	3. 黒褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
4	-35	4. にぶい黄褐色シルト(地山)

T2 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-15	2. 暗褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
3	-35	3. 黒褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
4	-45	4. にぶい黄褐色シルト(地山)

T3 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-10	2. 灰黄褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-25	3. 暗灰色粘質シルト(客土)
4	-35	4. 明緑灰色粘質シルト

T4 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-10	2. 灰黄褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-20	3. 暗灰色粘質シルト(客土)
4	-30	4. 明緑灰色シルト

T5 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-10	2. 暗褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
3	-30	3. 黒褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
4	-50	4. にぶい黄褐色シルト(地山)

T6 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-15	2. 暗褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロック・遺物細片を含む
3	-40	3. 黒褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
4	-55	4. にぶい黄褐色シルト(地山)

T7 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-15	2. 黒褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
3	-25	3. にぶい黄褐色シルト(地山)

T8 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-20	2. 暗褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
3	-35	3. 黒褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
4	-45	4. にぶい黄褐色シルト(地山)

T9 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-15	2. 暗褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
3	-25	3. 暗褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
4	-35	4. にぶい黄褐色シルト(地山)

T10 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-15	2. 黒褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
3	-25	3. にぶい黄褐色シルト(地山)

T11 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-15	2. 暗褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
3	-25	3. 黒褐色シルト、にぶい黄褐色シルト ブロックを含む
4	-45	4. にぶい黄褐色シルト(地山)

T12 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-10	2. 暗灰色粘質シルト、酸化鉄を含む
3	-15	3. 明緑灰色砂質シルト(地山)

T13 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-10	2. 灰黄褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-20	3. 黒褐色粘質シルト
4	-30	4. 明緑灰色粘土

T14 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-10	2. 灰黄褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-17	3. 暗灰色粘質シルト
4	-25	4. 明緑灰色粘土

T15 (cm)

1		1. 灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-10	2. 灰黄褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-20	3. 暗灰色粘質シルト
4	-30	4. 明緑灰色粘質シルト、砂を含む

亀岡西地区遺跡可能性地 2 土層図



T 1 全景 (西から)



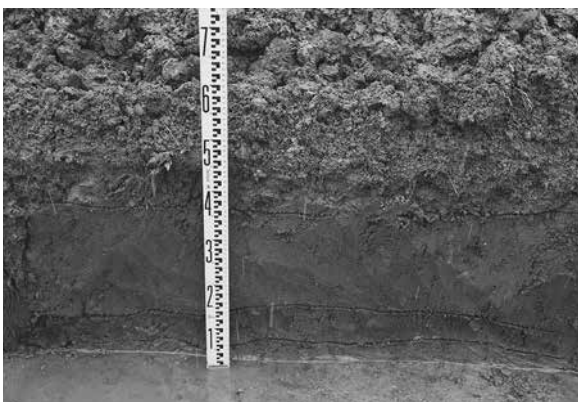
T 1 土層断面 (北から)



T 1 東側遺構検出状況 (北東から)



T 2 全景 (西から)



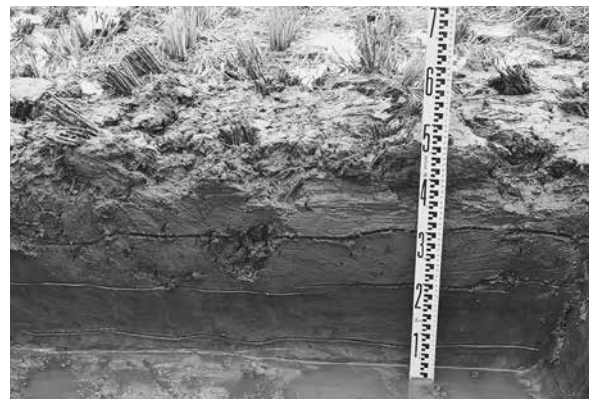
T 2 土層断面 (南から)



T 2 溝状遺構検出状況 (南西から)



T 3 全景 (西から)

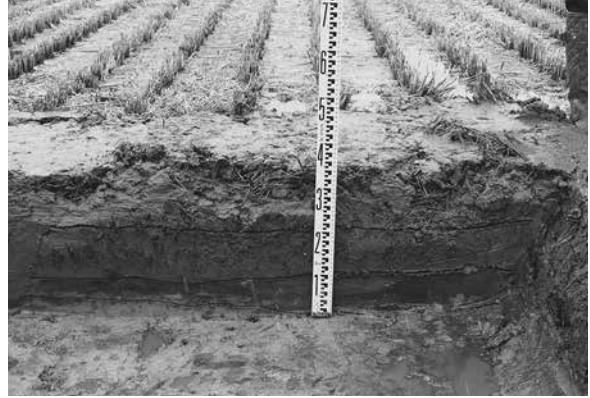


T 3 土層断面 (北から)

II 調査の概要



T 4 全景 (南東から)



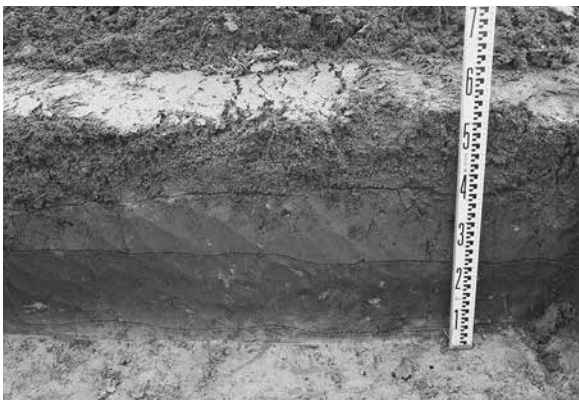
T 4 土層断面 (北から)



T 4 溝状遺構検出状況 (東から)



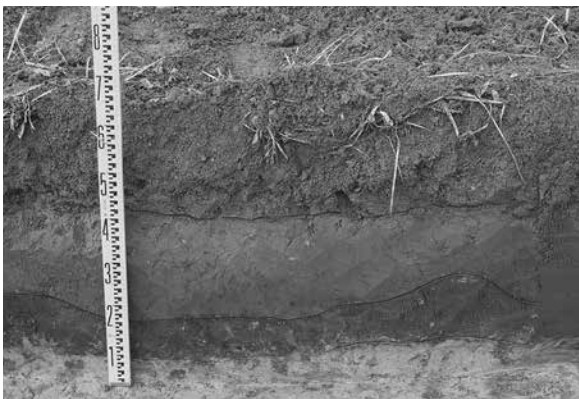
T 5 全景 (東から)



T 5 土層断面 (南から)



T 6 全景 (南から)



T 6 土層断面 (東から)



T 7 全景 (北東から)



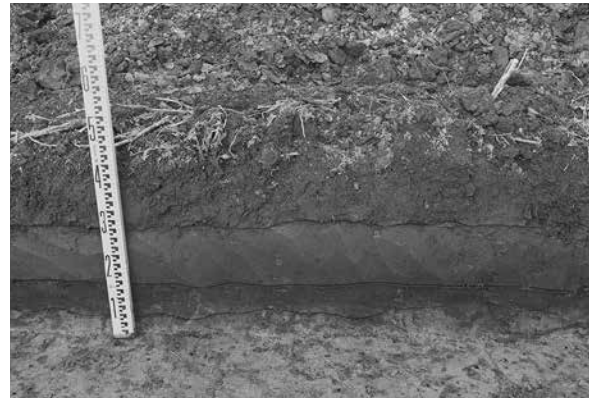
T 7 土層断面 (東から)



T 7 北側遺構検出状況 (南東から)



T 8 全景 (東から)



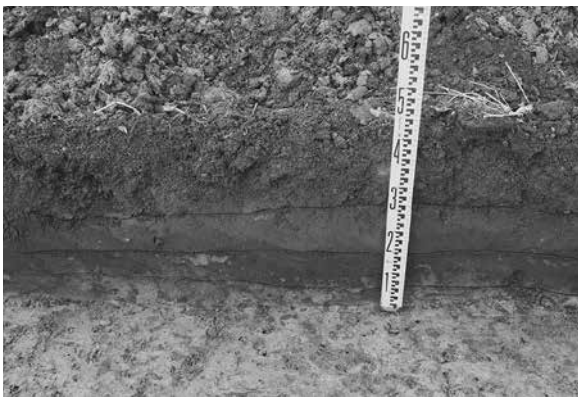
T 8 土層断面 (南から)



T 8 遺構検出状況 (北東から)



T 9 全景 (東から)



T 9 土層断面 (南から)

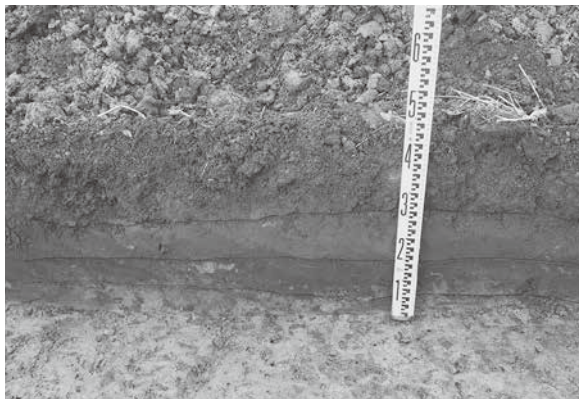


T 9 中央部遺構検出状況 (南西から)

II 調査の概要



T 10 全景 (南東から)



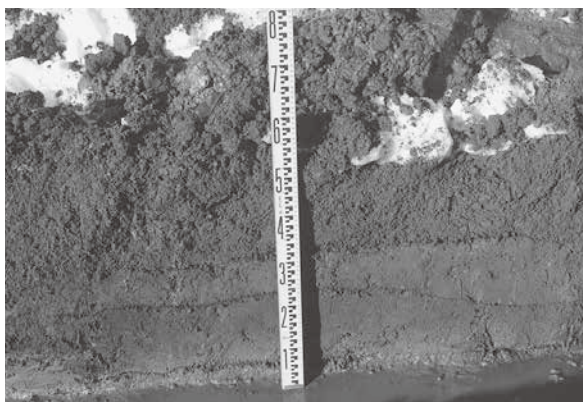
T 10 土層断面 (西から)



T 10 遺構検出状況 (東から)



T 11 全景 (南から)



T 11 土層断面 (東から)



T 13 全景 (東から)



T 1 柱穴出土遺物



T 7 出土遺物

(5) 浅川地区遺跡可能性地 1・2

所在地	山形県米沢市浅川
調査員	竹田純子 岩崎恒平 山科樹生
調査期日	令和4年4月12日・26日、12月15日・19日
起因事業	農地整備事業（機構関連）浅川地区
遺跡立地	標高：約226m 立地：自然堤防、氾濫平野 地目：田、畑
試掘区	事業予定地内にトレンチ15箇所を設定した。
試掘方法	重機及び人力で試掘調査を実施。
試掘面積	133.5㎡
検出遺構	なし
出土遺物	なし
時代	—
所見	事業地は最上川と天王川に挟まれた自然堤防及び氾濫平野上である。事業地のすぐ南側には約200基の古墳が点在し、米沢市指定史跡に指定されている「戸塚山古墳群」が位置する。

令和3年4月に実施した踏査の結果、事業地内で遺物の散布は確認されなかったが、戸塚山周辺の2箇所を遺跡可能性地1・2とし、遺跡の有無を確認するための調査を実施した。

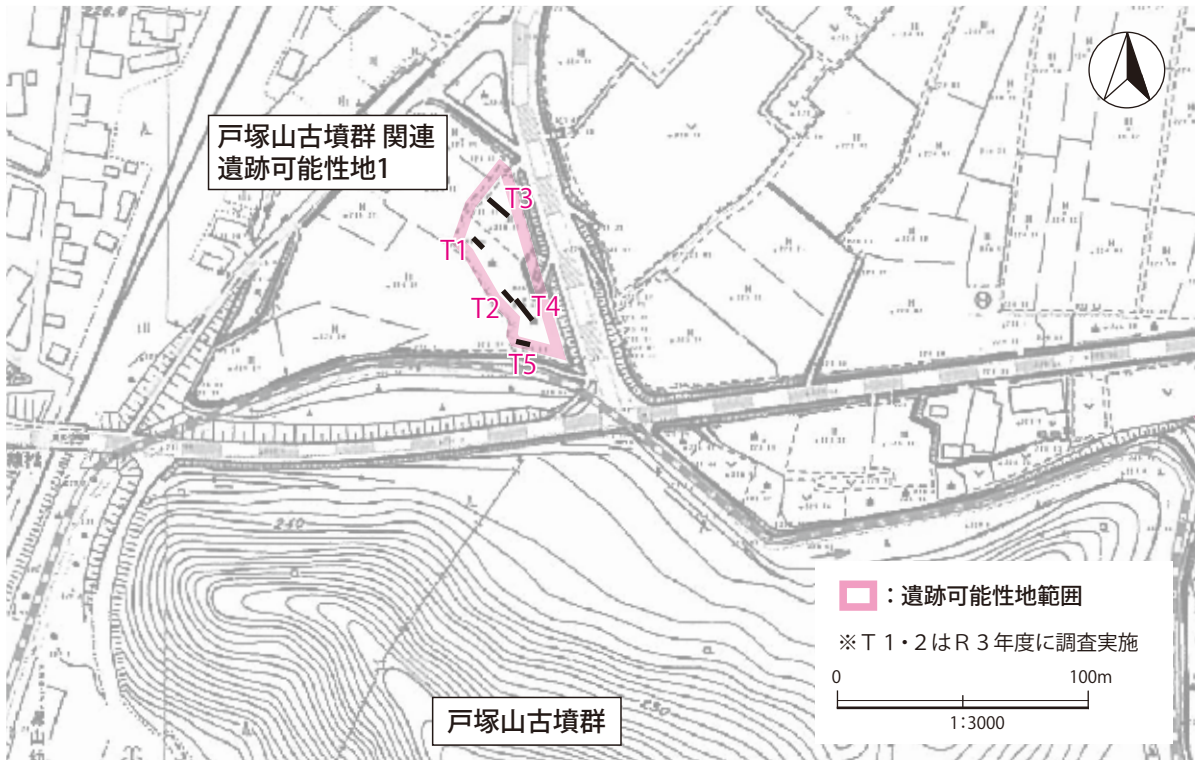
当該地の調査は、令和3年度から実施しており、令和4年度は遺跡可能性地1の一部及び可能性地2の試掘調査を実施した。なお、遺跡可能性地1のトレンチ番号は、令和3年度に続きトレンチ3～5とした。

遺跡可能性地1に3箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。過去の区画整備や道路建設に伴い、試掘対象地全体が削平されている状況が確認された。なお、トレンチ4において令和3年度に調査したトレンチ2に続き、黒色の土色変化を確認したが、水田に伴う過去の水路等であると判断された。

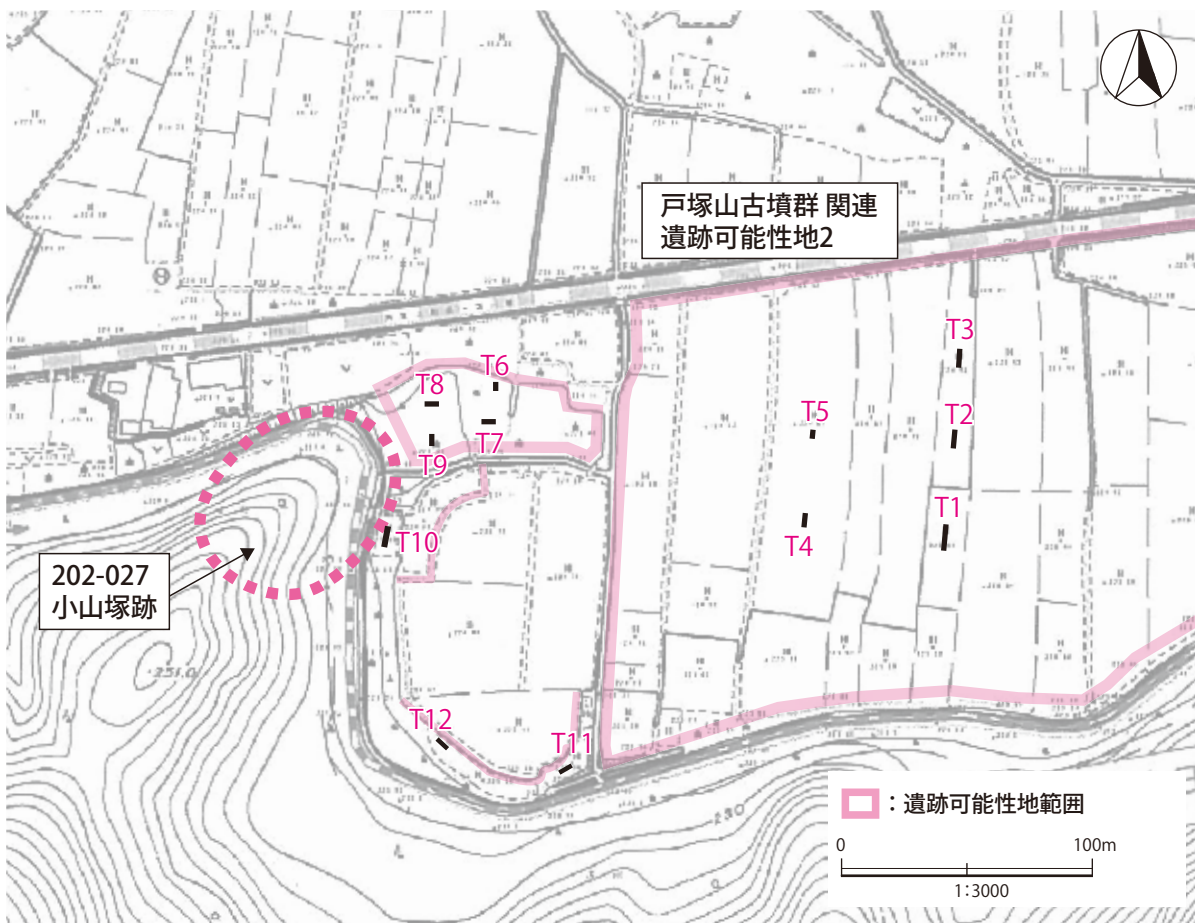
遺跡可能性地2においては、12箇所のトレンチを設定して調査を実施した。トレンチ1～5においては、粘土層が厚く堆積しており、低地の様相が確認された。また、小山塚跡から東に延びる塚状の地形に設定したトレンチ6～9においては、遺構・遺物は確認されず、遺跡範囲は事業地まで及ばないことを確認した。戸塚山と水田の境界付近の緩い傾斜面に設定したトレンチ10～12においては、トレンチ10において時期不明のピット状の土色変化を検出した。半裁して精査したところ、遺物は出土せず時期は不明であった。調査区全体が削平されているため詳細は不明であるが、仮に遺構であった場合でもほとんど残っていないものと判断された。トレンチ11・12においても遺構・遺物は確認されなかった。

以上の結果から、試掘対象地とした範囲に遺跡は所在しないものと判断された。

II 調査の概要



浅川地区遺跡可能性地1 トレンチ配置図



浅川地区遺跡可能性地2 トレンチ配置図

T3 (cm)

1	-20	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2		2. 黄褐色砂質シルト

T4 (cm)

1	-12	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-20	2. 黒褐色シルト、黄褐色土ブロックが混じる
3		3. 黄褐色砂質シルト

T5 (cm)

1	-15	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2. 黒褐色シルト
3	-30	3. 黒褐色シルト、黄褐色土ブロックが混じる
4		4. 黄褐色砂質シルト

浅川地区遺跡可能性地1 土層図

T1 (cm)

1	-26	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-40	2. にぶい黄橙色粘土、砂と鉄分が混じる
3	-60	3. 褐灰色粘土、鉄分混じる
4		4. 褐灰色砂

T2 (cm)

1	-13	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-22	2. 黒褐色粘土、鉄分が混じる
3	-47	3. にぶい黄橙色粘土と褐灰色粘土・黒色シルト・鉄分が混じる
4	-66	4. 青灰色粘土、砂が少量混じる
5		5. 褐灰色砂

T3 (cm)

1	-18	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2. 黒褐色粘土、鉄分が混じる
3	-46	3. にぶい黄橙色粘土と褐灰色粘土・黒色シルト・鉄分が混じる
4	-74	4. 青灰色粘土、砂が少量混じる
5		5. 褐灰色砂

T4 (cm)

1	-15	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2. 黒色粘質シルト
3	-43	3. 泥炭層
4		4. にぶい黄橙色砂、植物含む

T5 (cm)

1	-18	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-36	2. 黒色粘質シルト
3	-72	3. 泥炭層 *大量に水が湧く

T6 (cm)

1	-30	1. 暗褐色シルト、植物根を含む（表土）
2		2. にぶい橙色シルト

T7 (cm)

1	-25	1. 暗褐色シルト、植物根を含む（表土）
2	-45	2. 黒褐色シルト、植物根を含む
3	-60	3. にぶい黄橙色シルト

T8 (cm)

1	-25	1. 暗褐色シルト、植物根を含む（表土）
2	-50	2. にぶい橙色シルト

T9 (cm)

1	-10	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-20	2. 盛土
3	-30	3. 黒褐色シルト
4	-55	4. 黒色シルト
5	-75	5. 褐灰色粘土質シルト、酸化鉄を含む
6	-85	6. 灰白色粘土質シルト、酸化鉄・砂を含む

T10 (cm)

1	-13	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-23	2. 黒色シルト
3	-26	3. 黒色シルト、黄褐色土ブロックが混じる
4	-38	4. 黄褐色シルト

T11 (cm)

1	-10	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-18	2. 暗灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-25	3. 灰オリーブ色砂質シルト

T12 (cm)

1	-10	1. 灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-18	2. 灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-35	3. 暗赤褐色シルト、炭化物を含む、しまり強い
4	-40	4. にぶい黄褐色シルト

浅川地区遺跡可能性地2 土層図

II 調査の概要



遺跡可能性地 1 T 3 全景 (東から)



遺跡可能性地 1 T 3 土層断面 (南西から)



遺跡可能性地 1 T 5 全景 (東から)



遺跡可能性地 1 T 4 土層断面 (南西から)



遺跡可能性地 2 T 1 全景 (南から)



遺跡可能性地 2 T 1 土層断面 (東から)



遺跡可能性地 2 T 4 全景 (北から)



遺跡可能性地 2 T 4 土層断面 (西から)



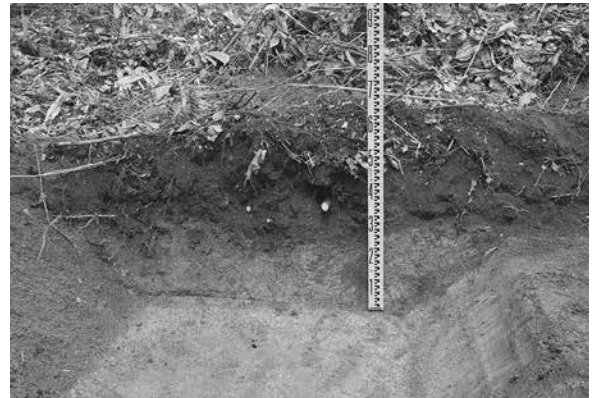
遺跡可能性地2 T6全景(東から)



遺跡可能性地2 T6土層断面(南東から)



遺跡可能性地2 T8全景(東から)



遺跡可能性地2 T8土層断面(北から)



遺跡可能性地2 T10全景(南西から)



遺跡可能性地2 T10土層断面(東から)



遺跡可能性地2 T12全景(北西から)



遺跡可能性地2 T12土層断面(北東から)

(6) 杉沢前田地区遺跡可能性地

所在地 山形県遊佐町杉沢

調査員 竹田純子

調査期日 令和4年11月10日、17日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）杉沢前田地区

遺跡立地 標高：約78m、立地：谷底平野、地目：田

試掘区 事業予定地に11箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 100.5㎡

検出遺構 ピット

出土遺物 縄文土器

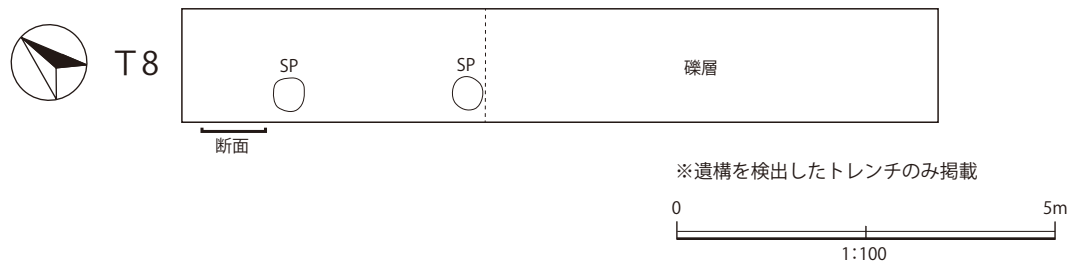
時代 —

所見 事業地は庄内熊野川の左岸。試掘調査の対象とした遺跡可能性地の標高は約75～78mである。

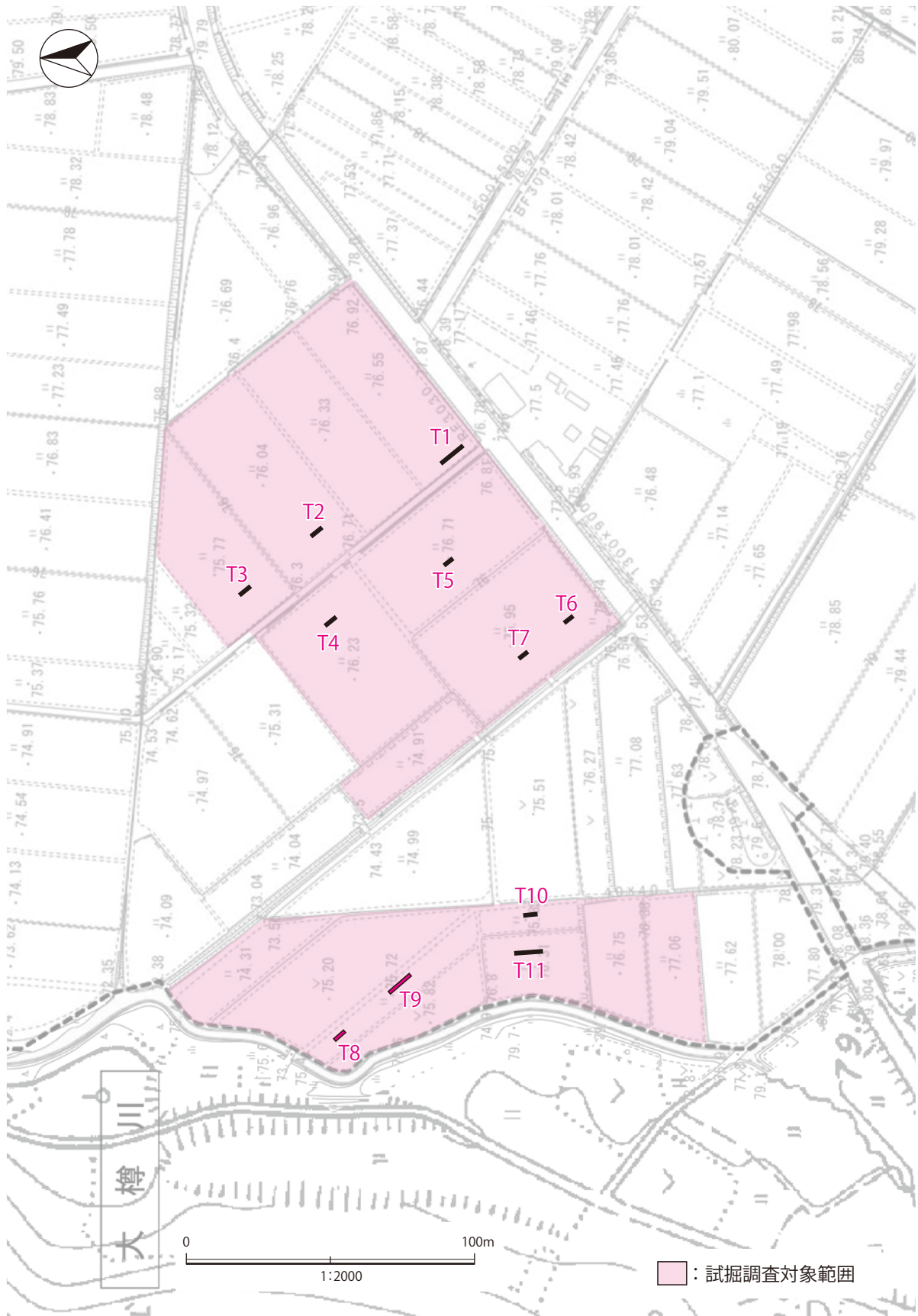
試掘対象地東側の範囲については令和元年度から試掘調査を実施しており、杉沢C遺跡の範囲のうち、遺構・遺物が検出された範囲については、令和2・3年度に（公財）山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施している。

遺跡可能性地内に11箇所のトレンチを設定して調査を実施した結果、大樽川右岸のトレンチ8・9の2箇所で遺物包含層が確認されたが、遺物包含層の上部は削平されていた。当該トレンチは旧地形が大樽川に向かって傾斜する場所で、周辺の傾斜地にも遺物包含層が遺存している可能性がある。また、トレンチ9においてピット2基を検出した。ピットからは縄文土器が出土しており、縄文時代の遺構の可能性はある。

試掘調査の結果を受けて、切土から盛土への設計変更が行われたため、遺物包含層・遺構は保護された。



杉沢前田地区遺跡可能性地 遺構検出平面図



杉沢前田地区遺跡可能性地 トレンチ配置図

II 調査の概要

T1 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-70	2.青灰色粘土
3	-100	3.黄褐色粘土
4	-130	4.灰色粘土

T2 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-40	2.青灰色粘土、酸化鉄を含む

T3 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-40	2.青灰色粘土、黄褐色粘土を含む

T4 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-40	2.青灰色粘土、黄褐色粘土を含む

T5 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-40	2.黒色粘土
3	-55	3.青灰色粘土、黄褐色粘土を含む

T6 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-30	2.灰色粘土
3	-50	3.灰色粘土、酸化鉄を含む
4	-80	4.暗青灰色粘土、砂を含む
5	-115	5.黒褐色シルト、砂を含む
6		6.青灰色粘土、砂を含む

T7 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-40	2.暗褐色シルト、礫を含む
3	-55	3.灰色粘質シルト、砂・礫を含む

T8 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-40	2.暗褐色シルト、礫を含む
3	-90	3.暗灰色シルト、砂・礫・ゴミを含む
4	-120	4.黒色シルト
5		5.黄灰色シルト、砂・礫を含む

T9 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-30	2.暗褐色シルト、礫を含む
3	-40	3.灰色粘質シルト、砂・礫を含む

T10 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-30	2.褐灰色粘質シルト
3	-80	3.黄褐色粘土、礫を含む
4	-100	4.灰色粘土

T11 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2.褐灰色シルト
3	-45	3.暗灰色シルト、礫を含む
4		4.黒色粘質シルト、礫を含む

杉沢前田地区遺跡可能性地 土層図



T1 全景（南東から）



T1 土層断面（南西から）



T 5全景 (北東から)



T 6全景 (北西から)



T 8全景 (南西から)



T 8土層断面 (西から)



T 9全景 (南東から)



T 9土層断面 (西から)



T 9ピット半裁状況 (南東から)



T 9ピット出土遺物

II 調査の概要

(7) ^{やまがたじょうさん}山形城^{まる}三の丸跡

所在地 山形県山形市本町・木の実町

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和4年9月22日、27日

起因事業 都市計画道路事業 旅籠町八日町線

遺跡立地 標高：約142m、立地：扇状地、地目：道路用地

試掘区 事業予定地に9箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 61.75㎡

検出遺構 土坑

出土遺物 土師器片

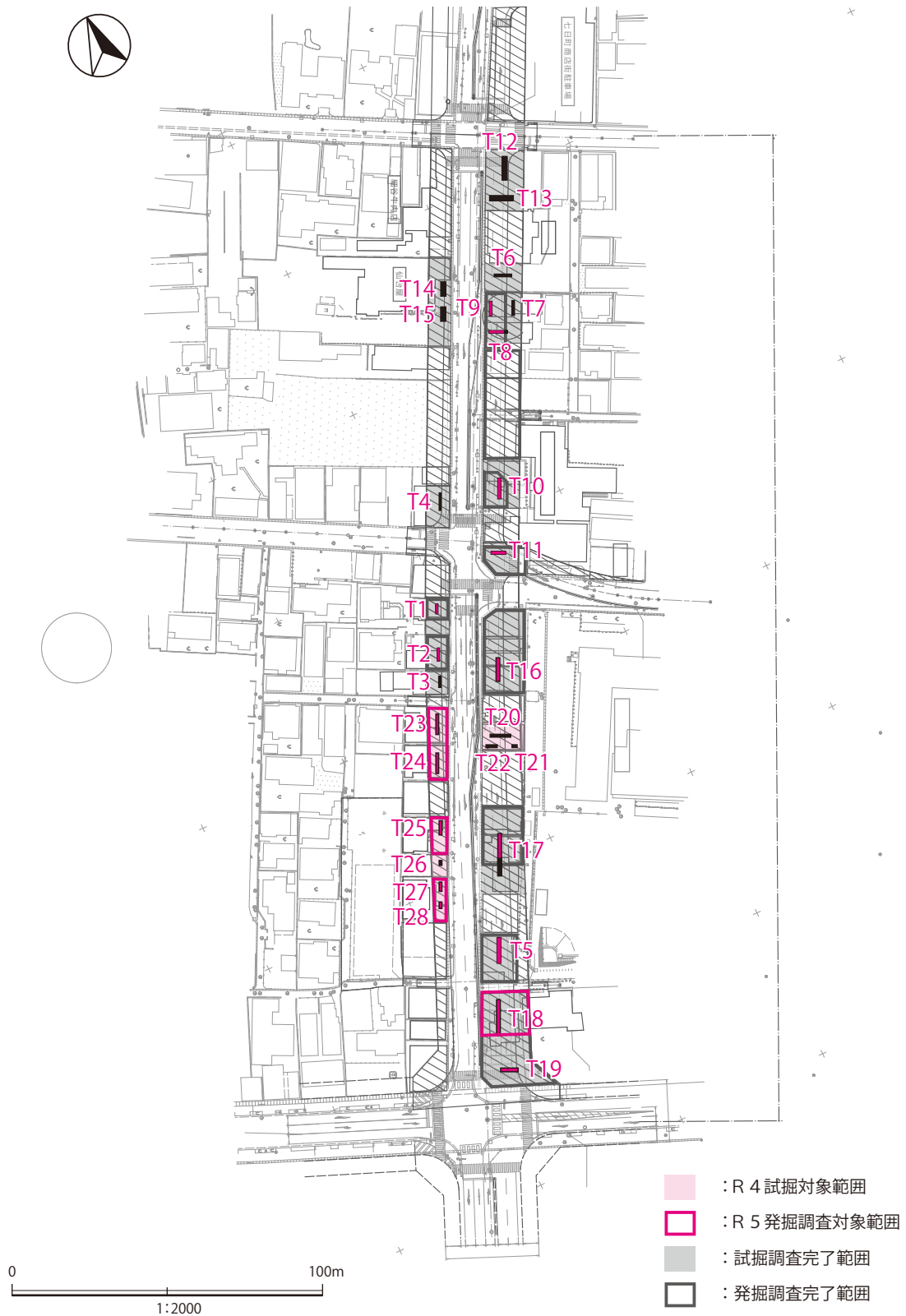
時代 奈良・平安時代、中世、近世

所見 都市計画道路事業旅籠町八日町線（第2期）に起因して、事業予定地において試掘調査を実施した。試掘調査は令和2年度より実施しており、令和3・4年度に、（公財）山形県埋蔵文化財センターが記録保存のための発掘調査を実施した。また、平成26～28年度にも第1期に係る発掘調査を実施し、平成30年度に調査報告書を刊行している。事業予定地に、9箇所のトレンチを設定して遺構・遺物の有無を確認した。トレンチ名は、昨年度の試掘調査に続きトレンチ20～28とした。

トレンチ20は、トレンチの大半が攪乱を受けており、遺構と考えられる土色変化が部分的に確認された。トレンチ21は、以前建っていた建物の基礎工事及び建物解体による攪乱が確認された。トレンチ22は、河川堆積層と考えられる砂礫層が確認された。トレンチ23・24では古代の遺構が確認され、土師器片が出土した。トレンチ25では、古代又は近世の遺構を確認した。トレンチ26は、河川堆積と考えられる砂礫層が確認された。トレンチ27・28では近世と考えられる集積または配石の遺構が確認された。試掘調査の結果、トレンチ20～22、26を設定した土地については、後世の建物建設・解体による攪乱と河川堆積層が確認され、記録保存調査は不要である。

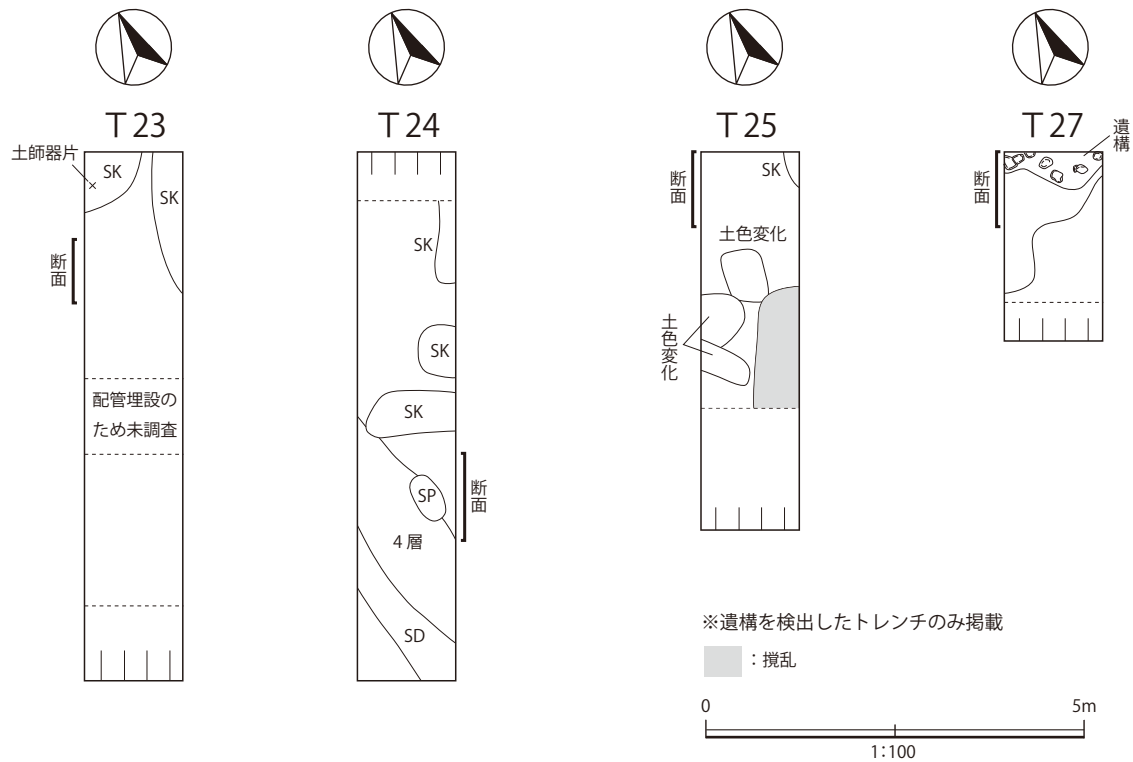
古代・近世の遺構が確認されたトレンチ23～25、27・28を設定した土地については、記録保存調査が必要である。

なお、事業地のうち試掘調査未実施の範囲については、次年度以降、継続して試掘調査を実施予定。



山形城三の丸跡 トレンチ配置図

II 調査の概要



山形城三の丸跡 遺構検出平面図

T 20 (cm)

1	1. 碎石
2	-25 2. 暗褐色シルト、φ3~10cmの礫を含む(盛土)
3	-35 3. 暗褐色シルト、明黄褐色シルトを带状に含む(攪乱)
4	-55 4. にぶい黄褐色シルト、φ~2cmの礫・炭化物を含む
	-75

T 21 (cm)

1	1. 砂利層
2	-60 2. 暗褐色シルト、φ5~30cmの礫を含む(攪乱)
	-170

T 22 (cm)

1	1. 碎石
2	-30 2. 暗褐色シルト、φ5~30cmの礫を含む(攪乱)
3	-70 3. 黒褐色シルト、φ~3cmの礫・炭化物を含む
4	-100 4. 明黄褐色砂礫層

T 23 (cm)

1	1. 碎石
2	-10 2. 褐灰色シルト、φ5~30cmの礫を含む(攪乱)
3	-50 3. 暗褐色シルト、炭化物・φ~3cmの礫・ガラス瓶片を含む
4	-75 4. にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルト・炭化物を含む
	-80

T 24 (cm)

1	1. 碎石
2	-5 2. 暗褐色シルト、礫・ゴミを含む
3	-15 3. 暗褐色シルト、炭化物・φ~5cmの礫を含む
4	-60 4. 黒褐色シルト、炭化物・遺物を含む(遺物包含層か)
5	-75 5. にぶい黄褐色シルト、遺物を含む

T 25 (cm)

1	1. 碎石
2	-40 2. 褐灰色シルト、炭化物を含む
3	-75 3. 黒褐色シルト、炭化物を含む
4	-100 4. にぶい黄褐色シルト、砂・φ~3cmの礫を含む
	-105

T 26 (cm)

1	1. 碎石
2	-20 2. 褐灰色シルト、φ~3cmの礫を含む
3	-30 3. 灰黄褐色シルト、φ~3cmの礫・炭化物を含む
4	-50 4. 黒褐色シルト、φ~3cmの礫を含む
5	-65 5. にぶい黄褐色シルト、砂・φ~3cmの礫を含む
6	-80 6. 明黄褐色砂礫層

山形城三の丸跡 土層図

T27 (cm)

1	-25	1. 碎石
2	-55	2. 灰黄褐色シルト、炭化物を含む
3	-90	3. 暗褐色シルト、炭化物・φ~5cmの礫を含む
4	-100	4. 黒褐色シルト、明黄褐色土を含む
5		5. にぶい黄褐色砂質シルト

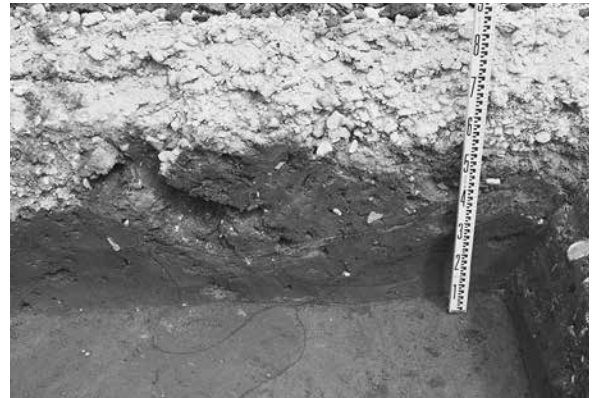
T28 (cm)

1	-20	1. 碎石
2	-60	2. 灰黄褐色シルト、炭化物を含む
3	-80	3. 暗褐色シルト、炭化物・φ~5cmの礫を含む
4	-90	4. 黒褐色シルト、明黄褐色土を含む
5	-100	5. にぶい黄褐色砂質シルト

山形城三の丸跡 土層図



T 20 全景 (東から)



T 20 土層断面 (南から)



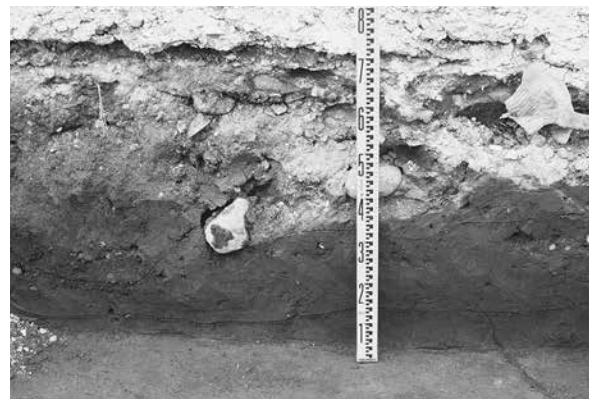
T 22 全景 (西から)



T 22 土層断面 (南から)



T 23 全景 (北から)



T 23 土層断面 (西から)

II 調査の概要



T 23 遺構検出状況 (北から)



T 24 全景 (南から)



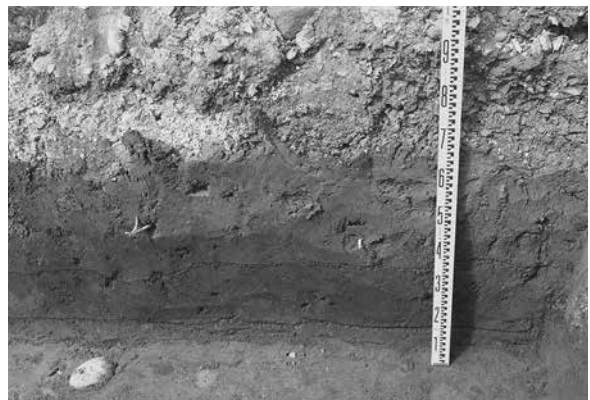
T 24 土層断面 (西から)



T 24 南側遺構検出状況 (北西から)



T 25 全景 (北から)



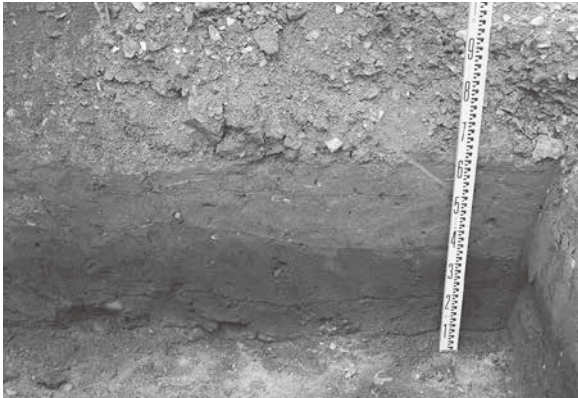
T 25 土層断面 (東から)



T 25 南側遺構検出状況 (東から)



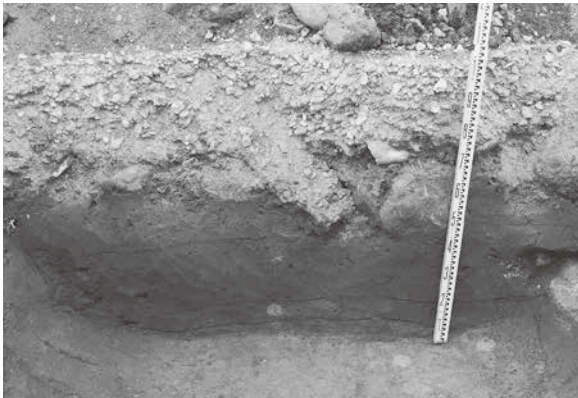
T 26 全景 (北から)



T 26 土層断面 (東から)



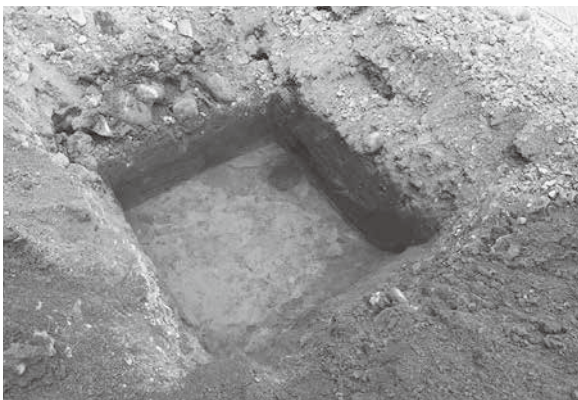
T 27 全景 (南から)



T 27 土層断面 (東から)



T 27 遺構検出状況 (南から)



T 28 全景 (北から)



T 28 土層断面 (東から)



T 24 出土遺物



T 27 出土遺物

II 調査の概要

(8) ^{きたむかえ}北向遺跡

所在地 山形県山形市青柳字一本木

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和4年9月21日、10月28日

起回事業 交通安全道路事業（補助）（一）東山七浦線

遺跡立地 標高：約121m、立地：扇状地、地目：宅地

試掘区 事業予定地内にトレンチ5箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 81.0㎡

検出遺構 土坑、柱穴

出土遺物 土師器

所見 当該地は、山形市北東部の JR 仙山線楯山駅から南西に約 600m の地点に位置する。当事業にあたっては、平成 14 年度に実施した試掘調査で奈良・平安時代の遺構・遺物が確認され、平成 15・17 年度、令和 4 年度に（公財）山形県埋蔵文化財センターが記録保存のための発掘調査を実施している。

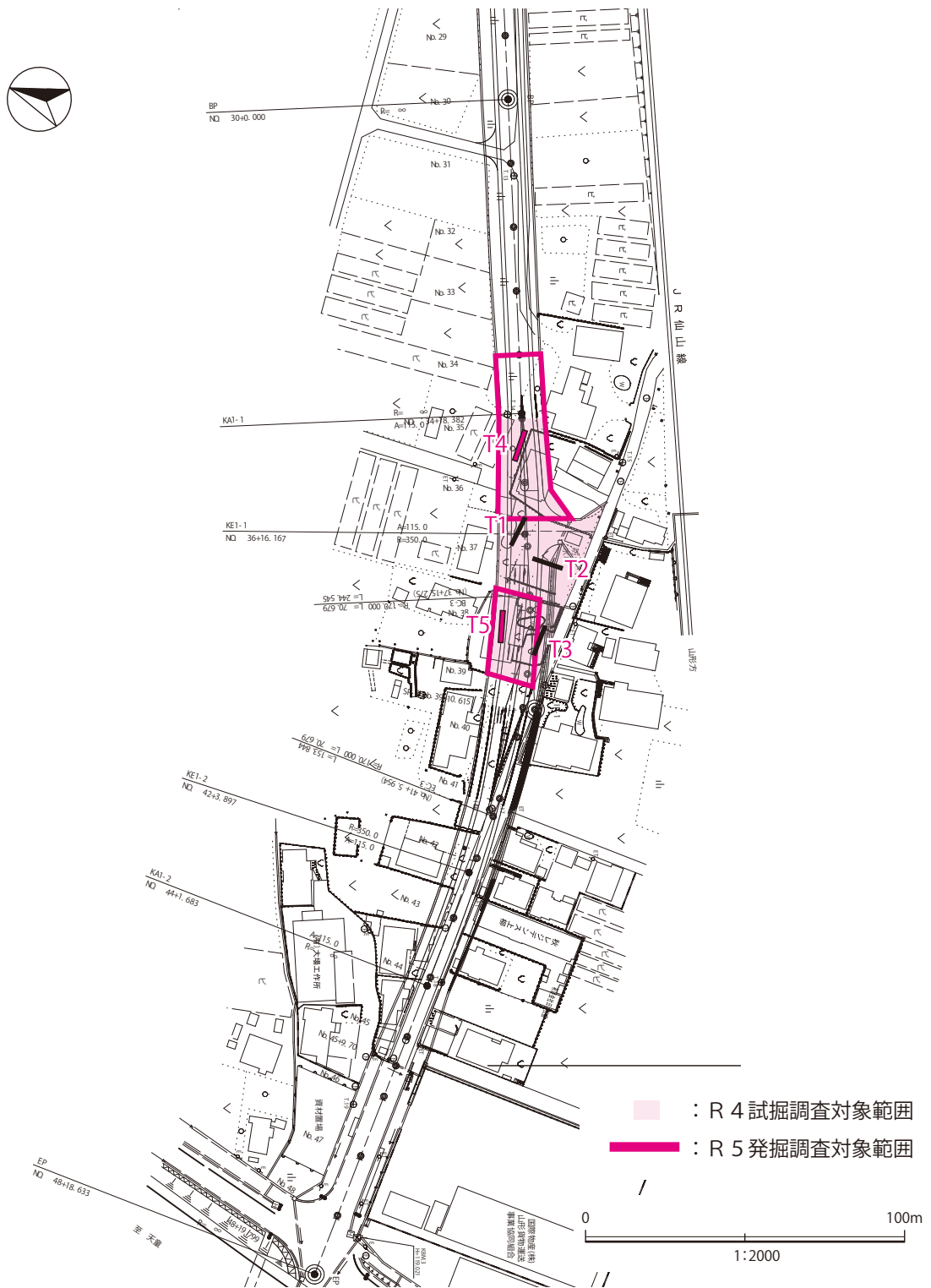
事業地内にトレンチを 5 箇所設定し、遺構・遺物の有無を精査した。調査の結果、トレンチ 1・2・3 では遺構・遺物は確認されず、河川堆積と考えられる砂礫層を確認した。トレンチ 4・5 では土坑・柱穴などの遺構を検出し、土坑からは土師器片が出土した。遺跡登録の範囲外となるトレンチ 5 において遺構・遺物が確認されたことから、遺跡がさらに西側に広がることが確認された。北向遺跡の範囲を西側に拡大して修正する。遺構・遺物が確認されたトレンチ 4・5 付近については、記録保存のための「発掘調査」が必要となる。



T 1 全景 (西から)

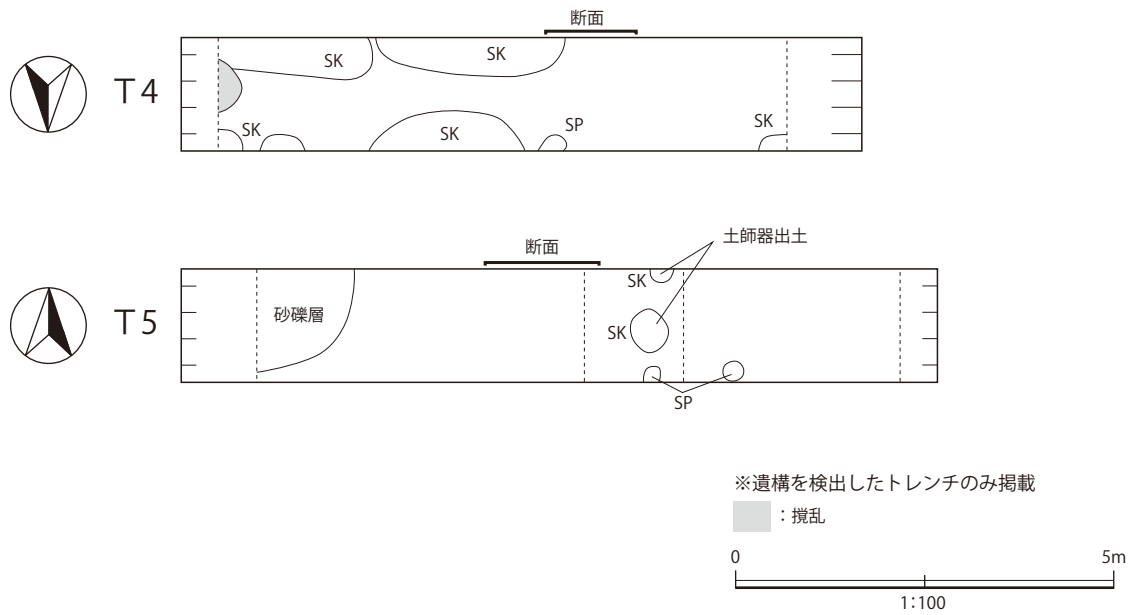


T 1 土層断面 (南から)



北向遺跡 トレンチ配置図

II 調査の概要



北向遺跡 遺構検出平面図

T1 (cm)

1	-5	1. 碎石
2	-15	2. 暗褐色シルト、ゴミを含む(盛土)
3	-50	3. 灰黄褐色シルト、植物根を含む
4	-70	4. 暗褐色シルト、炭化物を含む
5	-95	5. にぶい黄褐色砂質シルト、炭化物を含む
6	-115	6. にぶい黄褐色砂礫層

T2 (cm)

1	-35	1. 褐色砂
2	-45	2. 灰色シルト、炭化物を含む(盛土)
3	-65	3. 灰黄褐色シルト、 $\phi \sim 2\text{cm}$ の礫を含む
4	-85	4. 褐灰色シルト、灰白色シルト・酸化鉄を含む、粘性やや有り
5	-100	5. 灰黄褐色砂
6	-120	6. にぶい黄褐色砂礫層

T3 (cm)

1	-35	1. 碎石
2	-45	2. 暗褐色シルト、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の碎石を多量に含む
3	-65	3. 褐灰色シルト、 $\phi \sim 2\text{cm}$ の礫・ゴミを含む(盛土)
4	-85	4. 褐灰色シルト、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫を含む、しまり強い
5	-100	5. 灰色シルト、灰白色シルトを含む
6	-120	6. 黒褐色砂礫層
7	-120	7. にぶい黄褐色砂質シルト、酸化鉄を含む、一部グライ化

T4 (cm)

1	-15	1. 碎石
2	-30	2. 褐灰褐色シルト、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫・植物根を含む
3	-60	3. 灰黄褐色シルト、炭化物・ $\phi \sim 2\text{cm}$ の礫・植物根を含む
4	-80	4. 黒褐色シルト、にぶい黄褐色砂質シルト・炭化物粒を含む
5	-80	5. にぶい黄褐色砂質シルト、炭化物を含む(遺構検出面)

T5 (cm)

1	-10	1. 碎石
2	-45	2. 暗褐色シルト、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の碎石を多量に含む
3	-70	3. 褐灰褐色シルト、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫を含む
4	-83	4. 黒色粘土、灰白色粘土・酸化鉄を含む
5	-100	5. 灰色粘質シルト、酸化鉄を含む
6	-110	6. 灰色粘質シルト、にぶい黄褐色砂質シルトを含む、上層に炭化物を帯状に含む(遺構検出面)

北向遺跡 土層図



T 2 全景 (南から)



T 2 土層断面 (東から)



T 3 全景 (東から)



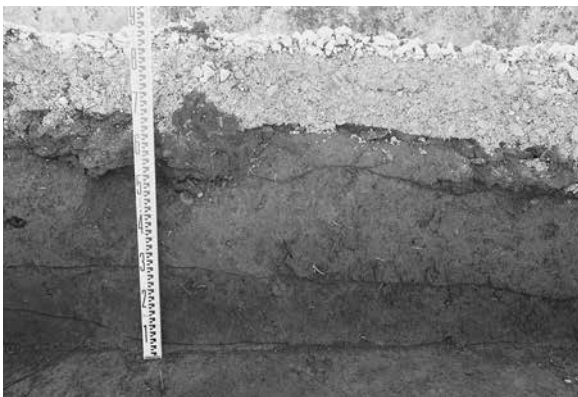
T 3 土層断面 (南から)



T 3 西側全景 (南西から)



T 4 全景 (東から)



T 4 土層断面 (北から)



T 4 東側 (南壁側) 遺構検出状況 (北東から)

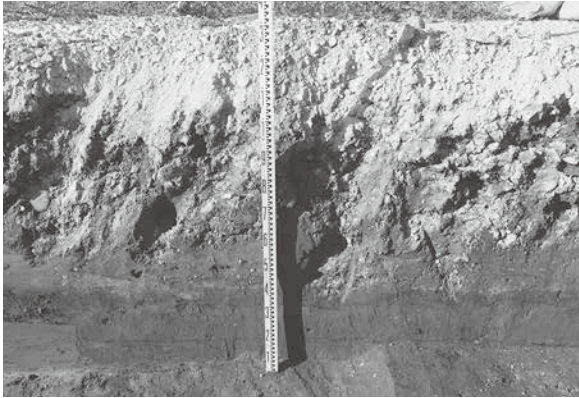
II 調査の概要



T 4 東側 (北壁側) 遺構検出状況 (南西から)



T 5 全景 (東から)



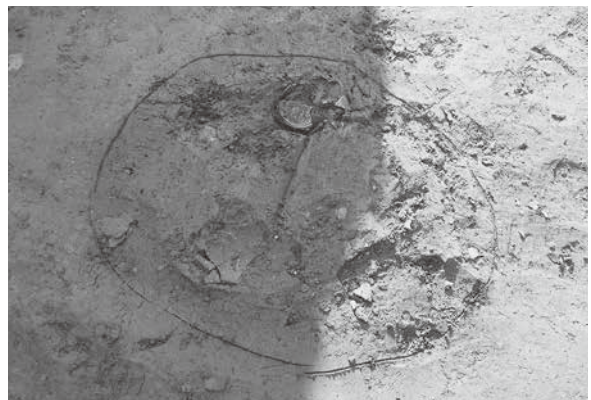
T 5 土層断面 (南から)



T 5 中央部遺構検出状況 (東から)



T 5 土坑 遺物出土状況 (南から)



T 5 土坑 遺物出土状況 (東から)



T 5 土坑出土遺物



T 5 出土遺物

(9) ^{なかあらい}中洗遺跡、^{なかあらい}中洗2遺跡

所在地 山形県川西町大字時田字中洗

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和4年11月8日、16日、25日

起因事業 道路改築事業（補助）（国）287号 道路改良工事 米沢川西バイパス工区

遺跡立地 標高：約221m、立地：扇状地、地目：田

試掘区 事業予定地内にトレンチ16箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 216.8㎡

検出遺構 竪穴建物跡、柱穴

出土遺物 土師器

所 見 当該地は、誕生川左岸の扇状地上に位置する。平成30年度に踏査を実施しており、事業用地内には中洗遺跡が所在する。また、同遺跡北側にも遺跡と同程度の標高を図る場所があり、遺跡が広がる可能性があることから、一帯を遺跡可能性地として試掘調査を実施したものの。

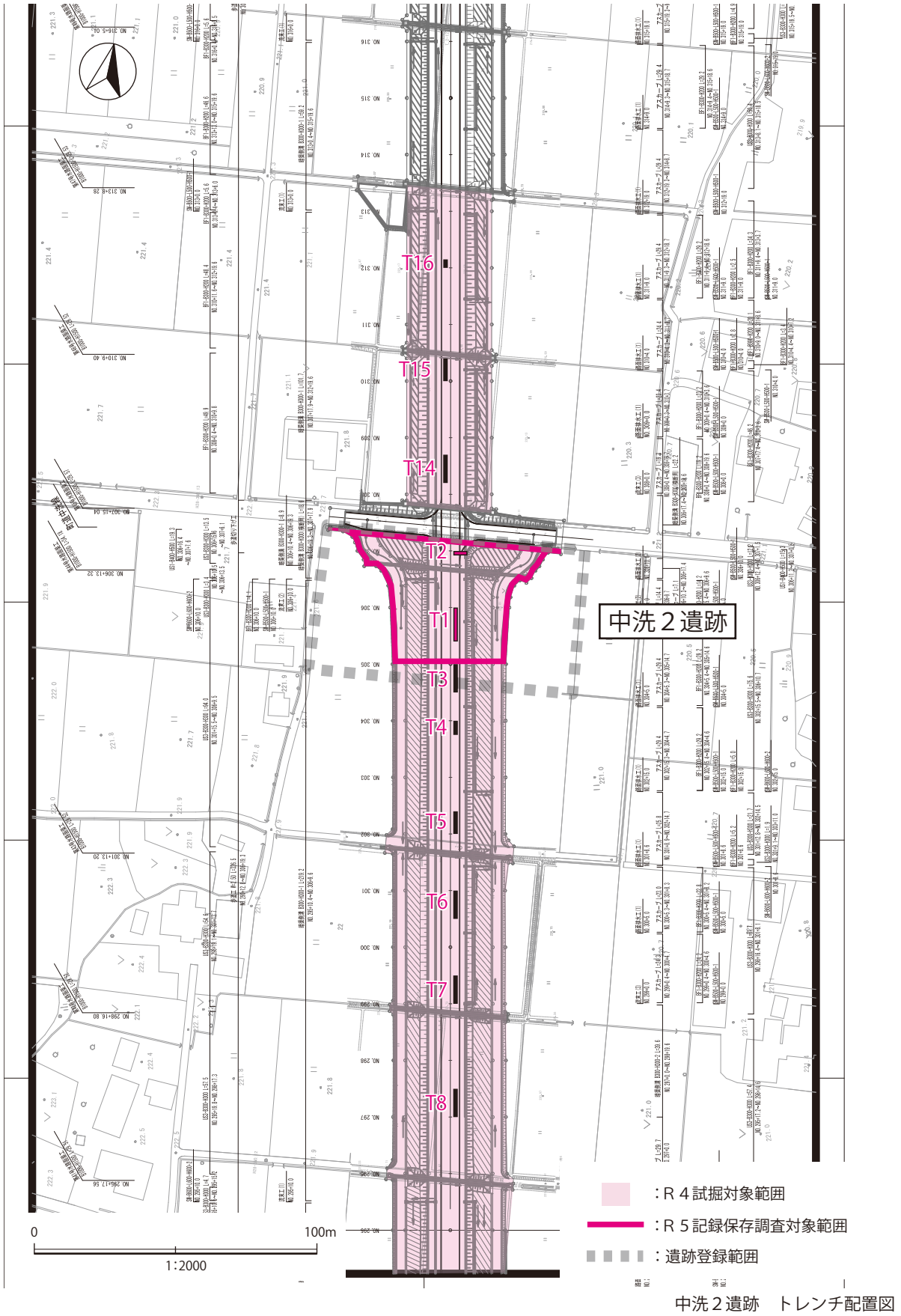
事業地内にトレンチを16箇所設定して調査を実施した結果、トレンチ1において、竪穴建物跡を検出した。同遺構内のカマド周辺からは、複数の土師器甕・壺等が原位置を留めた状態で出土した。遺構は表土直下で検出しており、遺構上部は耕作等で失われている。また、トレンチ1の北側に設定したトレンチ2において、柱穴を検出した。

その他のトレンチからは、流れ込み等により混入した遺物を除き、遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ3からトレンチ13にかけては、過去の区画整備等により削平または盛土されている状況が確認された。

トレンチ1・2で遺構・遺物が確認されたことから、遺跡の広がりを確認するために町道中洗線の北側に追加で設定したトレンチ14～16については、泥炭層が広がっており、遺跡は所在しないものと判断された。

町道中洗線の南側～杭No.305の範囲については、トレンチ1・2から古墳時代、奈良・平安時代と考えられる遺構・遺物が確認され、遺跡が存在することが確認されたことから、同範囲を「中洗2遺跡」として新規登録する。遺跡登録を行った範囲については、令和5年度に発掘調査を実施予定。

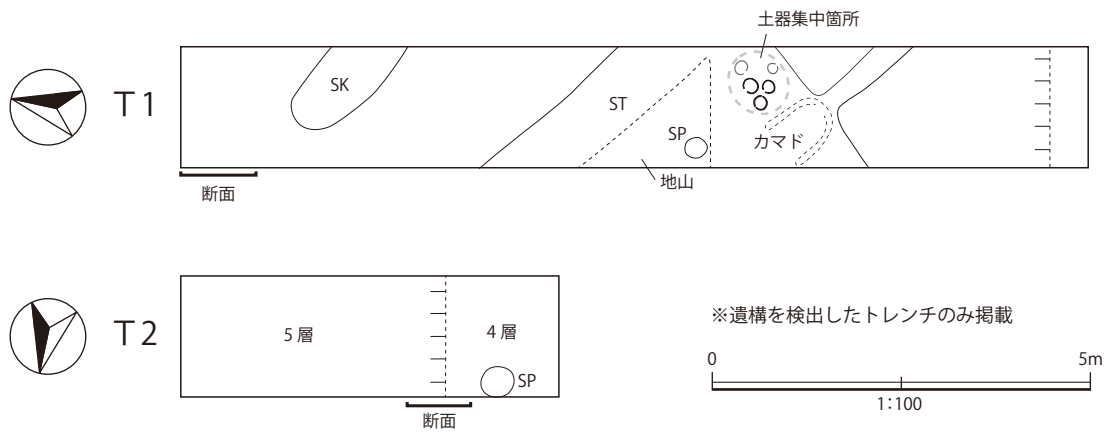
II 調査の概要





中洗遺跡 トレンチ配置図

II 調査の概要



中洗2遺跡 遺構検出平面図



T1 全景 (南から)



T1 土層断面 (東から)



T1 竪穴建物跡検出状況 (南東から)



T1 竪穴建物跡カマド検出状況 (北西から)



T2 全景 (東から)



T2 土層断面 (南から)

T1 (cm)

1	-15	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-25	2. 黒色シルト、マンガン粒含む (遺構検出面)
3	-30	3. にぶい黄橙色粘質シルト、酸化鉄を 多く含む(地山)

T2 (cm)

1	-10	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-15	2. 灰色粘質シルト、酸化鉄を含む
3	-20	3. 灰色粘質シルト、酸化鉄を帯状に含む
4	-35	4. 黒色シルト、マンガン粒含む (遺構検出面)
5	-35	5. にぶい黄橙色粘質シルト、酸化鉄を 多く含む(地山)

T3 (cm)

1	-20	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-20	2. にぶい黄橙色粘質シルト、酸化鉄を 多く含む

T4 (cm)

1	-15	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-15	2. 明黄褐色粘質シルト、酸化鉄を多く含む

T5 (cm)

1	-20	1. 褐灰色粘土、暗褐色シルトブロック・ 酸化鉄を含む(盛土)
2	-30	2. にぶい黄橙色砂
3	-30	3. 青灰色砂質シルト、酸化鉄を多く含む

T6 (cm)

1	-15	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-25	2. 灰色シルト、酸化鉄を多く含む
3	-30	3. 黒色シルト、にぶい黄橙色シルト ブロックを含む(盛土)
4	-30	4. にぶい黄橙色粘質シルト、酸化鉄を 多く含む、一部グライ化する

T7 (cm)

1	-15	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-30	2. 灰色シルト、酸化鉄を多く含む
3	-30	3. にぶい黄橙色粘質シルト、酸化鉄を 多く含む、一部グライ化する

T8 (cm)

1	-20	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-25	2. 暗灰色粘土、青灰色粘土を含む
3	-25	3. 青灰色粘土

T9 (cm)

1	-10	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-15	2. 褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-20	3. 灰色粘質シルト、砂を含む(客土)
4	-20	4. 青灰色粘質シルト

T10 (cm)

1	-20	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-25	2. にぶい黄橙色砂質シルト、部分的に グライ化する

T11 (cm)

1	-15	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-35	2. 褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-75	3. 灰色粘土、有機物・青灰色粘土が 混じる(客土)
4	-100	4. 青灰色粘土

T12 (cm)

1	-20	1. 褐灰色シルト
2	-40	2. 褐灰色シルト、灰白色粘土ブロック を含む
3	-50	3. 黒褐色シルト
4	-50	4. 灰白色シルト、酸化鉄を含む (北側はグライ化する)

T13 (cm)

1	-20	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-25	2. 褐灰色シルト、下層に酸化鉄を帯状 に含む
3	-30	3. 灰色シルト、酸化鉄を含む
4	-40	4. 黒色シルト、酸化鉄を含む
5	-50	5. 灰色シルト、酸化鉄を含む
6	-50	6. にぶい黄橙色シルト、酸化鉄を含む

T14 (cm)

1	-10	1. 砂
2	-20	2. 暗灰色粘土、酸化鉄を含む
3	-35	3. 暗灰色粘土、青灰色粘質シルトを含む
4	-35	4. 青灰色粘質シルト

T15 (cm)

1	-20	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-30	2. 褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-45	3. 黒色シルト
4	-75	4. 褐灰色粘質シルト、酸化鉄を含む
5	-85	5. 青灰色粘土、酸化鉄を多く含む

T16 (cm)

1	-15	1. 褐灰色シルト(耕作土)
2	-25	2. 青灰色粘土、酸化鉄を多く含む
3	-30	3. 黒色泥炭層、未分解の有機物含む
4	-30	4. 青灰色粘土、未分解の有機物含む

II 調査の概要



T 2 柱穴検出状況 (東から)



T 3 全景 (北西から)



T 3 土層断面 (東から)



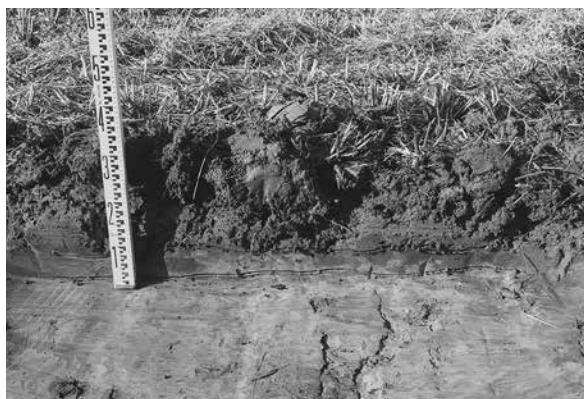
T 6 全景 (北から)



T 6 土層断面 (西から)



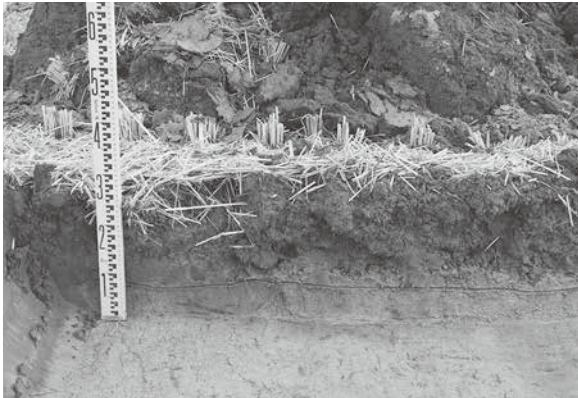
T 8 全景 (南西から)



T 8 土層断面 (東から)



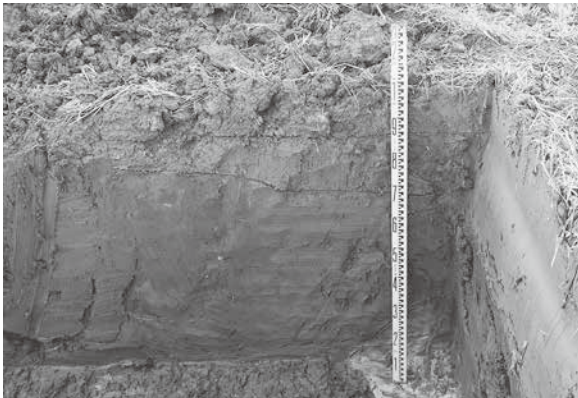
T 10 全景 (北から)



T 10 土層断面 (西から)



T 11 全景 (南から)



T 11 土層断面 (西から)



T 12 全景 (南から)



T 12 土層断面 (西から)



T 14 全景 (南西から)



T 16 全景 (南から)



T 1 竪穴建物跡出土遺物

II 調査の概要

(10) 荷渡遺跡隣接地^{にわたし}

所在地 山形県舟形町堀内

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和4年8月10日

起因事業 (主) 新庄次年子村山線老朽橋架替工事

遺跡立地 標高：約56m、立地：河岸段丘、地目：宅地

試掘区 事業予定地内にトレンチ2箇所を設定した。

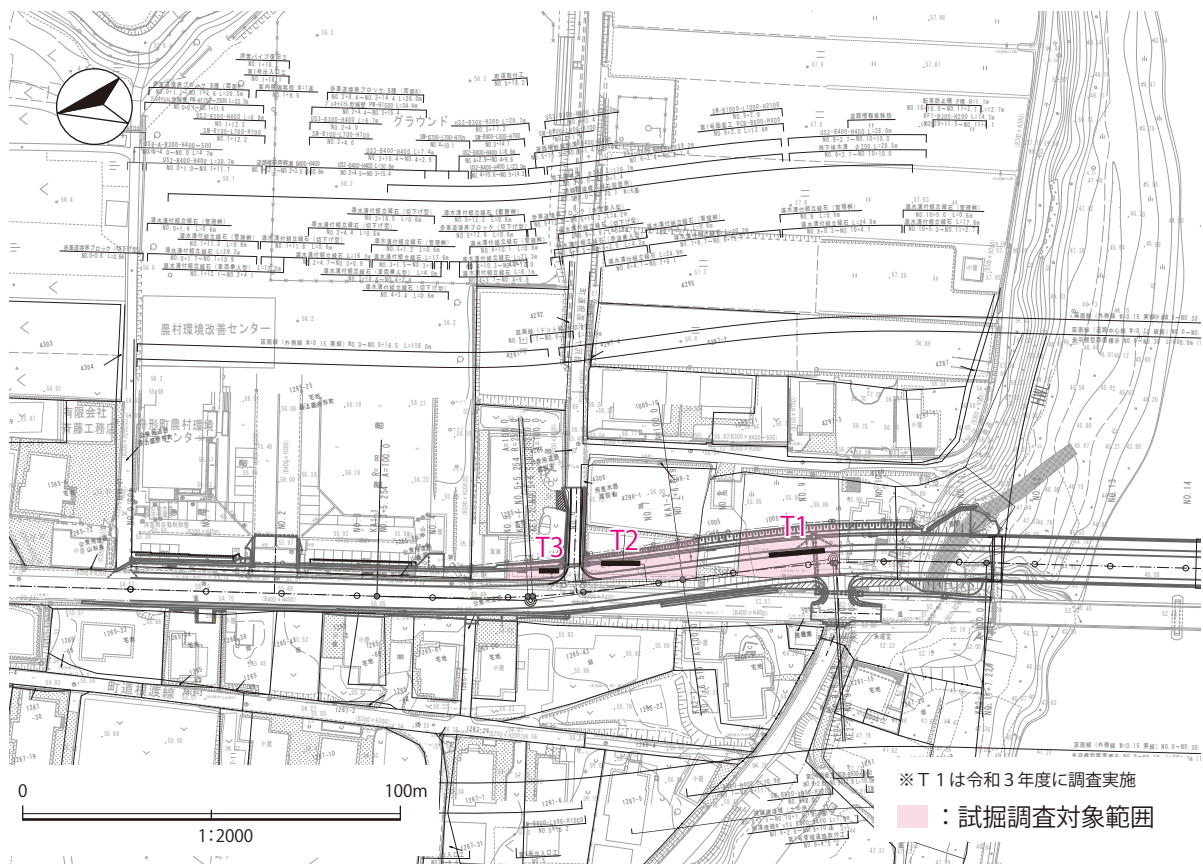
試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 15.0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

所見 当該地は、最上川右岸の河岸段丘上、小国側との合流点から南西約700mの地点に位置する。事業用地の周辺には荷渡遺跡、轟遺跡、ホーヤ沢遺跡など多くの遺跡が近接しており、当該地にも遺跡が所在する可能性があることから、試掘調査を実施したもの。令和3年度に続き、事業地内にトレンチを2箇所設定して調査を行ったところ、遺構・遺物は確認されなかった。試掘対象範囲のうち、舟形町農村環境改善センター敷地内の事業予定箇所については、今後別途、試掘調査が必要となる。



荷渡遺跡隣接地 トレンチ配置図

T2 (cm)	
1	-15
2	-50
3	

1.黒褐色シルト（耕作土）
2.黒色シルト
3.明黄褐色微砂質土、黒色シルト・軽石を含む（地山）

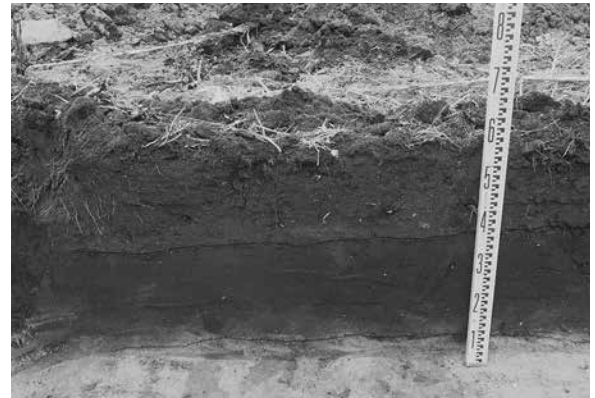
T3 (cm)	
1	-20
2	-50
3	

1.黒褐色シルト（耕作土）
2.黒色シルト
3.明黄褐色微砂質土、黒色シルト・軽石を含む（地山）

荷渡遺跡隣接地 土層図



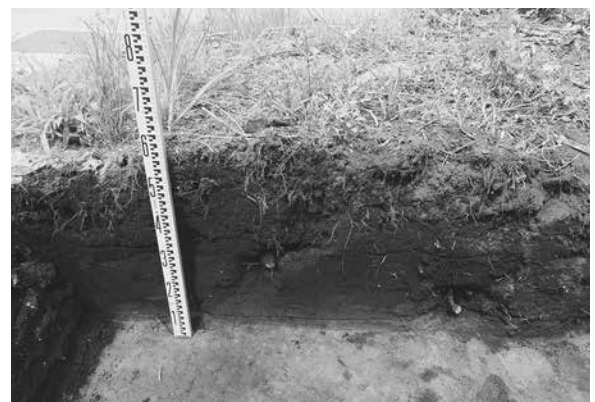
T 2全景（北から）



T 2土層断面（東から）



T 3全景（南から）



T 3土層断面（東から）

(11) 最上川上流大規模災害関連事業（仮置ヤード・水防拠点整備）遺跡可能性地

所在地 山形県村山市河島

調査員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和4年12月9日

起因事業 最上川上流大規模災害関連事業（仮置ヤード・水防拠点整備）

遺跡立地 標高：約84～86m、立地：河岸段丘、地目：田（休耕田・駐車場）

試掘区 事業予定地に4箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 19.5㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 —

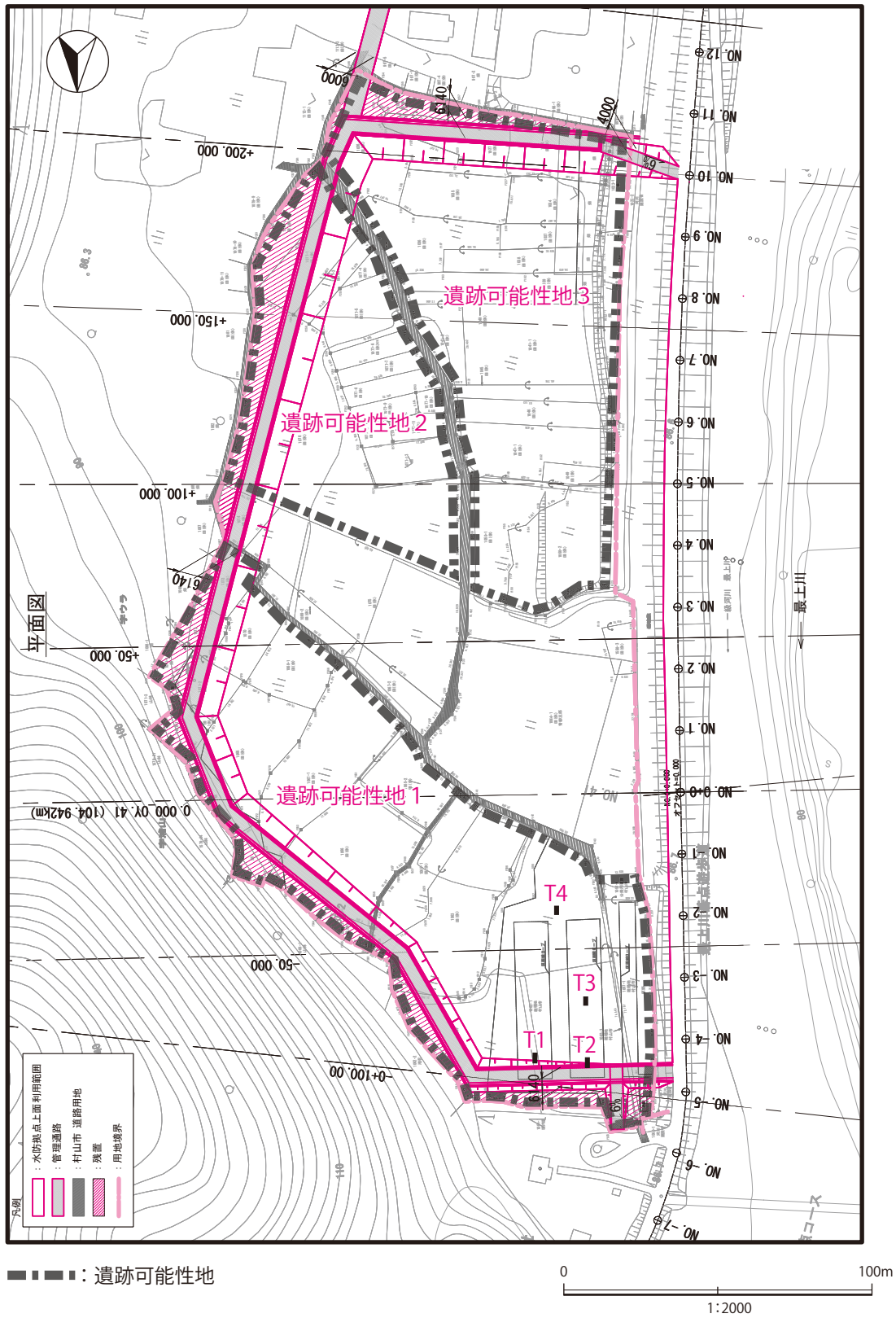
所見 事業地は最上川右岸の河岸段丘に位置する。基点橋の北東にあたり、事業地の対岸には最上川舟下り乗船場がある。地目は田であり、一部は隣接するグラウンドゴルフ場の駐車場、休耕田となっている。事業地の北から東には、県指定史跡「河島山遺跡」が所在する丘陵「河島山」が位置する。また、北に八大龍王神社が位置する。

令和4年9月に実施した踏査の結果、遺物の散布は確認されなかったが、事業地が遺跡が多く立地する最上川の河岸段丘上であることや、事業地周辺に史跡が所在することから、事業地には遺跡が所在する可能性があるため、事業地の一部を「遺跡可能性地1～3」として試掘調査を実施したもの。

遺跡可能性地1の範囲内に4箇所のトレンチを設定して調査を実施した結果、盛土の下には粘土層が確認され、遺構・遺物は確認されなかった。

当事業に係り、現地の水抜きのために事業地を横断するように溝が切られたため、溝の土層断面を確認した。また、草刈り後の現地確認は初めてとなったことから、遺跡可能性地の状況を再度確認したところ、河島山の山際については、すでに削平されていることを確認した。また溝に遺構の断面は確認されなかった。

試掘調査及び現地再確認の結果、当地に遺跡が所在する可能性は極めて低いことから、今後の試掘調査は不要と判断した。



最上川上流大規模関連災害事業（仮置ヤード・水防拠点整備） トレンチ配置図

II 調査の概要

T1 (cm)

1	-60	1. 碎石
2	-90	2. 褐灰色粘土
3	-100	3. 青灰色粘土

T3 (cm)

1	-65	1. 碎石
2	-120	2. 青灰色粘土、酸化鉄を含む

T2 (cm)

1	-60	1. 碎石
2	-80	2. 褐灰色粘土、酸化鉄を多く含む
3	-100	3. 青灰色粘土、酸化鉄を多く含む

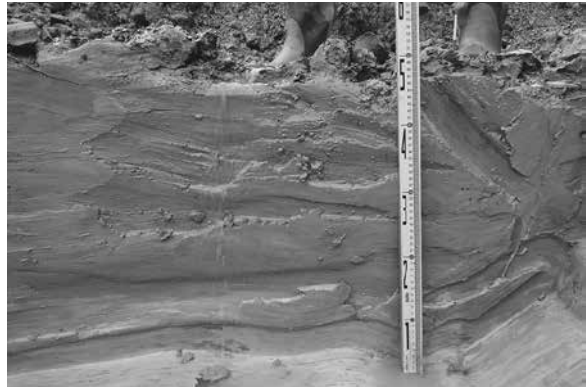
T4 (cm)

1	-70	1. 碎石
2	-120	2. にぶい黄橙色粘土、酸化鉄を含む

最上川上流大規模関連災害事業（仮置ヤード・水防拠点整備） 土層図



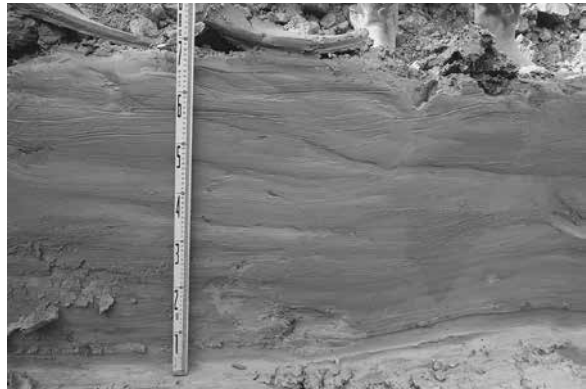
T 1 全景 (北東から)



T 1 土層断面 (東から)



T 3 全景 (北から)



T 3 土層断面 (東から)



T 4 全景 (北から)



T 4 土層断面 (東から)

(12) 一般国道 13 号金山道路遺跡可能性地 2

所在地 山形県金山町朴山

調査員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和 4 年 6 月 3 日、11 月 4 日

起因事業 一般国道 13 号金山道路

遺跡立地 標高：約 194 ～ 197 m、立地：台地・段丘、地目：畑、山林

試掘区 事業予定地に 7 箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 96.0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 —

所見 遺跡可能性地は、令和元年 10 月に実施した踏査において確認されたものである。遺物の散布は確認されなかったものの、基地局がある周辺の沢状の地形より一段高い台地上に遺跡が存在する可能性があることから、当該範囲を「遺跡可能性地 2」とし、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施することになっていたもの。

遺跡可能性地 2 に 7 箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、各トレンチとも遺構・遺物は確認されなかった。当地に遺跡は存在しないものと判断された。

T1 (cm)

1	1. 表土
2	-25 2. 灰色粘土、青灰色粘土ブロックを含む
3	-70 3. 黄色粘土
4	-90 4. 暗灰色粘土、植物根を含む
5	-140 5. 青灰色粘土

T2 (cm)

1	1. 表土
2	-20 2. 浅黄色礫混じり土
	-50

T3 (cm)

1	1. 表土
2	-10 2. 暗褐色シルト
3	-35 3. 明黄褐色粘質シルト

T4 (cm)

1	1. 表土
2	-10 2. 灰黄褐色シルト
3	-20 3. 黒褐色シルト、にぶい橙色シルトを含む
4	-45 4. 明黄褐色粘質シルト

T5 (cm)

1	1. 表土
2	-15 2. にぶい黄色シルト
3	-18 3. 黒褐色粘質シルト、黄褐色土粒を含む
4	-30 4. 灰黄褐色粘質シルト
5	-50 5. 黒褐色粘質シルト
6	-75 6. にぶい黄橙色粘質シルト

T6 (cm)

1	1. 表土
2	-15 2. 黒褐色シルト、明黄褐色シルトを含む
3	-45 3. 明黄褐色粘質シルト

T7 (cm)

1	1. 表土
2	-15 2. 黒褐色シルト、明黄褐色シルトを含む
3	-30 3. 明黄褐色粘質シルト
	-45

一般国道 13 号金山道路遺跡可能性地 2 土層図



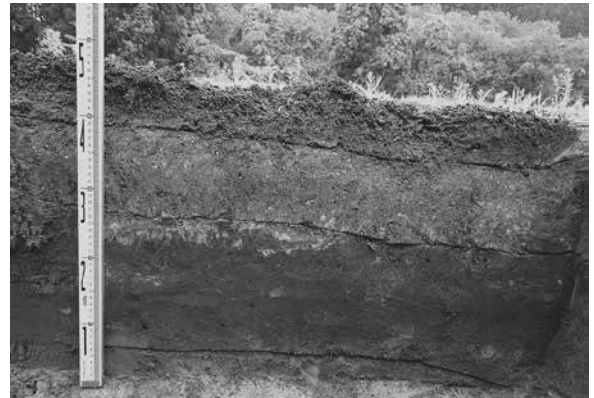
T 3 全景 (西から)



T 3 土層断面 (北から)



T 4 全景 (西から)



T 4 土層断面 (北から)



T 5 全景 (南から)



T 5 土層断面 (西から)



T 6 全景 (西から)



T 6 土層断面 (南から)

(13) 一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 1・2

所在地 山形県小国町大宮

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和 4 年 10 月 11 日、21 日、11 月 14 日

起因事業 一般国道 113 号小国道路

遺跡立地 標高：約 137 m、立地：谷底平野・氾濫原、自然堤防、地目：田・畑

試掘区 事業予定地に 10 箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 89.2㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 —

所見 事業地は横川右岸の谷底平野・氾濫原及び自然堤防上に位置する。令和 3 年度に実施した踏査において、近接する大宮遺跡（縄文・平安時代）の周辺 3 箇所において遺物の散布が確認され、大宮遺跡の範囲が広がる可能性も考えられることから、周辺一帯を「遺跡可能性地 1」とした。また、遺物の散布は確認されなかったが、台地が南側に張り出す範囲を確認した。遺跡の可能性があることから、当該地を「遺跡可能性地 2」とし、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施したものの。

遺跡可能性地 1 において、事業地内にトレンチを 7 箇所設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。調査範囲全体にわたって、表土以下には一部泥炭を含む粘土層が厚く堆積している状況が確認された。

また、遺跡可能性地 2 の範囲において、トレンチを 3 箇所設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。試掘対象地東側では、過去の区画整備等の際に事業地が削平されている状況が確認された。

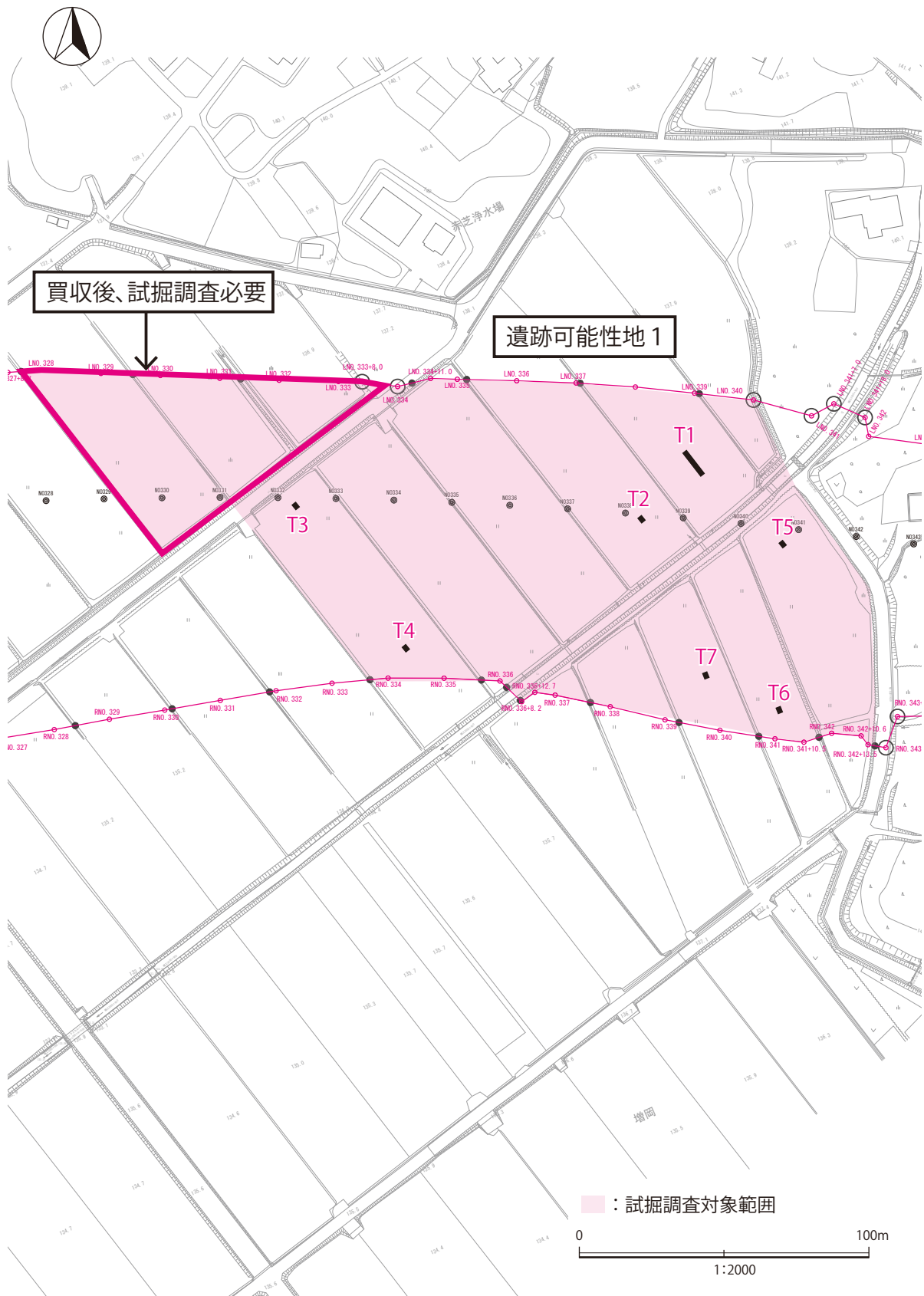
以上の状況から、今回調査を実施した範囲に遺跡は所在しないものと判断された。

なお、遺跡可能性地 1 の未買収地については、今後別途、試掘調査が必要となる。

T1 (cm)	
1	1. 表土
2	-25 2. 褐灰色粘質シルト
3	-40 3. 灰色粘土、炭化物を含む
4	-60 4. 灰白色粘土、炭化物を含む
5	-120 5. 暗灰色粘土、未分解の有機物を含む
6	-150 6. 砂礫層

T2 (cm)	
1	1. 表土
2	-20 2. 褐灰色粘質シルト
3	-40 3. 黒色粘土
4	-60 4. 灰白色粘土
5	-190 5. 暗灰色粘土、未分解の有機物を含む
6	-250 6. 灰白色粘土

一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 1 土層図



一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 1 トレンチ配置図

II 調査の概要



一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 2 トレンチ配置図

T3 (cm)

1	1.表土
2	-20 2.灰白色粘土
3	-60 3.黄色粘土
4	-100 4.暗灰色粘土
5	-150 5.灰白色粘土、未分解の有機物を含む
-----160	

T6 (cm)

1	1.表土
2	-20 2.褐灰色粘質シルト
3	-40 3.灰白色粘土、黄色粘土を含む
4	-70 4.暗灰色砂、φ~3cmの礫を含む
5	-170 5.明青灰色粘土
-----200	

T4 (cm)

1	1.表土
2	-20 2.黒色粘土
3	-60 3.褐灰色シルト、砂・礫を多量に含む(客土)
4	-110 4.黒褐色シルト、砂・礫を多量に含む(客土)
5	-160 5.青灰色粘土
-----190	

T7 (cm)

1	1.表土
2	-30 2.青灰色粘土
3	-120 3.灰白色粘土、黄色粘土・砂を含む
4	-180 4.青灰色粘土
-----200	

T5 (cm)

1	1.表土
2	-20 2.褐灰色粘質シルト
3	-40 3.黄色粘土
4	-70 4.暗灰色粘土、未分解の有機物を含む
5	-90 5.青灰色粘土
6	-140 6.青灰色シルト、砂を多く含む
7	-175 7.褐灰色粘土、未分解の有機物を含む
-----200	

一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 1 土層図

T1 (cm)

1	1.表土
2	-10 2.黒褐色シルト、植物根を含む
3	-20 3.明黄褐色粘質シルト
-----35	

T3 (cm)

1	1.表土
2	-10 2.暗褐色シルト、φ10cmの礫・植物根を多く含む
3	-35 3.にぶい黄褐色シルト、φ10cmの礫・植物根を多く含む
-----45	

T2 (cm)

1	1.表土
2	-10 2.暗褐色シルト、植物根を含む
3	-30 3.黒褐色シルト、植物根を含む
4	-50 4.明黄褐色粘質シルト

一般国道 113 号小国道路遺跡可能性地 2 土層図



遺跡可能性地 1 T1全景(南東から)



遺跡可能性地 1 T1土層断面(南西から)

II 調査の概要



遺跡可能性地 1 T 4 全景 (西から)



遺跡可能性地 1 T 4 土層断面 (南東から)



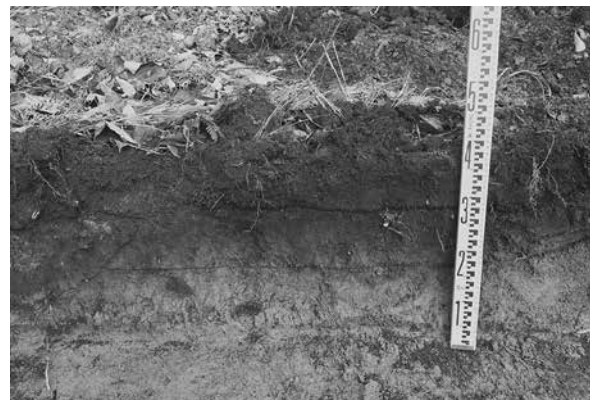
遺跡可能性地 1 T 7 全景 (南西から)



遺跡可能性地 1 T 7 土層断面 (東から)



遺跡可能性地 2 T 1 全景 (西から)



遺跡可能性地 2 T 1 土層断面 (南から)



遺跡可能性地 2 T 3 全景 (東から)



遺跡可能性地 2 T 3 土層断面 (南から)

(14) ^{だいこくざか}大黒坂遺跡

所在地 山形県遊佐町吹浦字大黒坂中道

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和4年11月29日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：約45～48m、立地：丘陵、地目：山林

試掘区 事業予定地内にトレンチ5箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 38.4㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

所見 当該地は国道7号線の西側、烏海山山麓の南西端に位置する。試掘対象範囲は杉林となっていたため、伐採後に調査を実施した。

事業地に5箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、すべてのトレンチにおいて、遺構・遺物は確認されなかった。今回の試掘調査範囲については、地形が大きく改変されている様子は確認されなかったが、表土以下からは烏海山の噴石の影響と考えられる大型礫が多数確認された。

T1 (cm)

1	-20	1.暗褐色シルト、植物根を多量に含む(表土)
2	-55	2.暗褐色シルト、植物根を含む
3	-100	3.黒色シルト
4		4.明黄褐色シルト

T2 (cm)

1	-30	1.暗褐色シルト、植物根を多量に含む(表土)
2	-50	2.暗褐色シルト、植物根を含む
3	-130	3.黒色シルト
		4.明黄褐色シルト

T3 (cm)

1	-30	1.暗褐色シルト、植物根を多量に含む(表土)
2		2.明黄褐色シルト、φ～70cmの礫・植物根を含む

T4 (cm)

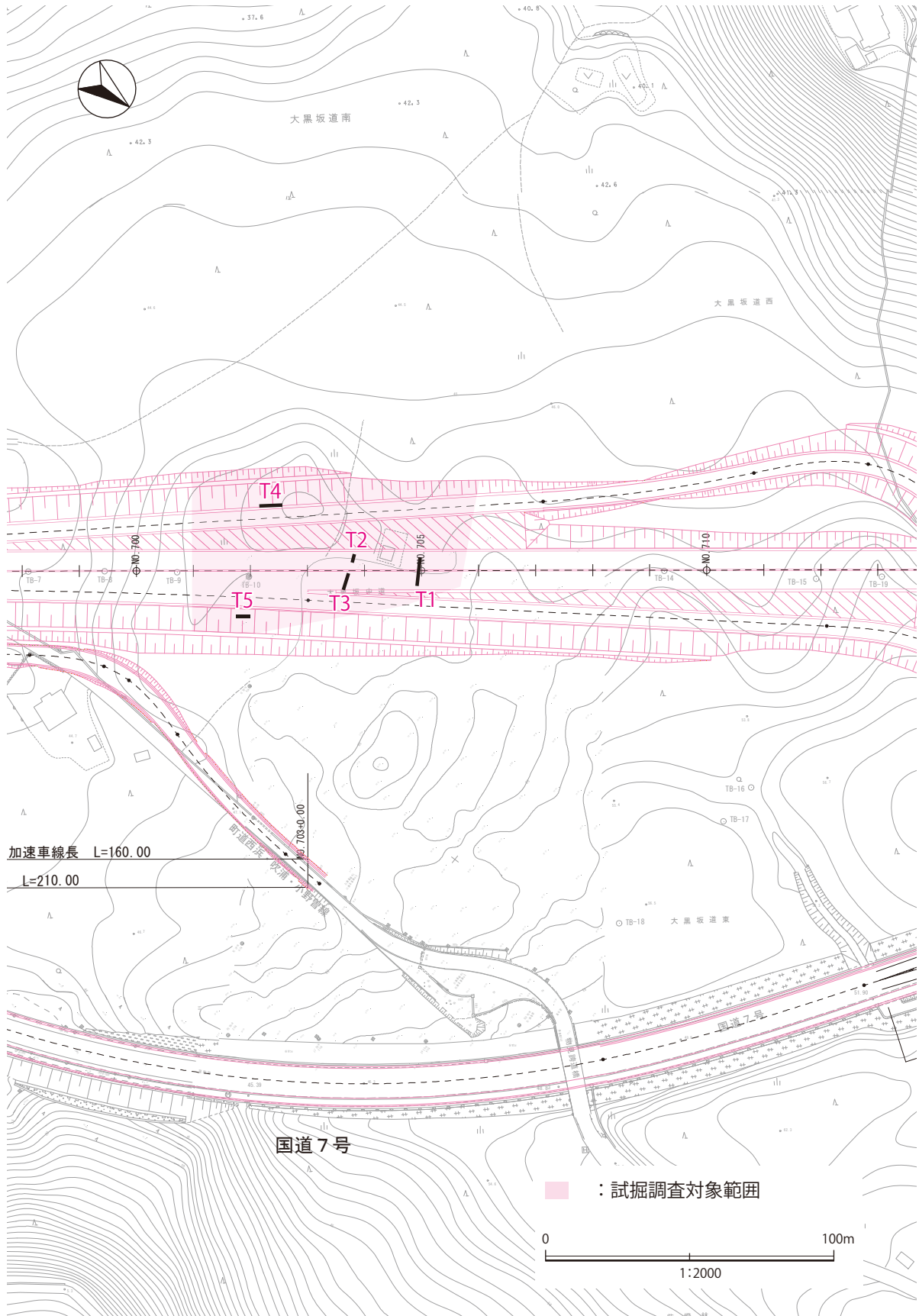
1	-30	1.暗褐色シルト、植物根を多量に含む(表土)
2		2.明黄褐色シルト、φ～70cmの礫・植物根を含む

T5 (cm)

1	-25	1.暗褐色シルト、植物根を多量に含む(表土)
2	-55	2.暗褐色シルト、植物根を含む
3	-100	3.灰黄褐色シルト
4	-110	4.明黄褐色シルト

大黒坂遺跡 土層図

II 調査の概要



大黒坂遺跡 トレンチ配置図



T 1 全景 (東から)



T 1 土層断面 (南から)



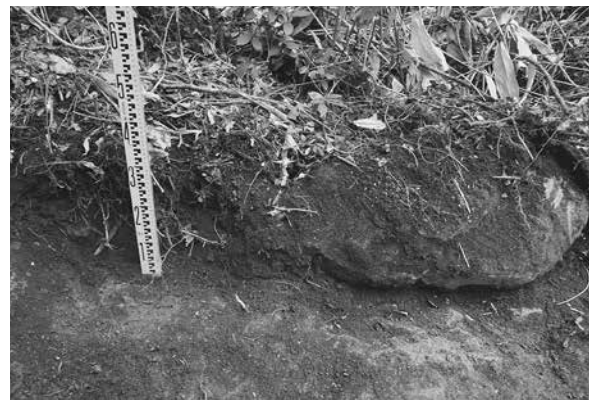
T 3 全景 (北から)



T 3 土層断面 (西から)



T 4 全景 (北から)



T 4 土層断面 (西から)



T 5 全景 (北から)



T 5 土層断面 (西から)

II 調査の概要

(15) 水ノ上遺跡

所在地 山形県遊佐町吹浦字水ノ上

調査員 竹田純子

調査期日 令和4年9月9日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：35～40m、立地：丘陵、地目：雑種地

試掘区 事業予定地に2箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 22.5㎡

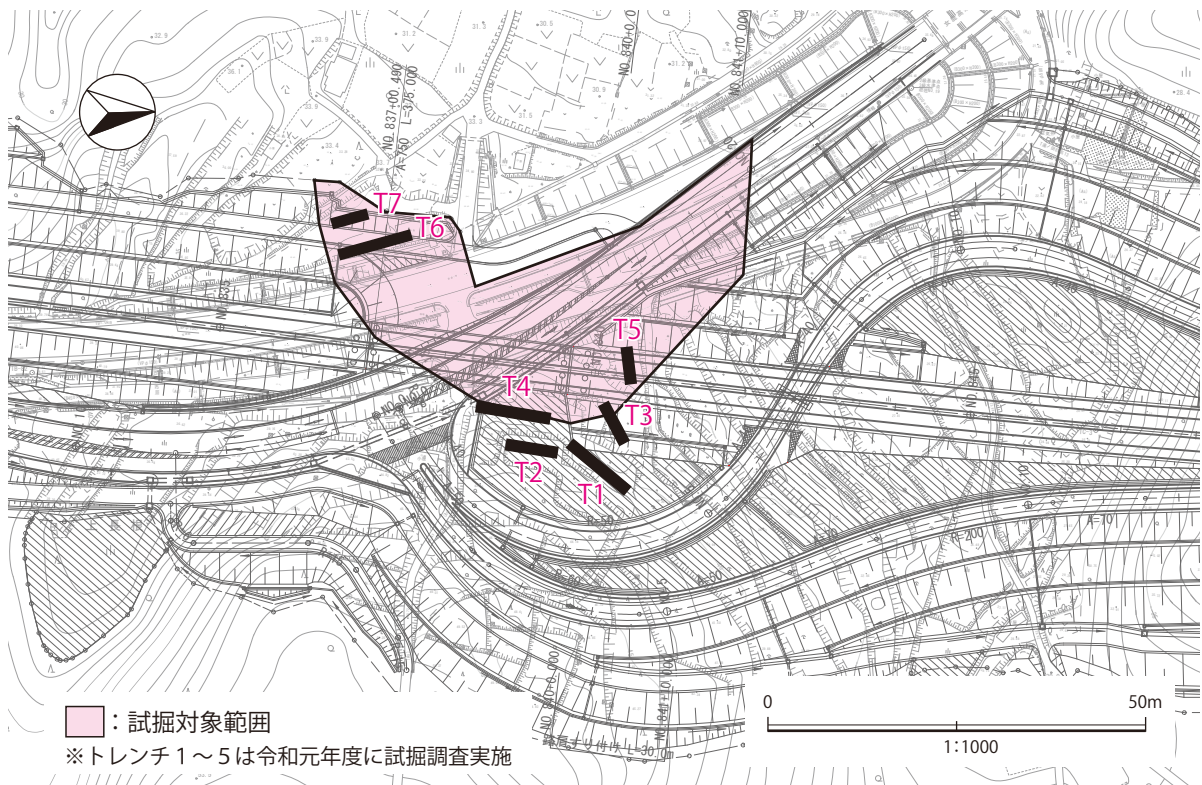
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 縄文時代、平安時代

所見 当遺跡は、JR羽越本線女鹿駅から南に直線で約400m、国道7号線とその東西に広がる遺跡である。当遺跡の南には上長根遺跡（平安時代）、北には弥陀之上遺跡（縄文・平安時代）が位置する。今回の試掘対象地は国道7号線の西側であり、東側については令和元年度に試掘調査を実施済みである。なお、トレンチ番号は前回調査に続きトレンチ6からとした。

遺跡と遺跡隣接地に2箇所のトレンチを設定し、重機で掘削した後、人力で遺構・遺物の有無を精査したところ、いずれのトレンチでも遺構・遺物は確認されなかった。



水ノ上遺跡 トレンチ配置図

T1 (cm)		
1	-15	1.表土
2	-50	2.黒褐色シルト、黄褐色シルト・植物根を含む
3	-65	3.にぶい黄褐色シルト
4		4.黄褐色粘質シルト

T2 (cm)		
1	-10	1.表土
2	-20	2.黒褐色シルト、黄褐色シルト・植物根を含む
3	-40	3.にぶい黄褐色シルト
4	-60	4.黄褐色シルト
5	-90	5.にぶい黄橙色シルト
6	-95	6.黒色粘質シルト
7	-120	7.明黄褐色粘質シルト

水ノ上遺跡 土層図



T 6全景 (北から)



T 6土層断面 (東から)



T 7全景 (北から)



T 7土層断面 (北から)

II 調査の概要

(16) ^{みずばやしした}水林下遺跡、隣接地

所在地 山形県遊佐町吹浦字水林下

調査員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和4年6月8日、9日、10日、7月28日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：23 m、立地：山地・丘陵、地目：山林

試掘区 事業予定地に7箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 14㎡

検出遺構 ー

出土遺物 ー

時代 旧石器時代、奈良・平安時代、縄文時代

所見 当地は、女鹿漁港から東に約300 mの丘陵である。現況は、畑地・杉林である。

当遺跡については、令和元年度に試掘調査を実施した結果、古代の遺構・遺物が確認されたことから記録保存調査が必要となり、令和2年度から、(公財)山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した。発掘調査中に当初は想定していなかった旧石器が出土したことから、令和3・4年度も継続して旧石器時代の発掘調査を実施している。

当事業に係る試掘調査は令和元・2年度に終了しているものの、令和3年度の発掘調査で確認された旧石器の広がりを確認するために、追加での試掘調査を実施した。

東西方向に走る林道の南側について、発掘調査区から旧石器ブロックが続くと想定される5箇所に調査区(1×1 m)を設定して調査を行った結果、旧石器は確認されず、試掘対象範囲まで遺跡は広がらないと判断した。

また、併せて遺跡の北側への広がりを確認するため、遺跡の北側に位置する丘陵裾付近に2本のトレンチを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。遺跡範囲は、現在の範囲から広がらないものと判断された。

II 調査の概要

T1 (cm)

1	1.表土
-15	2.暗褐色シルト、植物根を含む
2	3.暗褐色シルト、しまり強い
-60	4.黒色シルト、巨礫を含む
3	5.黄褐色粘土
-90	6.黄褐色粘土、白色粘土が混じる
4	
-125	
5	
-165	
6	
-180	

T2 (cm)

1	1.表土
-10	2.暗褐色シルト、植物根を含む
2	3.暗褐色シルト、植物根を含む、
-30	2層よりしまり強い
3	4.黒色シルト、植物根を含む
-70	5.黒色シルト、明黄褐色シルトを含む
4	6.黄褐色粘土
-110	
5	
-150	
6	
-170	

T3 (cm)

1	1.表土
-15	2.黒褐色シルト、植物根を含む
2	3.黒褐色シルト、植物根を含む、
-45	2層よりしまり強い
3	4.黒色シルト、植物根を含む
-95	5.黒色シルト、明黄褐色シルトを含む
4	6.黄褐色シルト、巨礫を含む
-120	
5	
-160	
6	
-185	

T4 (cm)

1	1.表土
-35	2.暗褐色シルト、植物根を含む
2	3.黒褐色シルト
-50	4.黒褐色シルト、植物根を含む
3	5.暗褐色シルト、にぶい黄橙色シルト
-70	を含む
4	6.黄褐色粘土、巨礫を含む
-85	7.黄褐色シルト、白色粘土が混じる、
5	礫を含む
-95	
6	
-115	
7	
-135	

T5 (cm)

1	1.表土
-20	2.暗褐色シルト、植物根を含む
2	3.黒色シルト、植物根を含む
-40	4.黒色シルト、植物根・下層に
3	φ~10cmの礫を含む
-70	5.黄褐色粘土
4	6.黄褐色粘土、φ~10cmの礫を多量
-110	に含む、下層は砂混じり
5	
-135	
6	
-140	

T6 (cm)

1	1.表土
-40	2.にぶい橙色粘質シルト、礫を多量に
2	含む
-70	

T7 (cm)

1	1.表土
-60	2.にぶい橙色粘質シルト、礫を多量に
2	含む

水林下遺跡、隣接地 土層図



水林下遺跡 T1 全景 (西から)



水林下遺跡 T2 全景 (南から)



水林下遺跡 T2 土層断面 (西から)



水林下遺跡 T3 全景 (東から)



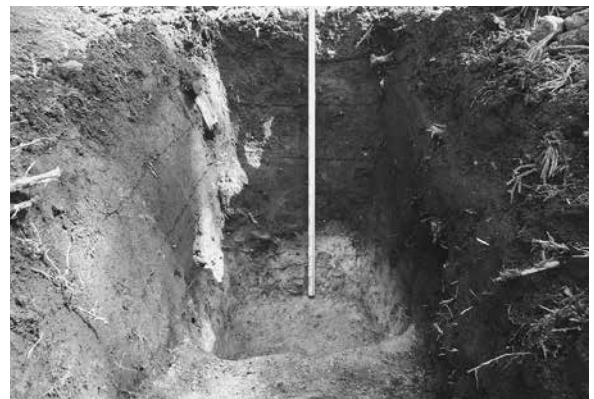
水林下遺跡 T 3 土層断面 (東から)



水林下遺跡 T 4 土層断面 (南から)



水林下遺跡 T 5 全景 (北から)



水林下遺跡 T 5 土層断面 (西から)



水林下遺跡隣接地 T 6 全景 (北西から)



水林下遺跡隣接地 T 6 土層断面 (西から)



水林下遺跡隣接地 T 7 全景 (南から)



水林下遺跡隣接地 T 7 土層断面 (東から)

(17) ^{こまごめたてあと} 駒籠楯跡隣接地

所在地 山形県大石田町駒籠
 調査員 竹田純子 稲村圭一
 調査期日 令和4年7月27日、8月2日
 起因事業 最上川直轄河川改修事業(最上川中流)
 遺跡立地 標高：66 m、立地：段丘、地目：河川
 試掘区 事業予定地に12箇所の試掘トレンチを設定した。
 試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。
 試掘面積 72.0㎡
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし

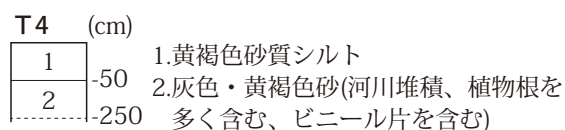
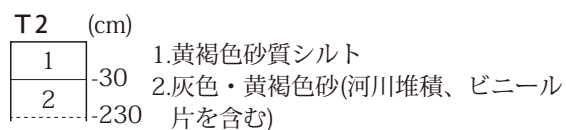
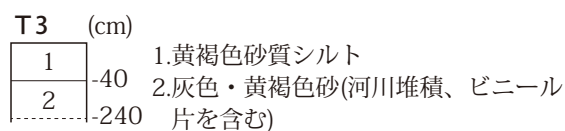
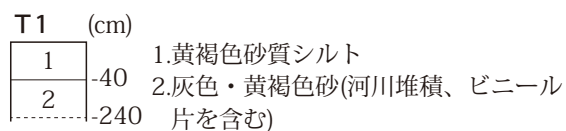
所見 事業地は、最上川右岸の段丘上である。事業地の北側に隣接する上位段丘面一帯には、複数時代で構成される駒籠楯跡が存在し、特に奈良・平安時代には古代の編纂書である『延喜式』『兵部省諸国駅伝馬条』に記された「野後駅家」の有力な候補地であるため、将来的な保護・活用のために国指定史跡を目指して大石田町による発掘調査が行われている。

今回の事業地である最上川右岸一帯には、「野後駅家」に関連する古代の船着き場の存在が予想されており、その有無を確認するため、河道掘削事業範囲のほか樹木伐採事業範囲も含めて試掘調査を実施した。

事業地内にトレンチを12箇所設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいてこれまでの最上川氾濫等に起因した砂層や砂利層が積み重なって形成された河川堆積層が厚く堆積しており、この堆積層が事業地一帯を厚く覆っている状況を確認した。

一部T10・11では、現在の最上川水位の川際で確認される礫層(川原石の層)と関連される層まで確認できたが、他は河川堆積層が厚いため、その下層や旧地形の状況まで確認できず、遺構や遺物についても確認されなかった。

事業地内での船着き場等の施設の有無については、過去の氾濫等により消失したか、河川堆積層の下層に埋没されているかは不明であるが、少なくとも、今回の事業内容から河川堆積層の下層まで工事掘削が及ばないため、その有無については今後の課題となる。



駒籠楯跡隣接地 土層図



駒籠橋跡隣接地 トレンチ配置図

II 調査の概要

T5 (cm)

1	-40	1.黄褐色砂質シルト
2	-210	2.灰色・黄褐色砂(河川堆積、ビニール片を含む)

T6 (cm)

1	-60	1.黄褐色砂質シルト
2	-220	2.灰色・黄褐色砂(河川堆積)

T7 (cm)

1	-230	1.黄褐色砂質シルト
2	-400	2.灰色・黄褐色砂(河川堆積)

T8 (cm)

1	-330	1.黄褐色砂質シルト(植物根を多く含む)
2	-450	2.灰色・黄褐色砂(河川堆積)

T9 (cm)

1	-150	1.黄褐色砂質シルト(植物根を多く含む)
2	-330	2.灰色・黄褐色砂(河川堆積)

T10 (cm)

1	-80	1.暗褐色砂質シルト(植物根を多く含む)
2	-270	2.灰色・暗褐色砂(河川堆積)
3		3.砂礫層(河川堆積)

T11 (cm)

1	-60	1.暗褐色砂質シルト(植物根を多く含む)
2	-400	2.暗褐色砂質シルトに黄褐色粘質シルトが混じる
3		3.砂礫層(河川堆積)

T12 (cm)

1	-50	1.暗褐色粘質シルト(植物根を多く含む)
2	-130	2.黄褐色シルト
3	-170	3.黄褐色シルトに灰色粘土混じる
4	-200	4.黄褐色・灰色砂質シルト

駒籠橋跡隣接地 土層図



T 1 全景 (東から)



T 1 土層断面 (北から)



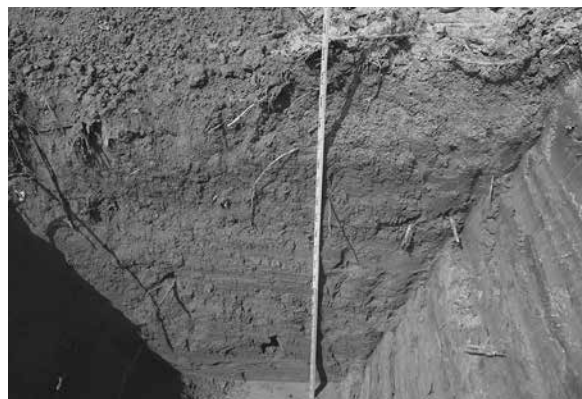
T 2 全景 (西から)



T 2 土層断面 (南から)



T 5 全景 (西から)



T 5 土層断面 (南から)



T 9 全景 (北から)



T 9 土層断面 (東から)



T 11 全景 (南西から)



T 11 土層断面 (南から)



T 12 全景 (南から)



T 12 土層断面 (南東から)

3 工事立会の概要

(1) 露藤遺跡

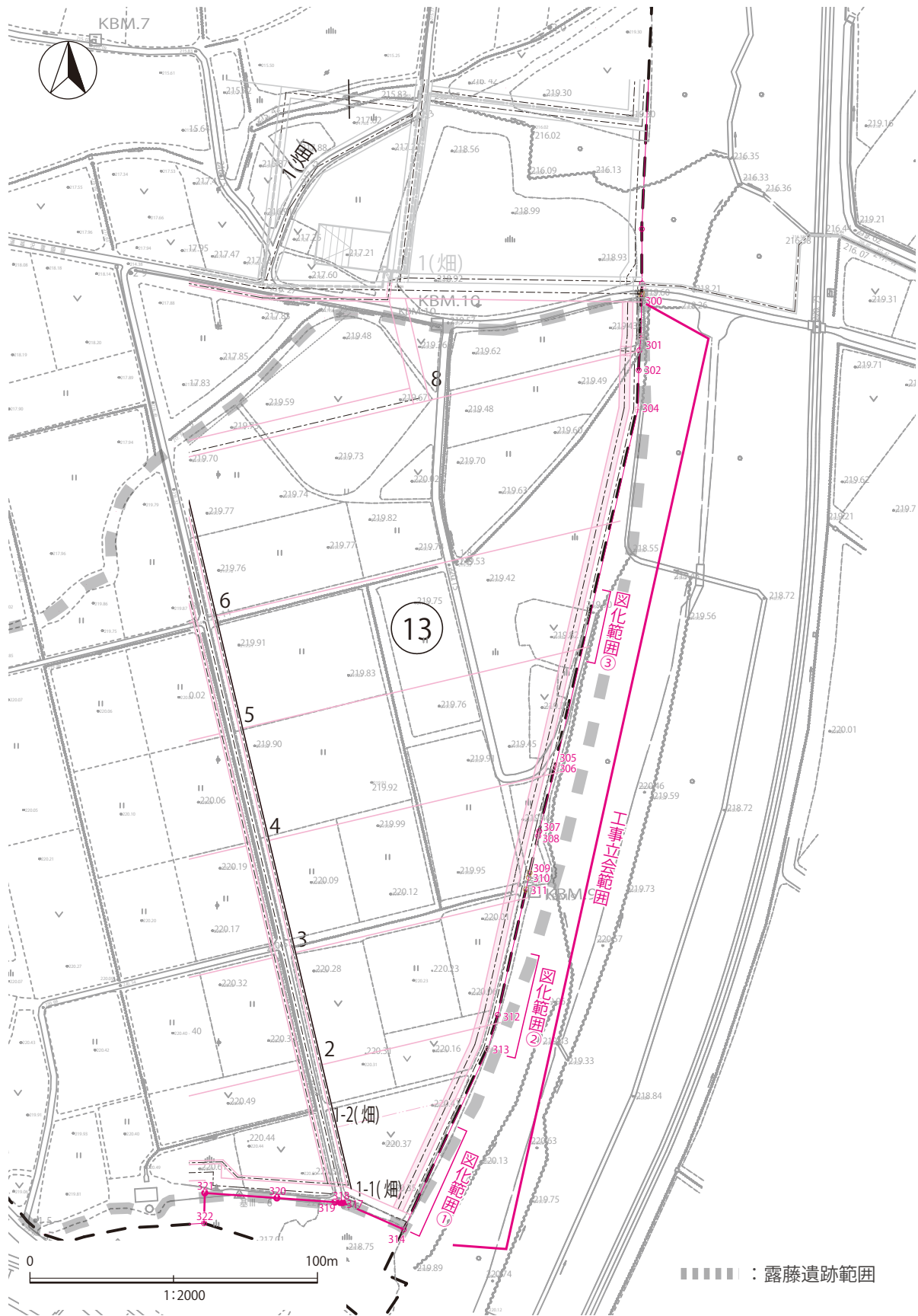
- 所在地 山形県高島町大字露藤
 調査員 岩崎恒平
 調査期日 令和4年6月6日～10日
 起因事業 農地整備事業（経営体育成型） 亀岡西地区
 遺跡立地 標高：約220m、立地：自然堤防、地目：田・畑
 調査区 事業予定地内の排水路工に係る掘削範囲を調査対象とした。
 調査方法 重機で遺構検出面まで掘り下げた後、人力で面整理を行った。その後、検出した遺構の精査及び記録作業を実施した。
 調査面積 約345㎡
 検出遺構 溝状遺構、ピット
 出土遺物 須恵器
 時代 奈良・平安時代
 所見 令和3年度（明許繰越） 亀岡西2期地区低コスト・高付加価値化基盤整備事業第2工区工事に係る工事立会を実施した。工事内容は、面工事に先行して行われる排水路工で、事業地は露藤遺跡の範囲に該当する。区間は事業地東端の南北334mの区間で、掘削幅は約1mである。

本工事においては、大半の部分において掘削深が遺構検出面以下まで及ぶため、対象箇所について先行して遺構検出面まで掘り下げを行い、遺構・遺物の有無の確認を行った。その結果、立会範囲の南側～中央にかけての範囲の一部で、複数の溝状遺構とピットを確認した。溝状遺構は、幅50cm～2m程度あるものまで様々で、深さは20～50cmであった。今回の工事立会箇所は遺跡の東端にあたり、令和2年度に実施した試掘調査においても、遺跡の東側では区画溝と考えられる溝状遺構が多く見つかったことから、今回見つかった溝状遺構も区画溝と考えられる。遺物はSD7より古代の須恵器片1点が出土したのみで、その他の遺構から遺物は出土しなかった。

土層断面(cm)

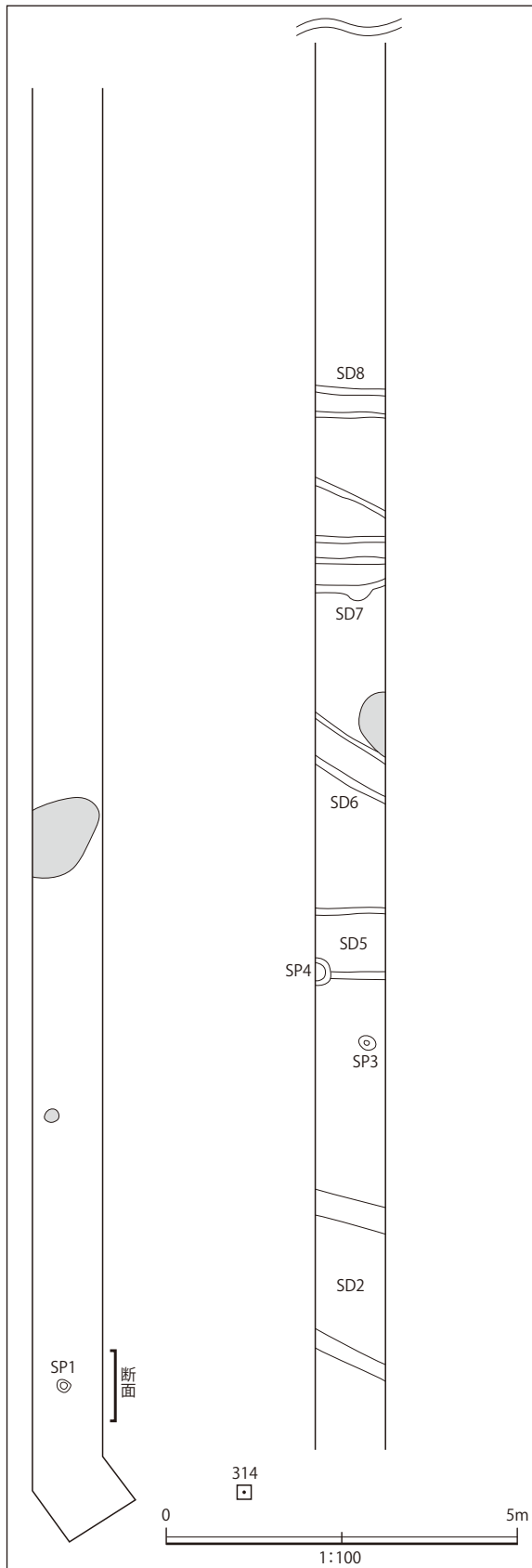
1	-10	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	-50	2.灰黄褐色シルト
3	-80	3.黒褐色シルト
4		4.灰黄褐色シルト（地山）

露藤遺跡工事立会 土層図

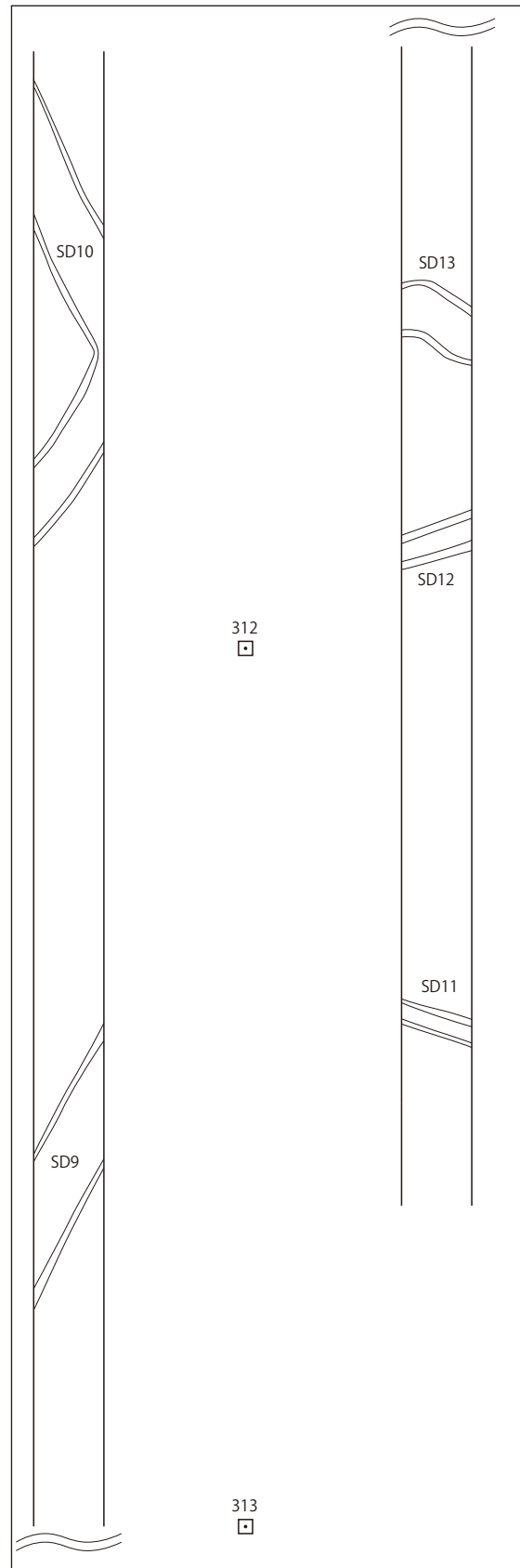


露藤遺跡 工事立会範囲

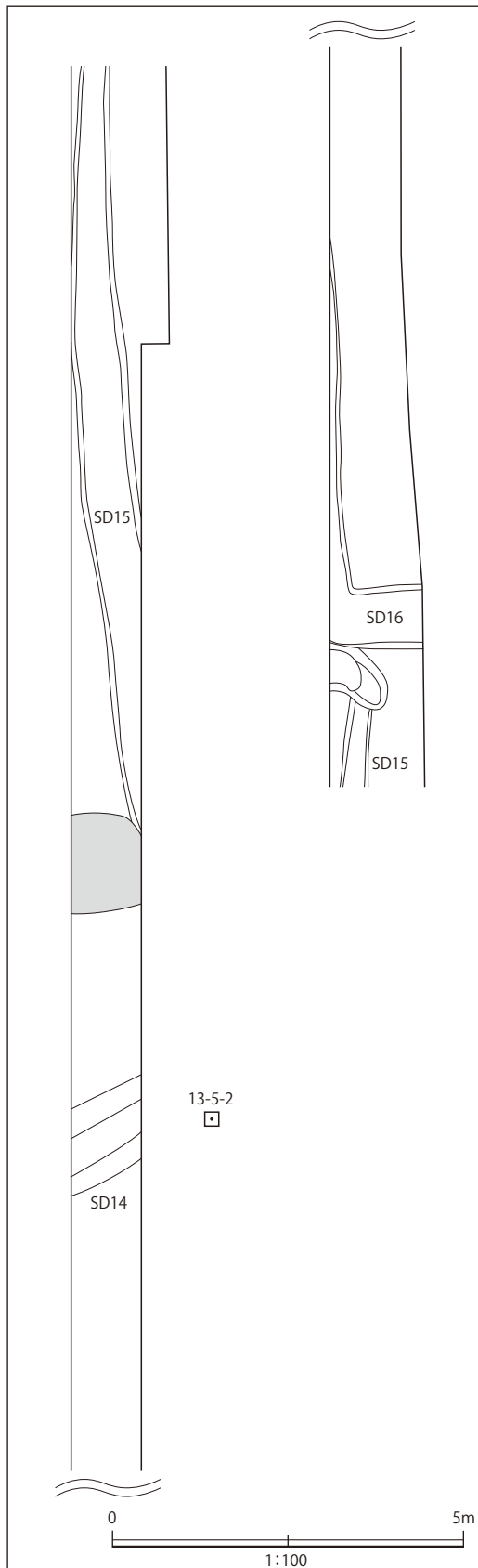
II 調査の概要



露藤遺跡完掘平面図 (図化範囲①)



露藤遺跡完掘平面図 (図化範囲②)



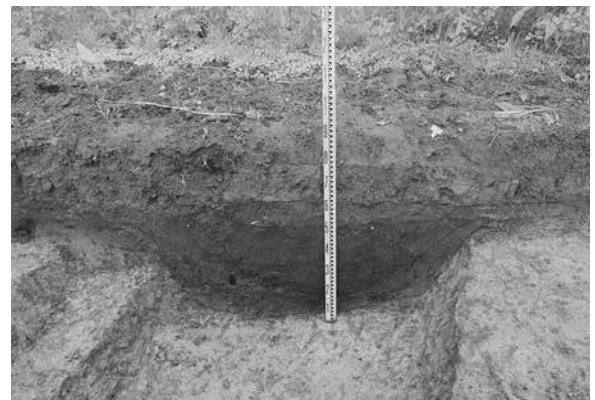
露藤遺跡完掘平面図(図化範囲③)



SP 1 土層断面(北西から)



SP 1 完掘状況(南東から)

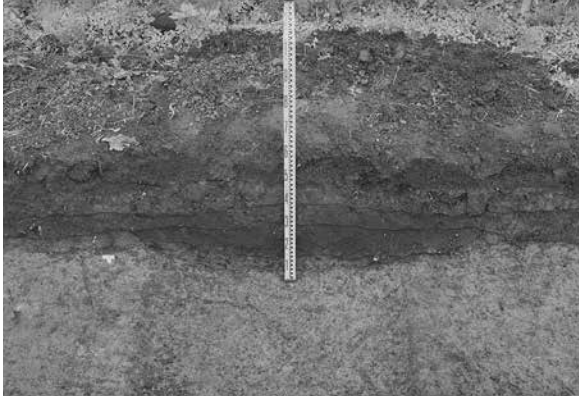


SD 2 土層断面(南東から)



SD 2 完掘状況(南西から)

II 調査の概要



SD 5 土層断面 (西から)



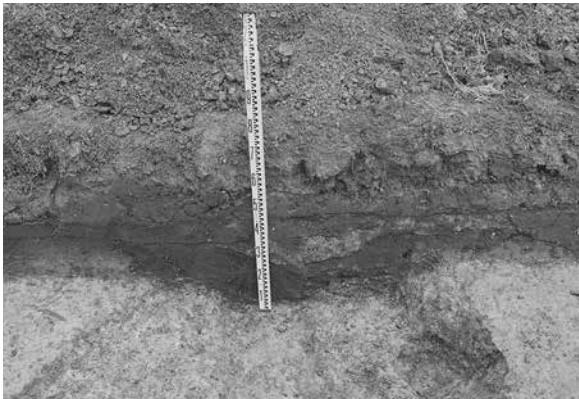
SP 4・SD 5 完掘状況 (北東から)



SD 6 土層断面 (西から)



SD 6 完掘状況 (北西から)



SD 7 土層断面 (西から)



SD 7 完掘状況 (南西から)



SD 7 遺物出土状況 (南から)



SD 8 土層断面 (西から)



SD 8 完掘状況 (南西から)



SD 9 土層断面 (西から)



SD 9 完掘状況 (南西から)



SD10 土層断面 (北東から)



SD10 完掘状況 (南西から)



SD12 土層断面 (西から)



SD12 完掘状況 (北西から)

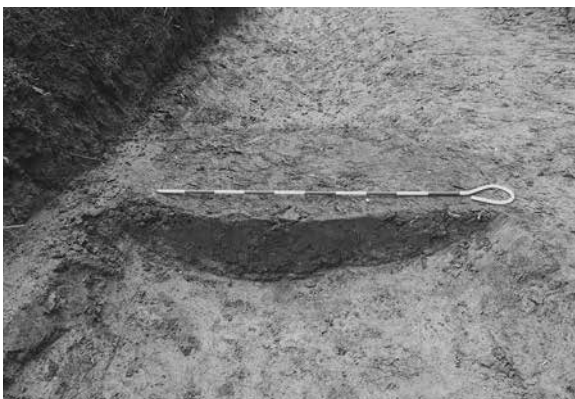


SD14 土層断面 (西から)

II 調査の概要



SD14 完掘状況 (北西から)



SD15 土層断面 (南から)



SD15 完掘状況 (南から)



SD16 土層断面 (南から)



SD16 完掘状況 (南西から)



基本層序 (西から)



調査完了状況 (南から)



調査完了状況 (南から)

第Ⅲ章 遺跡の登録と修正

1 範囲修正

令和4年度に範囲修正を行った遺跡は3件であり、いずれも山形県からの届出によるものである。詳細については、新規登録の遺跡と併せて、「令和4年度範囲修正・新規登録遺跡一覧」として掲載した。

2 新規登録

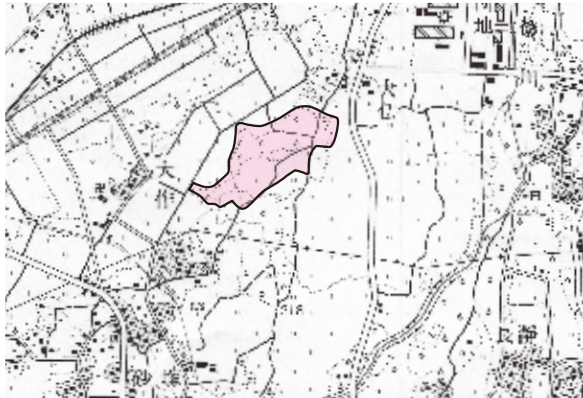
令和4年度に新規登録された遺跡は9件あり（4～12）、いずれも市町教育委員会及び山形県からの届出によるものである。

これにより、年度末までに登録されている遺跡は5,223件を数える事になった。

令和4年度範囲修正・新規登録遺跡一覧

区分	No.	遺跡名 (番号)	所在地	種別	時期	通知文書他	届出者	地図名
範囲修正	1	天王遺跡 (213-075)	南陽市	散布地	奈良・平安時代	2022年5月31日文活第293号山形県	山形県	羽前小松
	2	神矢田遺跡 (461-206)	遊佐町	集落跡	縄文時代、弥生時代、奈良・平安時代	2022年7月8日文活第485号山形県	山形県	吹浦
	3	北向遺跡 (201-323)	山形市	集落跡	奈良・平安時代	2023年1月13日文活第1097号山形県	山形県	山形北部
新規登録	4	上本町遺跡 (204-108)	酒田市	その他 (倉庫跡)	近世、近代	2022年4月21日教社発第86号酒田市教委	酒田市	酒田南部
	5	両所C遺跡 (321-053)	河北町	散布地	縄文時代	2022年11月15日生第162号河北町教委	河北町	谷地
	6	塚原遺跡 (213-283)	南陽市	集落跡	奈良・平安時代	2022年12月27日文活第1013号山形県	山形県	羽前小松
	7	隼楯跡 (208-160)	村山市	城館跡	中世	2023年1月6日教生第117号村山市教委	村山市	富並
	8	中洗2遺跡 (382-198)	川西町	集落跡	古墳時代、奈良・平安時代	2022年11月30日文活第1134号山形県	山形県	米沢北部
	9	西田1遺跡 (381-315)	高島町	集落跡	古墳時代、奈良・平安時代	2023年1月12日文活第1151号山形県	山形県	糠野目
	10	西田2遺跡 (381-316)	高島町	集落跡	奈良・平安時代	2023年1月12日文活第1152号山形県	山形県	糠野目
	11	元屋敷遺跡 (324-058)	大江町	散布地、 集落跡	縄文時代、中世、 近世	2023年3月2日大教社発第162号大江町教委	大江町	左沢
	12	新庄城二の丸跡 (205-129)	新庄市	城館跡	近世	2023年3月1日新社発第42号新庄市教委	新庄市	新庄

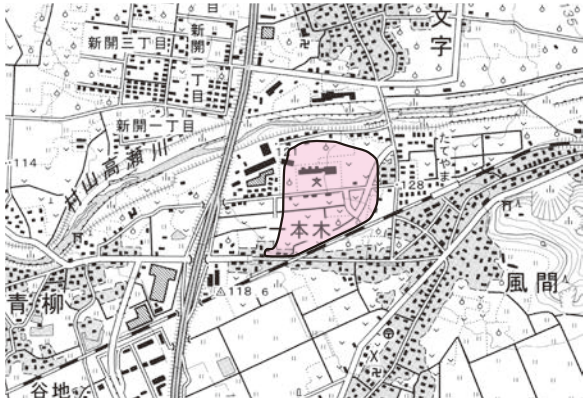
Ⅲ 遺跡の登録と修正



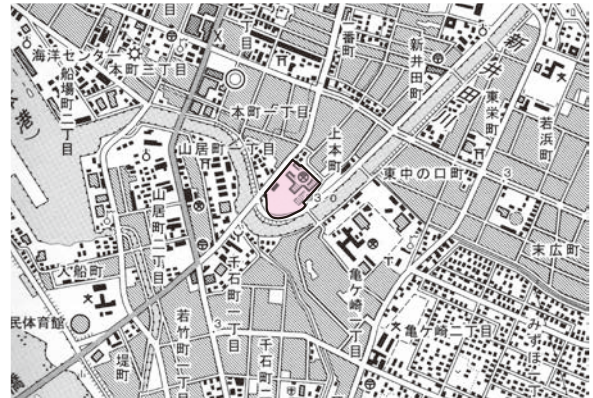
1 天王遺跡



2 神矢田遺跡



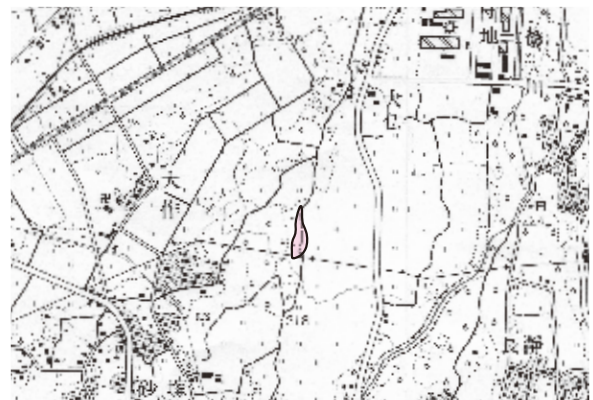
3 北向遺跡



4 上本町遺跡



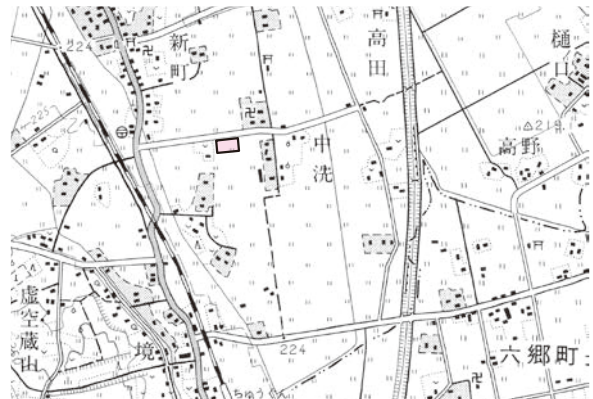
5 両所C遺跡



6 塚原遺跡



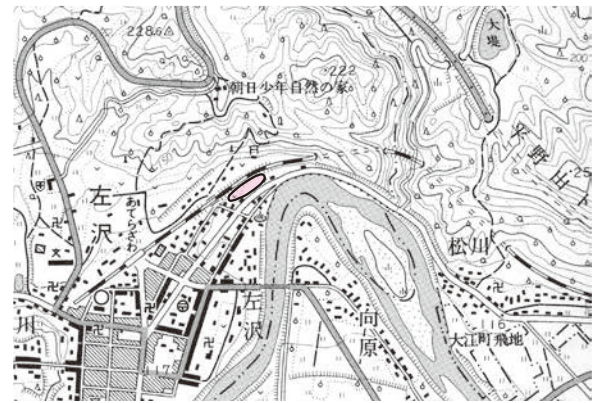
7 隼橋跡



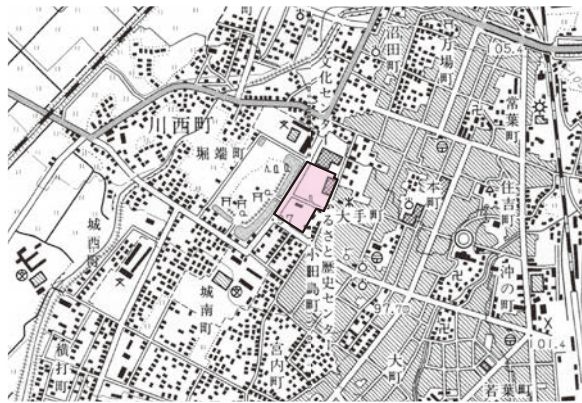
8 中洗2遺跡



9 西田1遺跡、10 西田2遺跡



11 元屋敷遺跡



12 新庄城二の丸跡

掲載遺跡位置図使用図幅一覧(2万5千分の1)

No.	遺跡名	地図名
1	農地整備事業(経営体育成型)沼田寄込地区	谷地
2	原の内A遺跡	延沢
3	農地整備事業(経営体育成型)真室川北部1期地区遺跡可能性地	及位
4	農地整備事業(経営体育成型)鶴の子地区遺跡可能性地	古口
5	大塚遺跡、皆川館跡、大塚城跡、寒河江館跡、元宿北遺跡	羽前小松
6	大根在家遺跡、西田中遺跡、西原遺跡、砂田遺跡、猫子前遺跡、遺跡可能性地5・6	羽前小松、赤湯
7	露藤遺跡、西田1遺跡、西田2遺跡	糠野目
8	農地整備事業(機構関連)浅川地区	糠野目
9	大屋敷跡	長井
10	農地整備事業(中山間地域型)井岡地区	鶴岡
11	井岡遺跡	鶴岡
12	農地整備事業(中山間地域型)狩川東部地区	藤島、清川
13	清四新田遺跡	吹浦
14	農地整備事業(経営体育成型)袖浦北部地区	酒田南部
15	農地整備事業(経営体育成型)杉沢前田地区	吹浦
16	農地整備事業(経営体育成型)西興野地区	藤島
17	深沢桶跡	羽後観音寺
18	新青渡遺跡	羽後観音寺
19	山形城三の丸跡	山形南部
20	鶴ヶ岡城跡	鶴岡
21	荒谷下遺跡	山寺
22	北向遺跡	山形北部
23	交通安全道路事業(交付金)(主)長井大江線道路整備工事大谷工区	左沢、宮宿
24	鶴巻遺跡	糠野目
25	中洗遺跡、中洗2遺跡	米沢北部
26	交通安全道路事業(交付金)(主)山形朝日線歩道設置工事山辺工区	山形北部
27	道路長寿命化対策事業(補助・橋梁更新)(主)新庄次年子村山線老朽橋架替工事	海谷
28	一ノ堰2遺跡	上山
29	御嶽山物見遺跡	羽前中山
30	道路改良事業(補助)一般国道345号(平沢)道路改良工事平沢工区	木野俣
31	道路改良事業(補助)一般国道112号(金沢陸橋)橋梁撤去・道路改良工事	湯ノ浜1
32	道路改良事業(補助)主要地方道余目温海線(黒川)黒川工区	下名川
33	荒町川河川整備補助事業護岸工	上山
34	古佐川河川整備補助事業(防災安全)築堤工	谷地
35	若木館跡	山形北部
36	京塚館跡	羽根沢温泉
37	牛房野桶跡	尾花沢
38	米沢養護学校高等部就労コース設置事業	米沢
39	鶴ヶ岡城跡	鶴岡
40	明沢川発電所	小国東部
41	宮内遺跡	新庄
42	最上川上流大規模関連災害事業(溝延築堤)	谷地
43	最上川上流大規模関連災害事業(押切築堤)	谷地

掲載遺跡位置図使用図幅一覧(2万5千分の1)

No.	遺跡名	地図名
44	最上川上流大規模関連災害事業(大久保遊水池改良)	谷地
45	最上川上流大規模災害関連事業地(仮設ヤード・水防拠点整備)	谷地
46	一般国道13号金山道路遺跡可能性地2	羽前金山
47	一般国道113号小国道路遺跡可能性地1・2・10	小国、小国東部
48	一般国道47号高屋防災道路	古口
49	沼沢館跡	舟形
50	一般国道47号志茂歩道整備事業	瀬見
51	一般国道113号飯豊歩道整備事業	手ノ子
52	大黒坂遺跡	吹浦
53	水ノ上遺跡	吹浦
54	水林下遺跡、隣接地	吹浦
55	駒籠橋跡隣接地	海谷
56	横山学校前遺跡隣接地	延沢
57	中村館跡	大井沢
58	トチノミ沢砂防堰堤	大綱
59	モエン沢砂防堰堤	上田沢
60	入水ノ沢砂防堰堤	及位、羽前金山
61	樋ノ沢第1砂防堰堤	舟渡
62	小川沢砂防堰堤	長者原
63	穴淵砂防堰堤	徳綱
64	金目川第1砂防堰堤	五味沢
65	国営かんがい排水事業二段割排水機場	藤島
66	国営かんがい排水事業生田排水機場	藤島
67	城の平遺跡	叶水
68	三森山見張所遺跡	白鷹山
69	金山城跡	羽前金山
範囲修正	天王遺跡	羽前小松
範囲修正	神矢田遺跡	吹浦
範囲修正	北向遺跡	山形北部
新規登録	上本町遺跡	酒田南部
新規登録	両所C遺跡	谷地
新規登録	塚原遺跡	羽前小松
新規登録	隼橋跡	富並
新規登録	中洗2遺跡	米沢北部
新規登録	西田1遺跡	糠野目
新規登録	西田2遺跡	糠野目
新規登録	元屋敷遺跡	左沢
新規登録	新庄城二の丸跡	新庄

報告書抄録

ふりがな	ぶんぶちようさほうこくしょ 50							
書名	分布調査報告書 (50)							
副書名								
シリーズ名	山形県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 229 集							
編著者名	竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平 山科樹生							
編集機関	山形県観光文化スポーツ部							
所在地	〒 990-8570 山形県山形市松波二丁目 8 番 1 号 TEL 023-630-2879							
発行年月日	2024 年 3 月 31 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	発掘期間	発掘面積 m ²	発掘原因
にしだ いせき 西田 2 遺跡	やまがたけん 山形県 たかはたまち 高島町 ふなぼし 船橋	6381	381-316	37° 99' 03"	140° 15' 97"	20221202 20221206 20221228	123.05	試掘調査
なかあらい いせき 中洗 2 遺跡	やまがたけん 山形県 かわにしまち 川西町 ときた 時田	6382	382-198	37° 97' 67"	140° 06' 72"	20221108 20221116 20221125	216.08	試掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
西田 2 遺跡	集落跡	奈良・平安時代		溝状遺構 土坑 柱穴	土師器片	(出土品箱数：1 箱)		
中洗 2 遺跡	集落跡	古墳時代、奈良・平安時代		竪穴建物跡 柱穴	土師器片 須恵器片	(出土品箱数：1 箱)		
要 約	西田 2 遺跡	遺跡可能性地内に 15 箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、トレンチ 4～10 の範囲において溝状遺構・土坑・柱穴等の遺構が検出された。遺構からは奈良・平安時代と考えられる土師器片が出土した。遺構・遺物が検出された範囲を「西田 2 遺跡」として遺跡登録を行った。						
	中洗 2 遺跡	事業地内に 16 箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、トレンチ 1 において竪穴建物跡が検出された。同遺構内のカマド周辺からは、複数の土師器甕・壺等が原位置を留めた状態で出土した。また、トレンチ 2 において柱穴が検出された。遺構・遺物が確認された範囲を、「中洗 2 遺跡」として遺跡登録を行った。						

山形県埋蔵文化財調査報告書第 229 集

分布調査報告書 (50)

令和 6 年 3 月 31 日 発行

発行 山形県観光文化スポーツ部

印刷 中央印刷株式会社

